

1 章 研究の目的

1.1 日本語教育の現状

日本語教育は外国人への教育であることから、政治、経済など、それぞれの国の事情によって変化する教育である。また、日本語を学ぶ学習者たちが何を求めるのかというニーズによっても変わる。よって、日本語教育に関わる者は常に情報収集し、時代に即した教育法を見つける必要がある。

本研究では、非漢字系日本語学習者に対する漢字指導において、筆順指導は漢字習得に有効であることを解明する。そして、最終目的は非漢字系日本語学習者の漢字習得であることから、漢字習得に成功した学生とそうでない学生に習得の差が生じる原因を究明したい。また、初級漢字指導におけるクラス分けで、漢字系日本語学習者と非漢字系日本語学習者を同じクラス、別クラスに分けた場合を比較する。

まず、日本語教育の現状について、特に漢字指導という観点からまとめることとする。

1.2 留学生数と出身国

「留学生 30 万人計画」は、平成 20 年 7 月 29 日付けで日本政府によって策定された。これは、日本を世界により開かれた国とし、アジア、世界の間のヒト・モノ・カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020 年を目途に 30 万人の留学生の受入れを目指すものである¹。入試・入学・入国の入りの改善²をしたことで、門戸が開かれ、より多くの外国人留学生を受け入れることとなった。

平成 25 年 5 月 1 日における留学生数³は、135,519 人であり、出身国（地域）別留学生数上位 5 ヶ国（地域）を見てみると、中国、韓国、ベトナム、台湾、ネパールの順であった。この結果で注目すべきなのは、1 位中国、2 位韓国、4 位台湾の留学生数は前年度に比べ減少しているのに対し、ベトナム、ネパールの留学生数は増加している点である。特にベトナム出身留学生は、前年度の 4,373 人から 6,290 人へ大幅な増加が見られる。前年度 3 位だった台湾を抜き、今年度はついにベトナムが 3 位となっている。非漢字系出身学生は引き続き増える見込みであり、今後は国内において、さらに非漢字系日本語学習者への教授法が注目されることが予測される。

1.3 非漢字系日本語学習者と漢字学習

非漢字系日本語学習者の日本語習得の大きな壁のひとつに漢字が挙げられる。岡崎（1993：27）も、留学生達に日本語学習の過程で最も困難に感じることは何かと尋ね、大方一番多いのは漢字という答えであったと述べている。また、中世の日本を訪れたヨーロッパの宣教師が漢字を見て慄然とし、「布教活動を妨げるため編み出された悪魔の文字」と痛罵したという話も紹介している。これらは、漢字系日本語学習者においても同様のことが言えるが⁴、彼らは母語の漢字と日本語の漢字の意味の違いを理解するのが難しいと感じており、まずは漢字を文字として認識しなければならない非漢字系日本語学習者とは立場が違う。池原（2014：2）は、仮名の習得時にはなかった困難や難しさを感じ、日本語学習から脱落していく学習者がいる原因として、漢字が形・音・義の3要素を備え、文字であると同時に意味を持つ単位体であるという特性を備えているせいだと述べている。また、読み方も多様で複雑であるために、学習者にとっては習得に際して負担が大きいことを指摘している。「漢字は難しい」という先入観を持つ非漢字系日本語学習者に、いかに漢字に抵抗を感じさせず指導できるかが教師にとって最大の課題である。

日本で日本人が受けてきた漢字教育は、書写、書き順、点画、部首、六書、辞書の使用、類似形の比較、文脈中での音、意義の理解、音読、漢字カード、ゲーム、作文などがあるが（須田 1988）、これといった絶対的な方法がある訳ではない。また、非漢字系日本語学習者に対しても同じような教育方法で良いのかは、川瀬（1988）や海保（1990）によって以前から模索されてきたテーマでもある。非漢字系日本語学習者たちを「漢字嫌い」にさせないために、初期指導における指導法や教材も数多く報告、開発されている。（川口他編著 1995、酒井 1994）

近年、オンラインシステムや iPhone を利用した漢字学習方法も報告されている。（藤田他 2001、安藤他 2002、三輪 2008、三輪 2010）これらの研究目的に共通するのは、漢字は「読める」ことだけが重要なのではなく、「書ける」ことも重要だということである。安藤他（2002：116）は、文字を正しく美しく整えて書くためには、正しい書き順（筆順）に従うことが大切であり、正しい筆順は漢字を覚えるためにも非常に役に立つと述べている。また、田村（1996：15）は、武部⁵（1989b：88-90）と「新漢字必携⁶」（1995：234）を参考に、筆順を教える目的を、覚えやすくすること、文字全体の形を整え美しい字を書くこととしている。両者の主張は共通している。

このような理論が交わされる中、古積他（2014）は、漢字を正しくきれいに書くことを

学ぶための学習システムの開発を行っている。そのために重要視しているのは、筆順などの漢字を書く過程である。文字を正しくきれいに書くためには、筆順やとめと払い、はねなどの字形を評価する必要があるが、既存の漢字学習システムではきれいな字を書くことを主目的としているものが多く、筆順間違いの学習者への指導や、とめと払いの評価を行うものは少ないとし、これらの評価を可能にし、評価項目に重みを付けることでレベルに合わせた指導を行うシステムの開発の報告をしている。

Erdenibat 他（2006：216）は、漢字学習の本質について Fujimura 他（1969）を参考に「漢字の習得は、たとえば漢字生成規則を脳内に保持し、その適用としての漢字の理解、筆順を手で覚えるように脳の運動機能と密接に結合した構造化された記憶」だと述べている。日本や中国での伝統的な漢字の学習は「書いて覚える」ことであり、最も効率的な方法だと考えられてきたことから、漢字学習は「書く」動作である筆順と密接であったと言える。よって、漢字の習得を効果的に短時間で行うには、画数、筆順の概念を系統的に視覚的に理解し、それを手の運動神経と結合させることが必要であると指摘している。武部（1985：89）も、漢字の字体は目で覚えるものではなく、手で覚えるものだと述べている。また、藤田他（2001：131）は、筆順は整った文字を書くために必要であるが、そのほかにも記憶するときに都合がよいという利点も持ち合わせていると述べている。正しい筆順が定まっていないと毎回勝手な筆順で書いてしまい、なかなか記憶できないというのである。よって、これらのシステムも、漢字の書き取り習得に重要な役割を持つ筆順に着目し、開発されている。

一方で、松本（2013）により新しいアプローチによる新指導法の有効性が報告されている。「書く」ことよりも「字形と意味」にまずは重点を置く指導法である。しかしながら、この調査は小学校低学年児童、小学校5年生～高校2年生までの児童・生徒、企業研究生の夫人など、日本語学校で学んでいる学習者と学習背景やニーズが違う学習者を対象としており、この新指導法が全ての学習者に有効であるとは言い難い。著者自身も今後の課題として、従来の漢字指導に慣れた教員の意識改革も必要であると述べているように、「意味・読み・書き」の3セットでの指導が大切であると考えている教師も多い。龍岡・吉村（1996：104）は、日本の小学生と欧米の外国人留学生を対象にした漢字教育システムの報告の中で、外国人留学生と小学生では幾分違いはあると思われるが、筆順を正しく理解することは、漢字学習上重要な点であり、著しく反復が要求されるものであると述べている。よって、松本（2013）の「書くこと」は負担になり、何度書いても漢字が覚えられな

いという主張は、特定の年齢層の学習者のみに当てはまることではないかと考えられる。

濱田他（2006）は、短時間学習型の初級漢字教科書『留学生のための毎日の KANJI』を開発した。日本の大学で学ぶ外国人留学生の多くが、専門の学習や研究を行いながら限られた時間の中で日本語クラスに参加していることから、短時間で効率的に学べる教科書を開発したのである。この教科書の Vol.1 は L1～L40 で構成されているのだが、L1～L10 の分類の基準に「基本画の書き方および筆順の原則を習得するための漢字」とあった。まず、筆順の基本的な学習が必要だということだ。漢字の習得には、「書く」という動作が必要であり、加納（1994：44）も指摘していたように、初級段階から筆順を含めしっかり指導することが漢字習得を成功へと導くのである。以上のことから、非漢字系日本語学習者が漢字を習得する場合、筆順指導は必要不可欠であると言える。

では、日本語を学習している学習者が全員、前出のシステムを利用できるのかということではない。日本語教育機関の多くは、漢字指導を授業内で教師が行っている。漢字指導には十分な時間が与えられないことから、授業内だけでは漢字の習得は難しく、学習者の独習にも頼らざるを得ない。よって、教室活動内での教師の役割は、短時間で漢字の習得を促す指導をすることなのだが、そのような有効的な指導方法として高木（1995）は、学習者の漢字パターン認識能力⁷を促進させることを挙げている。漢字の「字形」に関するパターン認識能力を促進させる指導⁸を行い、学習者が持ち得る漢字パターン認識能力と漢字習得とは関係があるのか調査した結果、漢字パターン認識能力を促進させることは漢字習得率を高め、漢字パターン認識能力と漢字習得とは関係があるとみなせられると報告している。また、池田（2010）は、高木（1994）の非漢字系日本語学習者が有しているパターン認識能力には、学習者自ら作り出すもののほかに非漢字系日本語学習者に特有なものがあるという報告から、漢字を構成要素別⁹に考える前に、漢字学習の初期段階にある学習者が漢字の字形を構成要素よりも大きい字単位でどのように見ているかを調査した。さらに、漢字の字形に対する認識が習得にどの程度影響を与えるかを見るために、初級前期修了試験における文字分野のテストスコアとの比較により、認識と習得の関連性について考察した。その結果、字形間の識別能力が高い学習者はテストスコアも高いと証明された。

では、漢字習得に有効的だと言われている漢字のパターン認識と筆順指導には関連性はあるのだろうか。高木（1993：60）は、筆順指導は学習者の記憶しやすさや書きやすさに任せ、厳密にはしなかったとし、ただし漢字そのものの形や、ひいては意味にも係ってくる場合¹⁰にのみ厳しく指導したとしている。これは、高木が「視覚型」「聴覚型」の指導法

を重要視していたことと関係している。また、高木（1993：70）は、非漢字系日本語学習者には特有の認知構造に基づく記憶・検索・再生の経路があることから、筆順どおりの再生は難しいとし、非漢字系日本語学習者の漢字習得には筆順は重要ではないと述べている。駒井（1993：2）も、非漢字系日本語学習者の筆順学習には、「母（国）語での書字活動からの干渉」があることを指摘している。したがって、高木（1995b）は、非漢字系には非漢字系独特の方略や経路があり得るため、筆順の指導では人間が習慣化したものぐらいに捉え、許容範囲を設ける方が良いと考えている。

しかしながら、筆順指導とパターン認識に関連性があるという報告もある。西田（1963）は、スタンフォード大学日本研究センターの学生を対象に調査を行った。作文や練習帳を見ると、大体の漢字の字形はできているが、最も多く目につく漢字の誤用は、ㄣ、一、丨、ノなどを書き落したり、一本多く書いたり、伸ばし足りなかったり、伸ばし過ぎたりするという一点一画を不注意に書くために起る誤りであったとしている。これらのことから、正しい筆順で一点一画をおろそかにせず書く習慣をつけさせることが、漢字指導の場合に重点を置くべき箇所であると述べている。この報告は、正に筆順指導とパターン認識につながりがあることを示している。また、川森（2000：50）は、大阪外国語大学留学生日本語教育センターの1999年度春学期研究留学生コースの既習者向け漢字クラスで、ある学習者から「字形の再生のみならず、書写の段階でさえ、長い縦画を最後に書くのかどうか迷っているうちに、字形そのものもあやふやになり、手本を何度も見なければならず、いらいらする。長い縦画を最後に書くかどうかのルールがあれば教えてほしい」という要望を受けた。つまり、この学習者は、自分の漢字力向上には筆順が必要だと考えていたのである。

奥村（1999：46）は、漢字における最重要課題は、漢字を書く作業を通じて漢字を覚えることとし、授業内で筆順指導にかなりの時間を割いていた。駒井（1993：2）が筆順指導には「母（国）語の干渉」があるとしていたが、奥村（1999：51）は、学習初期の段階から繰り返すことによって、次第に筆順に対する抵抗感は少なくなっていくと述べている。武部（1989a：88）も、漢字は一定の筆順にしたがって書くほうが覚えやすいことから、筆順というのは、漢字を覚えやすくするために強制するのであり、そのほうが学習者にとって好都合であると述べている。

したがって、筆順指導は漢字の字形を正しく認識するための指導法であり、また、筆順指導により正しくパターン認識ができれば、漢字習得にも有効的であると考えられる。

一方、漢字習得には具体的な指導法以外に、学習者に影響するものがあるのではないだろうか。成田（1998）は、タイの大学生の日本語学習動機と成績との関係を明らかにする調査で、「統合的志向」（日本人と友達になりたいからなどの動機）の強い学習者の成績が高く、「利益享受志向」（将来何かいいことがありそうだからといった動機）、「誘発的志向」（親や友人に言われたからなどの動機）の強い学習者の成績が低いという結果を報告している。西郷（2007）は、学習意欲を維持・向上させるために、学習者の情意領域を意識した活動の報告をしている。よって、漢字習得にも学習者のビリーフ¹¹が大きく影響しているのではないかと予測される。

1.4 日本語教育における漢字指導について

1.4.1 筆順指導について

漢字を正確に早く手に覚えさせるためには、筆順が必要であり、漢字を教える時には、筆順にも注意を向けさせながら指導すべきであると、堀口（1977：67）は述べている。そして、当然、指導は初級レベルから始めるべきである。奥村（1999：51）が述べたように、学習初期の段階から繰り返すことで、漢字の書写や筆順に対する抵抗感が少なくなるからだ。豊田（1995）や清水（1998）は、初級段階よりも中級段階の学習者の方が漢字の学習に困難を感じているという調査結果を報告している。中・上級レベルになると急激に語彙が増える。しかしながら残念なことに、漢字学習にかけられる時間が徐々に削られ、初級のような指導が受けられないことが多い。よって、初級レベルでの漢字学習法の基礎作りが重要となってくる。初級での漢字学習は、その後の学習に大きく影響すると考えられる。林（2011：97）は、初級から中級にいくにしたがって漢語は増加傾向にあるため、中級以降の日本語の語彙能力は、漢字の学習にかかっているといっても過言ではないと述べている。初級レベルで漢字学習の基礎を固めることが、その後の日本語学習、日本語習得にもつながるのである。

日本語教育における初級レベル学習者への漢字指導は、それをメインに行うことは難しく、初級テキスト指導中に組み込まれることが多い。よって、十分な時間が割り当てられているとは言い難い。池原（2014：2）は漢字指導について、時間的制約等の理由から教師が教科書に出てくる漢字を紹介、練習し、テストで定着を図るという教師主導の教授法で、漢字学習の大部分が学習者の自学自習に委ねられることが多かったため、本来、論理的に記憶していくことで漢字の定着、応用につながり、学習意欲を刺激していくものが、

学習者によっては意味もなく覚えることにもなり、そのことが漢字嫌いを作り出す一つの原因になっていると指摘している。限られた時間内で指導を行う場合、新漢字の導入からその漢字を使った語彙の練習まで、教室内で行う範囲と、学習者の自習に任せる範囲は教師が判断することとなる。多くの場合は、漢字を書く練習は教室内活動でなく宿題にすることが多い。学習者が「書いた」漢字をチェックするのが漢字指導の軸となる。では、学習者がすでに書き終わった文字だけを見て、学習者の漢字習得を判断できるのだろうか。漢字にはそれぞれ筆順という決まり事があり、それらを丁寧に指導することで、学習者の新漢字への判断力、認識力を高める助けとなるのではないだろうか。

「筆順指導の手びき¹²⁾」によると、筆順は「全体の字形が、じゅうぶんに整った形で実現でき、しかもそれぞれの文字の同一の構成部分は、一定の順序によって書かれるように整理されていることが、学習指導上効果的であり、能率的でもある」とある。江守(1979)は、私たちが日常文字を書く場合、やはり漢字の形や筆順は大切なことであり、それは小さい時にしっかり身につけておくことが必要だと指摘している。これは日本の小学校教育における使命だとしているが、日本語教育に置き換えた場合でも筆順は重要であると言えるだろう。

1.4.2 漢字習得の評価について

日本語教育の場では、前述した通り、漢字を書く「過程」ではなく、漢字を書いた「結果」のみを評価の対象としている。教師は学習者がどのような筆順で書き、どのようにパターン認識をしているのかについては重視していない。過程はどうであれ、正しい文字として認識できるレベルであれば、習得は成功したとしている。

では、「正しい文字」とは、一体何を以て「正しい」と言えるのだろうか。教師が学習者の文字を見て、「正しい」と判断する基準は、統一されているとは言えない。日本人が書く「不自然」とされる字形も、日本語学習者が書いた場合は、大まかな字形が合っていれば、「正しい」「正解」と評価される場合がある。しかし、それでは漢字を「習得した」と言えない。日本語学習者のレベルだけで考えるのではなく、日本人と同等に扱われるべきである。よって、日本人と同じような字形の再生が行われて、初めて漢字を「正しく」書き、「習得した」と言えるのである。

日本語学校では、定期的にテストが行われ、学習者たちの習熟度をチェックしている。以下は、非常勤講師として勤務している日本語学校で採点されたテストである。回答者は

いずれもベトナム人留学生である。テストの作成および採点は、専任講師が行っている。

図 1 は、「吸」の評価である。

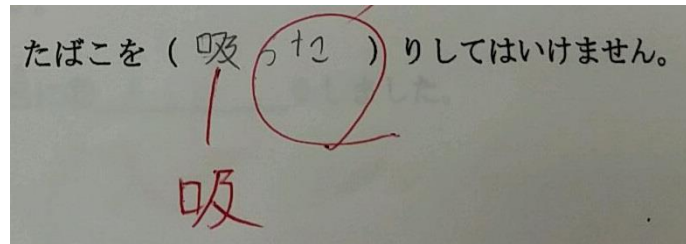


図 1 「吸」の評価

「吸」という漢字の字形が違う。採点者は字形の訂正はしているが、評価においては「正解」としている。

図 2, 3 は、「入」の評価である。

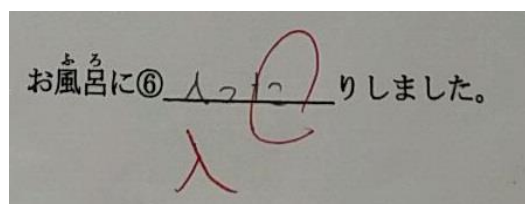


図 2 「入」の評価①

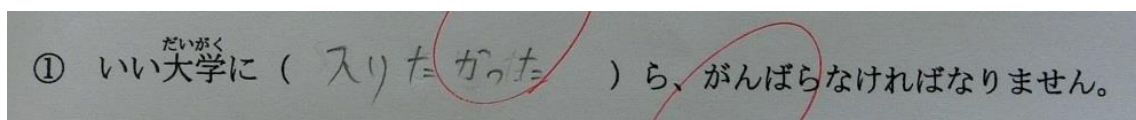


図 3 「入」の評価②

図 2 は、「入」が正しい字形だが、学習者の回答が「入」なのか、「人」なのか、字形のみでは判断が難しい。しかし、前後の文脈から学習者が「入」と書いたのだらうと仮定し、評価は「正解」としている。一応、正しい字形の見本も下書き加えている。

図 3 は、「人」の上部をそれらしく書くことによって「入」に似せているが、正確に書かれているとは言えない。

図4は、「暑」の評価である。

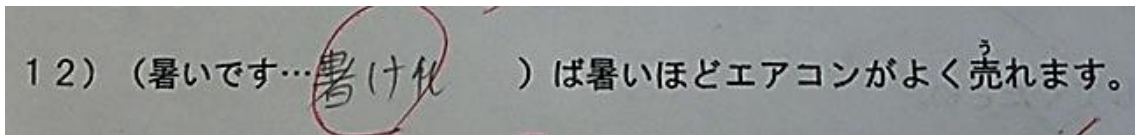


図4 「暑」の評価

「暑」という漢字は、上部が「日」だが、学生の解答は「田」になっている。下部の「土」の縦書きが上に突き抜けているのだと思われる。

図5は、「食」の評価である。

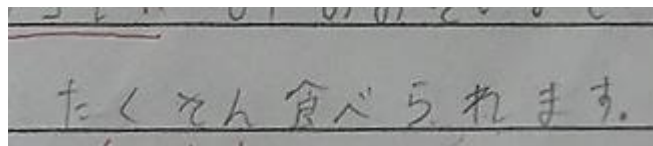


図5 「食」の評価

「食」の8画目が抜けている。

図6は、「園」の評価である。



図6 「園」の評価

「園」の11画目が抜けている。

図7は、「行」の評価である。

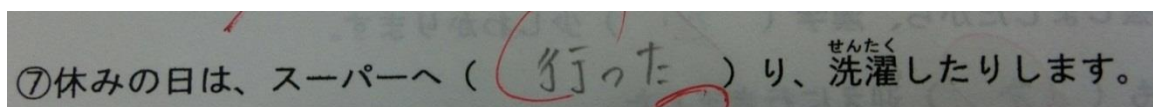


図7 「行」の評価

「行」の3画目は本来ならばトメであるが、外側へのハネが見られる。

図8は、「飲」の評価である。

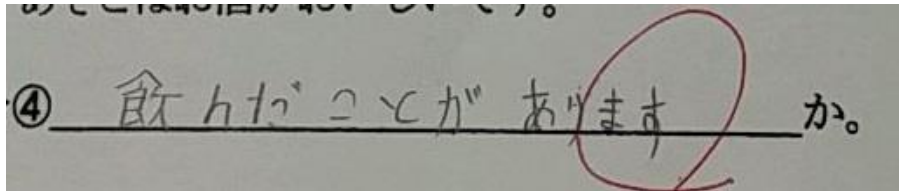


図8 「飲」の評価

細かい部分を見ると10画目にハネがないが、「正解」と評価されている。

図9は、「校」の評価である。

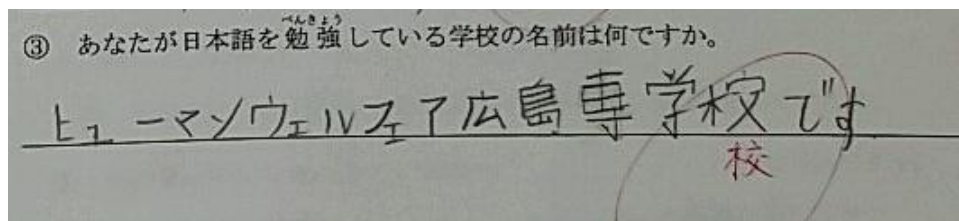


図9 「校」の評価

「校」が不自然な字形であるが、正解と評価されている。「校」の字形が訂正され、その下に訂正文字が書かれていることから、「専門学校」の「門」が無いのは採点者の見落としであると思われる。

図1～9の採点例から、学習者が大まかな字形を認識していれば、多少不自然な部分があっても許容されていることがわかる。しかしながら、上記の評価の中で、正解としながらも訂正している部分は別として、訂正がなく正解と評価されている部分について、採点者の見落としなのかそうでないのかは、採点者に確認できなかったことから定かではない。完璧な字形でない場合も正解と採点されているのは、おそらくこのテストが「漢字テスト」ではなくメインテキストの確認テストであることが原因の一つであると考えられる。漢字テストではなく文法中心の確認テストであることから、漢字の字形についてはある程度の許容範囲が設けられている¹³。漢字テスト以外では、漢字の字形に不自然な点があっても、文法に間違いが無ければ「正しい」と評価されていることがわかる。以上から、日本語学習者に対する漢字評価は特殊だと判断できる。日本人が小学校で漢字を学ぶ際に受けた評

価とは違う。さらに、その評価基準には統一性がなく、教師個人の判断に任される点が大
きいようである。

では、このような許容を設けていて良いのだろうか。上記のような漢字を書いていたの
では、完全に漢字を「習得した」とは言えない。習得は、日本語学習者のレベルだけで考
えるのではなく、日本語母語話者と同等に扱われるべきである。日本語母語話者と同じよ
うな字形の再生が行われて初めて、漢字を「正しく」書き、「習得した」と言えるのである。

「日本語母語話者と同等」と述べたが、上記のような不自然な字形を日本の一般社会で
使用した場合、外国人の文字は拒絶されるのだろうか。度々、留学生が役所や銀行などの
学校外で文字を書く場面に居合わせたことがあるが、一般社会においても、ある程度許容
されているようであった。日本人の中にも字形を崩して書く人がいることから、そのよう
な場では正しい字形でなくとも情報が伝われば良く、むしろ、個性がある字形のほうが好
都合な場合もあった。しかしながら、やはり漢字は不自然な字形ではなく、正しい字形の
再生が必要だと考えられる。

林（2010：31）は、タイ人日本語学習者を対象に、「読みやすい」漢字書字を目指すた
めに、毛筆を利用した漢字指導を行った。PC 機器の普及で実際に書字することが少なく
なっていることを指摘しながらも、日常の中では、手紙を書いたり、メモを残したりなど
書字を行うことは多々あり、読む相手の存在を考慮に入れた「読みやすい文字」が書ける
ようにならなければならないと述べている。また、日本語教育の文字指導における問題点
として、教師側・学習者側が「読みやすい文字」を書けるようにするという認識を持って、
文字指導・文字学習に取り組めていないことも挙げている。結果、学習者の書く文字が非
常にバランスの悪い文字となり、何とか判読できるような文字を書いてしまうことにつな
がっていると指摘している。「読みやすい文字」を書字するために必要なものは、漢字の字
形を整えることが重要であると述べていることから、正しく書くにはその過程も重要であ
り、筆順指導が影響する部分が大きいのではないかと予測される。字形指導だけでなく、
筆順にも重点を置くことで、前出のような部品の間違いや、画数の減少、また、字形の不
自然な乱れなどが、起こりにくくなると考えられる。

1.4.3 クラス分けの現状

多くの日本語学校では、クラス分けの際、レベルチェックテストを行い、その結果に沿
ってクラス分けを行っている¹⁴。通常、クラス¹⁵はレベル別だが、漢字クラスの場合のみ、

特別に漢字系日本語学習者と非漢字系日本語学習者を別々のクラスに分けて指導することが多い。その方が効率的であるとされているからである。(武部 1989b) 学習者をレベルではなく、出身地域によって分けている原因は、漢字の指導法の違いにあると考えられる。このように漢字の習得度がクラス分けにも影響することから、日本語教育における漢字習得は重要な課題の一つであると言えよう。

では、なぜ漢字系日本語学習者と非漢字系日本語学習者に対し漢字指導を行う際、クラスを分ける必要があるのか。西山(2006: 1)は、字形・字義の両面で既有知識が異なることや、それに際し、教授内容や指導のポイントも異なるためだと述べている。現在、漢字系日本語学習者とは、中国、台湾、韓国出身の学習者とされているが¹⁶、中国、台湾に存在する「漢字」と、日本に存在する「漢字」には、字体に大きな違いが見られる。しかし、日本人が簡体字・繁体字¹⁷を見て「漢字」ではないと判断するかと言えば、そうではない。字体が違っていても、それは漢字の細かい部分が違っているのもであって、それらを「漢字」と認識することはできるだろう。一方、韓国では、ハングルを積極的に推奨する動き¹⁸が見られ、漢字離れが進んでいる。自国の開発した文字「ハングル」を尊重し、昔ながらの町並みを再現している場所では、外資系店舗の店名のアルファベット使用を控え、ハングルを使っているところもある。若者に至っては、自分の名前ですら漢字で書けない人も増えてきている。しかしながら、韓国では、生活の中でしばしば漢字を目にすることがある。新聞や商品のパッケージなど、目を引きたい時にインパクトを与える材料として漢字を使用しているのである。

以上のことから、中国、台湾、韓国は、細かい字形や使われ方は違うが、生活の中に「漢字」と呼ばれるものが存在し、身近にあると言える。

それと比べ、非漢字系日本語学習者の国には、現在、「漢字」と呼ばれる文字が存在しない。生活の中でも、漢字を目にすることは皆無であると考えられる。漢字がどのようなもので、どのような意味を有し、どのような働きをするのか、漢字と共に育ち、ほぼ自然習得した漢字系日本語学習者とは異なるのである。

ここで注意しておきたい国の一つがベトナムである。ベトナムを非漢字系としても違和感はないのだろうか。ベトナムではその昔、ベトナム語を表記する公用文字がなかったことから、表記文字として漢文が使用されていた。しかしながら、ベトナム独自の声調入り文字であるクオック・グーが発明されると¹⁹、漢字の使用頻度は減少した。その後、北ベトナムでは1950年、暫定教育改革により漢文教育が廃止し、1954年に漢字の公的な使用

がなくなったが、南ベトナムでは 1975 年まで中等教育での漢文が続けられていた。約 40 年前のベトナムには、漢字を学ぶ人がいたのである。しかし、現在では、僧侶以外で漢字が読める人はほぼいなくなってしまった。漢字から離れたのは韓国と同じではないのかと思われるかもしれないが、韓国はハングルの使用を推奨しているのであって、漢字の使用を廃止しているのではない。この点がベトナムと異なる。よって、ベトナムは歴史的観点からは漢字に深い関わりがあるが、現在日本に留学する学習者たちと直接的な関わりはないと言え、ベトナム人学習者は非漢字系日本語学習者として扱うことに不自然な点はないとした。

以上が、漢字系と非漢字系学習者の詳細であるが、このような背景の違う学習者を漢字授業において同じクラスに配置すると、どのような問題が浮かび上がるのだろうか。一つは、学習進度に影響することが挙げられる。漢字系日本語学習者は、自分がそれまで習得している漢字を日本の漢字に置き換えることが漢字学習の主となるが、非漢字系日本語学習者は、漢字を文字として認識するところから始まる。縦線、横線、斜め線、点、丸など、漢字を構成するパーツを認識し、何度も繰り返し練習することでパターンに気づき、それまで得た基本的な知識を元に応用していかなければならない。これらの作業は、短時間では難しい。よって、すでに自然習得している漢字系日本語学習者と非漢字系日本語学習者を同じクラス内に置くと、どうしても非漢字系日本語学習者のペースに合わせることになってしまい、漢字系日本語学習者の学習を妨げる要因となってしまうのである。

もう一つの問題は、学習者たちの情意面において悪影響を与える恐れがあることである。漢字学習は初級のうちから始められることが多いが、初級は日本語学習を開始して間もないことから、学習者たちは授業に対し、大きな希望や期待を持って参加している。そんな中、漢字を知らない学習者を対象とした漢字授業を、漢字系日本語学習者も一緒に受けなければならない場合、フラストレーションが溜まり、教師と学習者の信頼関係や、学習へのやる気などに大きな影響を与えてしまうことが考えられる。反対に、非漢字系日本語学習者にとっても、良い影響を与えるとは考えにくい。自分たちが一から学ばなければならない漢字を、漢字系日本語学習者が容易に使いこなしている姿を近くで目に見ると、やる気に支障をきたすことが予測される。

しかし、本論文では、漢字系日本語学習者と非漢字系日本語学習者は、同じクラス内で指導するほうが漢字習得に有効的ではないかと推測した。なぜならば、再度学習者の情意面に着目してみると、「漢字系日本語学習者が容易に使いこなしている姿を近くで目にする

と、やる気に支障をきたすのでは」と前述しているが、逆に、身近に漢字を使いこなしている学習者がいることで、自分もいつかそうなれるのではないかと、努力すれば習得に成功するのではないかと期待感が大きく膨らみ、良い方向へ気持ちを向けられると考えたからである。また、指導面においても、教師と学習者のワンパターンではなく、漢字系と非漢字系の学習者同士が助け合い、協働学習「ピア・ラーニング (Peer Learning)」することにより、学習環境にも良い影響を及ぼすだろうと考えられる。

このように、漢字系と非漢字系の学習者を同じクラスに配置することによっていくつか利点が挙げられることから、混合クラスでも有効的な漢字指導が行えることを証明したい。但し、これらの利点は、全て非漢字系日本語学習者の立場から考えられるものであり、漢字系日本語学習者の視点に立つと、利点は挙げられにくいことは事実である。本論では、非漢字系日本語学習者に対する漢字指導を主に取り上げることから、今回は漢字系日本語学習者については取り上げないこととする。

1.5 大学進学と筆記との関わり

近年では、筆記を求められる場が減ってきた。役所や銀行などの初期手続きでは、個人情報など最低限の筆記は求められるが、大学のレポートも履歴書も全てがコンピュータで作成されるようになった。世間が筆記を求めなくなっている中で、日本語学習者に筆記の重要性を説くにはどうしたら良いのだろうか。

現在、勤務中の日本語学校に在籍中の留学生約 8 割は、日本での大学進学を目的としている。日本の大学の多くは、日本語能力試験 (JLPT) と日本留学試験 (EJU) のスコア提出を原則としている。よって、大学進学を望むのであれば、必然的に両試験を受験しなければならない。これらの試験は、マーク式による回答方法を実施している²⁰。細かい字形については問題ではなく、視覚のみで字形が判断できればいいとされている。したがって、学習者の中には筆記に対する重要性・必要性を感じていない人もいる。日本語学校に在籍する 1 年半から 2 年の間で、日本語能力試験 N2 レベル、日本留学試験 250 点以上取得²¹を目標として、学習しなければならない場合、学習者は両試験の対策に必死になり筆記の大切さを忘れがちだが、なぜ筆記が重要なのか、筆記力をつけることによる学習者にとっての利点は何なのかをしっかりと提示し、納得させることで、よい方向へ学習者を導いていくことが理想的である。

筆記が必要な場として一番に挙げられるのが、大学受験である。大学の入学願書は本人

の直筆が求められる。また、入学審査内容には筆記力をみるための学力試験や小論文がある。これらは全て筆記で行われる。日本語学校から離れ、大学という日本人学生とほぼ同等に扱われる場では、「外国人だから」という特別な許容は日本語教師のそれとはまた違うと予測される。教師が学習者に、大学進学を目指すのであれば筆記力も重要であることを伝えれば、学習者自ら筆記の必要性に気づいてくれるだろう。

日本語学校では、学習者の将来を見据え、指導することが不可欠である。初級で、ある程度の許容があった場合、学習者もそれに順応してしまい、中級から厳しく矯正することは難しい。一度ついてしまった癖はなかなか抜けない。よって、初級のうちから筆順を含む筆記の指導を行い、筆記力の定着を図ることが重要となる。

1.6 習得の定義づけ

日本の教育課程は、義務教育で始まる。文部科学省によって義務教育の目的、および目標は定義され、それを基に教育が行われている。管轄がはっきりしていることから、学習対象、評価基準、習得の程度は全て明確であり、国の制度によって教育の質の保障がされている。学習指導要領などにより、細かく指導法についても指示があり、全ての学校においてほぼ同じ内容で同じレベルの教育が受けられることになっている。

国語教育と日本語教育を比較してみると、日本語教育においては学習者、学習対象、評価基準、習得の程度が全て不明確である。具体的に教育内容が制度化されておらず、学校や教師の任意で授業が行われている。学習者は年齢、母国、学習目的など、一人として全く同じ条件の学習者はいない。また、学習対象については、日本語教育では国語教育の教育漢字のような設定がなく、テキストに頼るしかないのが現状だ。むしろ、テキスト選択も各学校に任されており、テキスト運用法も違うと考えられることから、明確であるとは言い難い。テキスト自体の基準においても、何を基に評価するのか決められていない。評価法が不明確であることから、相対的な評価はできるが一括評価はできない。これは、大学や専門学校と似ている²²。学習対象や評価法が不明確なのだから、習得率も当然不明確である。全てが日本語学校の任意で行われている。むしろ、学校の任意というより教師の任意で行われている部分が大きいのと言えよう。

本研究では、学習者の漢字習得を課題にしているのだが、何をもって「習得した」と言えるのだろうか。日本の義務教育における「習得」は、学習指導要領によって定められた目標の達成率で判断する。日本語教育には統一された指標がないことから、日本語能力試

験や日本留学試験などの全日本語学習者を対象にし、また、日本での進学や就職の際に日本語学習者の日本語レベルを判断する目安とされている試験の結果で、学習の達成率や習得率を見るしかない。もし、各日本語学校で習得率を知りたいならば、定期テストの結果など、習ったものの再生率で判断するしかない。

本論では、一つの学校を指定し、その中で選んだ学習者を対象にすることから、日本語能力試験や日本留学試験などの試験は習得を判断する目安として使用せず、後者の各学校の定期テストの再生率で、習得したのか、習得していないのかを判断することとした。

1.7 予想される結果

以下、4点を明らかにする。

- (1) 筆順指導は、漢字習得促進に役立つのか
- (2) 正しく筆順を記憶することは、漢字の字形の正当性と関係するのか
- (3) 同じクラスで同じ漢字指導を受けた学習者の漢字習得に表れる差の原因
- (4) 漢字系日本語学習者と非漢字系日本語学習者のクラスを分ける利点と欠点

以上をもとに、仮説を立てた。

【仮説 1】漢字指導において筆順指導を行った場合、漢字の習得促進に役立つ。

【仮説 2】正しい筆順は、きれいな字形の再生につながる。

【仮説 3】漢字に対して好意的である学習者は漢字の習得レベルも高い。

【仮説 4】混合クラスの方が、漢字の正しい字形の記憶率が高く、ピア・ラーニングなどの観点から非漢字系日本語学習者の漢字習得に効果的である。

2 章 先行研究

2.1 非漢字系日本語学習者への筆順指導に関する研究

筆順指導についての見解は様々である。吉村（1989）は、漢字の筆順を習得する利点について、「文字の習得に役立つ」「文字の形が整いやすい」「無理なく早く書ける」「たとえ早く崩して書いても読み誤りがない」「画数の数え方がわかれば、読み方のわからない漢字でも漢和辞典で画数から検索できる」以上 5 つ、肯定的な点を挙げている。反対に、玉村（1993）、西野（1995）は、筆順は大切であるが、あまり神経質になる必要はないと否定的な意見である。これらの意見を受け、池田（2004：26）は「漢字を書くたびに違う筆順で書く学習者は少なく、ある一定の筆順で書いている。どうせ身に着ける筆順であれば、正しい筆順で書くくせをつけたほうがいい。最初が肝心だ。」と述べている。筆順は最初の 100 字ぐらいを丁寧に指導すれば、あとは学習者が推測できるようになると言い、筆順指導に関して積極的な意見を述べている。

筆順指導と筆順学習の実態と意識に関する研究に、秋山（2012, 2013）がある。非漢字系日本語学習者に限らず、漢字系日本語学習者も含め、全ての学習者にアンケートを行った。筆順指導の必要性について、「習うべき」「習わなくてよい」「どちらでもない」の 3 つの選択肢のうち、「習うべき」と回答した学習者が 70% と高く、日本語学習者たちの多くが筆順指導を「必要だ」と捉えていることが結果として出ている。しかし、非漢字系日本語学習者と漢字系日本語学習者に分けて結果を見ると、非漢字系日本語学習者の方が「習うべき」の比率が 7% 低く、「どちらでもない」の比率が 17% 高かった。非漢字系日本語学習者にとっては、漢字を習得することが一番重要であり、筆順まで学習する余裕がないということだと述べている。筆順を漢字習得に役立つものという認識ではなく、筆順も漢字同様、学習し、記憶するものだと考えられていた。

2.2 混合クラスにおけるピア・ラーニングに関する研究

ピア・ラーニングに関する先行研究として、池原（2014）がある。この研究は漢字系日本語学習者と非漢字系日本語学習者の混合クラスを対象としたものではなく、研究対象者全員がイギリス出身で、母語が英語の非漢字系日本語学習者である。学習者同士が協力し理解を構築していく教室活動、協働学習であるピア・ラーニングを漢字指導に取り入れる前に、まず仮名指導に取り入れてみたところ、仮名の習得率が上がり、書き方の正確度も

増し、学習者の満足度も高いという結果が出た。これに従い、仮名の学習後も継続して漢字の指導にピア・ラーニングを取り入れた。その結果、学習者同士は漢字の書き方、読み方、覚え方、記憶の方法など、互いにペア、又はグループで各自の知識、方略を交換し学び合うことで、従来の教師主導の漢字指導の際に必ず出てくる漢字嫌いが減り、各課の小テストも全員が 90% を維持できるようになったと報告している。この研究の問題点として、全員が英語母語話者であったことから、ピア・ラーニングの活動が日本語ではなく英語で行われており、日本語による対話に切り替えていく機会をうまく捉えることができなかったことを挙げている。

西山（2006）は、漢字系日本語学習者クラス、非漢字系日本語学習者クラス、混合クラスの 3 つの漢字クラスを観察し、2 つのクラスで、教師と学生間の「教える、教わる」インターアクションのほかに、ピア・ティーチング（peer teaching）の場面が見られたと報告している。教え合いの活動を「ピア・ティーチング」と呼んでいる。ピアが見られたのは、漢字系日本語学習者クラスと混合クラスである。非漢字系日本語学習者クラスでピアが見られなかった。その理由として、学習者がやや受身であり、漢字を練習するのに一様に時間がかかったこと、教師が授業の大半を学習者の練習や筆順をチェックすることに時間を割いてしまっていたことを挙げている。ピア・ティーチングが見られたクラスでは、学習者たちは漢字クラスの中で、新出漢字を練習するだけでなく、仲間の学習の方略も学び合っていた。

ピア活動の意義は、舘岡（2005）によって、「仲間の学習者から直接に知識や方略が学べる」ことや、「自己を見直す機会が与えられる」と認められている。自分と背景の異なる学習者がいる混合クラスでは、漢字の筆順や、未習漢字を速く調べる方略も他者から学べ、また、背景が同じ学習者同士であっても、自分自身の学習を見直すということにおいて同様だとしている。このピア・ティーチングは、ただ漢字学習に有効的なのではなく、学習者自身の情意面とも大きく関わっていると予測される。

2.3 日本語学習者の漢字学習に対する情意面に関する研究

日本語習得には、学習者の情意面「ビリーフ（belief）」が大きく影響していると考えられる。ビリーフとは、学習信念のことである。片桐（2005：85）は、言語学習 Belief(s) とは、言語（外国語）はどのように学習すべきか、言語学習はどのようなものであるかといった言語学習に関しての意見、考え方、信念のことであるとしている。また、川口・横

溝 (2005) は、学習者のそれぞれが、自分の国の文化・社会の中で「学習および教授のあるべき姿」や「一番身近で心地よく感じる学習方法」などについて持っているイメージとしている。日本語教育学においては、言語学習や教育についての「信条」「信念」「確信」「言語教育観」「言語学習観」「ビリーフ」「ビリーフス」などと訳されている。本稿ではビリーフを用いることとする。

ビリーフ調査は、背景が比較的統一されたグループ内での実施が望ましいことから、国籍が統一されている日本国外における調査報告が多くみられる。非漢字系日本語学習者を対象としたものに限ると、若井・岩澤 (2004) のハンガリー人日本語学習者の研究、和田 (2007) のスリランカの大学生の研究、片桐 (2005)、高崎 (2006)、ヴェントゥーラ (2007) のフィリピン人日本語学習者の研究、阿部 (2009, 2010) のスペインの大学生の研究、横山 (2010) のベトナム人大学生の研究、柳田 (2011) のフランス人大学生の研究、Ridwan (2011) のインドネシア人大学生の研究、ブシマキナ (2013a) のロシア人日本語学習者の研究などが挙げられる。日本国内の調査報告は、齋藤 (1996) や、ブシマキナ (2013b) がある。

非漢字系日本語学習者における漢字学習への意識調査は、様々な視点から行われている。学習者がどのように漢字を捉えているのかを明らかにする研究として、柳田 (2011) が挙げられる。フランス人日本語学習者を対象に、漢字学習に対する意識調査を行った。フランス人大学生 120 名が新規の漢字を学習する時、漢字のどんな特徴を難しいと感じているのか、また漢字のどんな特徴に注意しているのか、どんな学習法を使用しているのかを明らかにしている。選択式のアンケートと、自由記述式のアンケートを実施している。選択式のアンケートでは、「字形」「読み」「意味」「書き順」「語彙」「同音異義」を、難しいと思う順に書かせた。その結果、書き順を一番難しいとする傾向は見られなかった。自由記述式のアンケートは、選択式のアンケートの対象者の中から、優秀成績者 2 名、中程度の成績者 2 名を対象として行っている。アンケートは「漢字の学習で工夫しているところ」を書かせているが、回答の中に「書き順を覚えるまで何度も紙に漢字を書きます」があった。これは中程度の成績者の回答であった。ただ何度も書くのではなく、「書き順」を意識した学習法を用いていることから、この学習者に限っては書き順が漢字習得に役立っていると言える。

Ridwan (2011) は、インドネシア人大学生を対象に、初級日本語学習者の漢字学習に対する意識を調査した。漢字学習方法として考えられる 32 の学習ストラテジーを設定し、

「よくする」「時々する」「どちらとも言えない」「あまりしない」「全然しない」という 5 段階評定によるアンケートを実施した。その結果、「書き順に注意する」が 90%であった。「繰り返し書く (92%)」に次いで、二番目に多い回答が得られている。漢字の学習方法の中の重要なものとして筆順が認識されていた。また、漢字学習の問題点についての調査結果では、「書き順がわかりにくい」の項目において「強くそう思う、そう思う」の回答率は 58%であったが、「あまりそう思わない、全然そう思わない」の回答率は 40%であった。筆順が、必ずしも漢字学習の壁になるとは限らないことが、結果として出ている。

2.4 非漢字系日本語学習者の漢字習得に関する研究

板井 (1997) は、中国人学習者を対象にビリーフ調査を行った。「成績上位者 (成績が優²³) と成績下位者 (成績が中) の間に beliefs の差があるかどうか」などについて調査した。その結果、成績上位者はと下位者に差が見られた。成績上位者は成績下位者よりはっきりした日本語を学習する動機を持っているだけでなく、功利的な動機についても成績下位者より関心が高かった。「はっきりとした動機」とは、日本語が上手になりたいという明確な動機の他に、「日本人の友人がほしい」「文化背景を理解したい」「話せたら専門や仕事に有利」などである。また、成績上位者は学習者主導型の授業形態を望む傾向が見られた。

伊古田 (2004) は、成績上位者は学習開始直後にどのようなビリーフス²⁴をもっているか研究している。漢字に焦点を当てたものではなく、日本語学習全体に関するものである。学習者は同じように日本語学習を開始し、ほぼ同じような条件の下で学習を進めるが、その中で漢字習得に成功する学習者とそうでない学習者の間にあるものは何なのか。また、成功する学習者は効果的に学習を進めるためにどのような無意識なビリーフスをもっていて、それは良い成績といった目に見える評価を得る以前には表れるのか。学習開始直後にどのような学習観を抱き、さらに、どのような学習観が学習を成功に導くのかをビリーフ調査により明らかにしている。考察は、期末試験で実施された日本語科目の成績の合計を参考に、成績上位者と下位者を取り出し行っている。結果は、成績上位者は学習開始直後から自分の適性を信じ、学習を阻害するような不安感に陥らず、数少ない日本語接触場面である教室での活動に積極的な姿勢を見せていた。他の学習者と共に学ぼうという共同的傾向も強く見られた。習得に成功するかどうかは、学習前の意識の差異が関わっている可能性があることを示唆している。

3 章 筆順調査と結果

3.1 アンケート調査の概要

3.1.1 調査の目的

半年間、初級授業内で行った筆順指導を組み込んだ漢字指導法が学習者の漢字習得に有効的であるのかを知るには、筆順調査が必須である。筆順指導が学習者の漢字学習の助けになっているのか、筆順を正確に記憶することと漢字の習得に関連性があるのかを知るために、この調査を実施した。

3.1.2 調査方法

筆順指導を始めて半年後の初級終了時に、一人ずつ指定した漢字を書かせ、書く様子をビデオ撮影した。制限時間などは設けず、対象者に通常書くスピードで書いてもらった。この調査で、筆順チェック、字形のチェックを行った。

3.1.3 実施日

初級テキスト終了後、なるべく初中級の授業が始まる前に実施した。初中級からは「語彙」の授業が始まり、漢字指導もそこに含まれている為、初級での習得を調査する為に限られた時間の中で実施した。単一クラスで調査日に開きがあるのは、欠席した対象者がいたことによって、その対象者の調査が翌週に延期された為である。混合クラスの調査は、全員同じ日に実施することができた。

表 1 筆順調査実施年月日

単一クラス	混合クラス
2014 年 6 月 10～18 日	2014 年 10 月 21 日

3.1.4 アンケート調査の内容

調査は書き取り用紙により実施した。まず、初級学習者が間違えやすい初級の既習漢字を 18 字取り出し、調査用紙を作成した²⁵。左側に漢字 18 字を示し、それらを見ながら右側に書かせた。対象者には、普段通りのスピードで書かせた。取り出した漢字 18 字は以

下の通りである。

表 2 筆順調査で使用した漢字

口	住	市	枚	方	何	飛	身	学
院	半	魚	手	所	回	不	理	男

普段、授業内で学習者たちが漢字練習する様子を観察しながら、予め、どのような字形がどのように間違えやすいのかを予測し、いくつか挙げられた中から上記 18 字を指定した。これらの全ては、筆順、音読み、訓読み、書き方の指導がされている。さらに、定期的に行われている漢字テストに出題された漢字もある。

3.1.5 対象者

3.1.5.1 学習者の背景

本調査は、広島市内のヒューマンウェルフェア広島専門学校日本語学科に在学中のベトナム人留学生を対象に実施した。調査協力校は、1996 年 4 月に介護福祉学科を開講し、2009 年 4 月に IT システム学科、2010 年 10 月に日本語学科を開講している。比較的新しい学校だと言える。日本語学科開講当初は中国人留学生しか在籍していなかったが、現在はベトナム人留学生が一番多い。(図 10 参照)

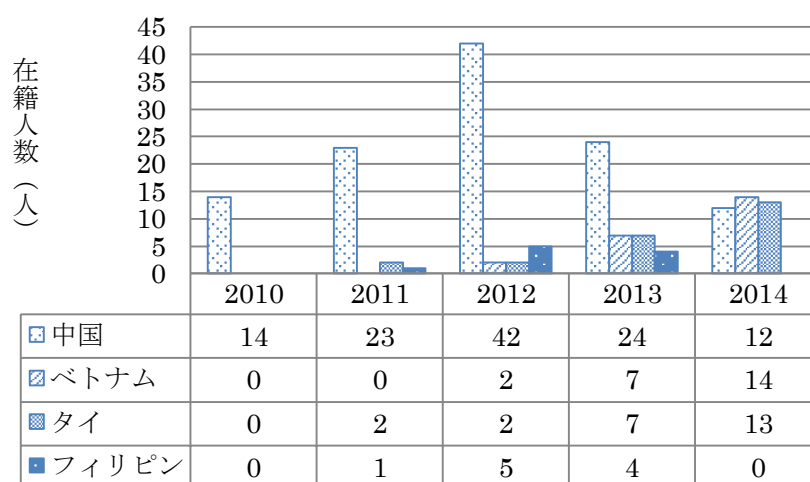


図 10 在籍人数，国籍の推移

調査は、2013 年 10 月入学生 6 名（男 4 名，女 2 名），2014 年 4 月入学生 4 名（男 1 名，女 3 名）計 10 名を対象に行った。

対象者は、入学後、全員が初級クラスで学んだ。入学時期が違っても来日前のベトナムでの日本語学習環境が類似しており²⁶，日本入国後も同じクラスに在籍し，同じ教科書，同じ進度で学んでいることから，学習背景において比較的統一された学習グループと言える。また，来日後は全員同じ工場でアルバイトをしている。アルバイト先には他校のベトナム人留学生やベトナム人技能実習生が多く，ベトナム語の使用頻度が高い。日本語を使用するのは学校内のみという対象者もいた。日常生活においては，2 人 1 組でルームシェアしている。アルバイトと同様，生活内でもベトナム語の使用頻度が高いことが予測される。

2013 年 10 月入学生 6 名は，ベトナム人のみの単一クラスであるが，2014 年 4 月入学生の 4 名はベトナム人だけではなく，中国人 3 名との混合クラスである。

3.1.5.2 学習内容

初級授業での使用テキストは「みんなの日本語 初級Ⅰ・Ⅱ」(スリーエーネットワーク)と，「1 日 15 分の漢字練習 (上)」(アルク)である。

「みんなの日本語 初級Ⅰ・Ⅱ」は，多くの日本語学校で使用されているテキストである。基本的な文型をやさしいものから難しいものへと積み上げる，文法積み上げ式の構文シラバス（構造シラバス）で構成されており，「話す・聞く・読む・書く」の 4 技能を身につけることを目指しているテキストである。このシリーズは基本となる教材「本冊」の他に，各国の言葉に翻訳された「翻訳・文法解説²⁷」が発行されている。また，書いて覚える文型練習帳や標準問題集など，授業内で活用できる副教材も充実している。調査対象者が在籍する日本語学校では，さまざまな国籍の学習者に対応すべく，本テキストを使用している。3 コマ（1 コマ 90 分）で 1 課が終わるように設定されている。授業の進度は，専任教員が設定している。3 課が終わるごとに確認テストをしている。

「1 日 15 分の漢字練習 (上)」は，初級・初中級レベルの日本語学習者を対象にしたものである。555 字の漢字を，毎日 2 ページ（6 字）ずつ学習し，読み書きのワークシートで練習することにより，約 3 カ月（学校で漢字教材として使用される場合は約 6 カ月）で習得できるように作られている²⁸。漢字ごとに筆順が示され，さらに語彙例が挙げられている。それらには，英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語・ベトナム語の訳が

付けられている。555 字は、主な初級用の教科書に提出されている漢字および、小学 3 年次までに習うべき漢字を基礎として、初級・初中級段階（日本語能力試験 N5・N4・N3）で必要と思われる基礎的な漢字を中心に選出されている。ワークシート学習に入る前には、「漢字の書き方」「部首」「漢字のなりたち」について、簡単な説明がされている。ワークシート学習が終わると、漢字問題がある。漢字を見て読み方を書く問題と、ひらがなを見て漢字を書く問題がある。調査対象者が在籍する日本語学校では、「みんなの日本語」同様、多国籍の学習者に対応するために、母語訳がある本書を使用している。テキストに示されていたように、1 日 6 個ずつ筆順、書き方指導を行い、翌日、語彙例を使って漢字の書き（5 題）読み（5 題）のテストを実施している。このテストは確認テストであり、結果は学期末の成績に反映されないことを学習者は知っている。3 課ごとに行っている主教材テストに合わせて、漢字テストも行っている。範囲はそれまでに学習した漢字で、毎日の確認テストからの出題である。この結果も学期末の成績には反映されないが、専任教員が指定した点数以下の場合、再テストを行っていた。再テストの点数設定は、毎回同じではなかった。尚、「1 日 15 分の漢字練習（上）」は、半期で 1 冊を終えている。初級終了後は、語彙指導に漢字指導が含まれるため、「1 日 15 分の漢字練習（下）」は学習しない。

3.2 調査結果

筆順調査の結果と、定期に行われている漢字テスト、主教材テストの点数を照らし合わせた。漢字テストの結果は、毎日行われている確認テストではなく、主教材テキストに合わせて行われているテストの結果である。漢字テストの平均点数²⁹の上位者から順に、単一クラスの学習者は A～F、混合クラスの学習者は G～J とした。筆順調査の「正答率」とは、漢字 18 字中、筆順が正しく書かれたものを数値として出したものである。対象者が書いた漢字の画数の増減、ハネの向きなどを見て、不自然な字形を取り出した数が「不自然な字形数」である。

3.2.1 単一クラス

単一クラスの学生の成績と筆順調査の結果を、表 3 に示す。

表 3 成績と筆順調査の照らし合わせ

	成績		筆順調査		
	漢字テスト (平均)	主教材テスト (平均)	正答率	不自然な字形数	
A	28.9	91.4	94.4 %	0	
B	23.4	86.5	5.6 %	9	口/飛/身/学/半/魚/回/理/男
C	22.8	79.8	66.7 %	0	
D	15.8	60.3	61.1 %	1	飛
E	15.0	64.3	38.9 %	2	何/飛
F	9.3	36.2	16.7 %	2	飛/回

表 3 は漢字テストの結果上位者から並べているが、主教材テストの結果の順とほぼ変わりはない。(対象者 D, E を除く) 総合的な日本語習得と漢字習得は別々で考えるのではなく、同じ程度だとしても良いだろう。筆順の正答率も、漢字テストの結果とおよそ比例していると言えよう。不自然な文字数も、一人を除いて漢字テストの結果との関連性を見ることができる。

単一クラスの結果から、以下 2 点について分かった。

- (1) 漢字テストの成績が良いと、筆順の正答率も高く、不自然な字形も少ない。
- (2) 漢字テストの成績が悪いと、筆順の正答率も低く、不自然な字形も多い。

筆順の正しい再生は、漢字習得にも大きく関連していると考えられる。しかし、特殊な結果も得られた。対象者 B は、成績は良いが筆順の正答率が最も低く、不自然な字形も多かった。対象者 B に限ると、筆順の正しい再生と漢字習得には関連がないという結果が出ている。

3.2.2 混合クラス

混合クラスの学生の成績と筆順調査の結果を、表 4 に示す。

表 4 成績と筆順調査の照らし合わせ（混合クラス）

	成績		筆順調査		
	漢字テスト (平均)	主教材テスト (平均)	正答率	不自然な字形数	
G	24.9	90.8	55.5%	2	口/飛
H	24.9	76.8	55.5%	2	飛/理
I	24.4	91.1	72.2%	0	
J	24.4	78.8	55.5%	2	手/回

混合クラスの対象者たちは、漢字テストの結果にほとんど差がなかった。筆順調査の正答率も、対象者 G, H, J は同率であった。対象者 I だけは正答率が高かった。不自然な字形もなかった。よって、ここでは筆順と漢字習得には関連は見られなかったが、筆順の正しい再生は、漢字の正しい表記へとつながるという結果が出ている。

3.3 考察

単一クラスの結果と混合クラスの結果を照らし合わせると、筆順と成績には規則性は見られなかった。それぞれ特徴があり、両クラスに共通する結果は得られなかった。筆順の正答率と漢字テストの成績の照らし合わせでも、単一クラスは正答率が高ければ成績も良いという結果が出たが、混合クラスは筆順の正答率および、漢字テストの成績が似通っていたことから、単一クラスの結果を後押しする結果が得られなかった。但し、筆順の正答率と字形の結果を取り出すと、図 11 のように関連性が見られた。正答率が高ければ不自然な字形数が少なかった。これは両クラスに共通して得られた結果である。

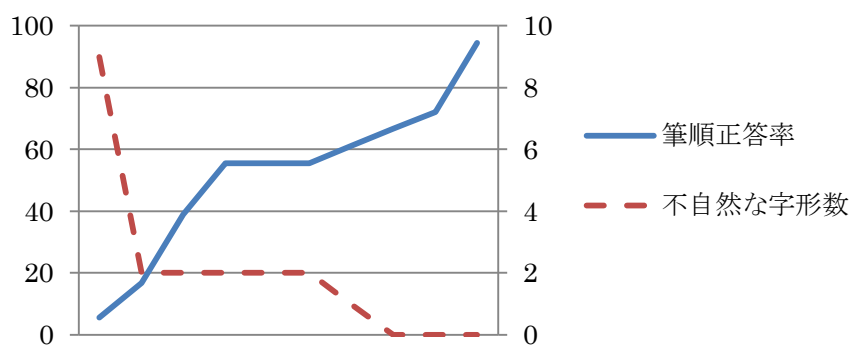


図 11 筆順正答率と不自然な字形数（単一クラス，混合クラス）

両クラスの最も大きな違いは、筆順の正答率の結果である。単一クラスに比べ、混合クラスの正答率は低かった。(対象者Ⅰを除く) 漢字テストと主教材テストの結果を見ると、元々混合クラスの学習者の方が点数が高いのだが、筆順調査では正答率が低い。筆順を正しく記憶し再生しなくとも、成績には影響しないことが結果として出た。不自然な字形も少ないことから、混合クラスの結果では、筆順指導の有効性が証明できなかった。

ここで仮説がどの程度実証されたのか確認してみる。4つの仮説は、以下の通りである。

【仮説 1】 漢字指導において筆順指導を行った場合、漢字の習得促進に役立つ。

【仮説 2】 正しい筆順は、きれいな字形の再生につながる。

【仮説 3】 漢字に対して好意的である学習者は漢字の習得レベルも高い。

【仮説 4】 混合クラスの方が、漢字の正しい字形の記憶率が高く、ピア・ラーニングなどの観点から非漢字系日本語学習者の漢字習得に効果的である。

筆順調査の結果から考察できるのは、仮説 1, 2, 4 である。まず、仮説 1 の筆順と漢字の習得との関係性は、今回の調査では対象者数も少なく、規則性が見られなかったことから実証されなかった。仮説 2 の正しい筆順ときれいな字形の再生の関係性は、例外もあるが全体的に有効的な結果が得られたことから実証された。仮説 4 のクラス分けと漢字の正しい字形の再生と習得との関係性は、クラス分けは正しい字形の再生に影響しないという結果が出た。また、クラス分けが漢字習得にも影響しないことが分かり、仮説は実証されなかった。以上から、実証されたのは仮説 2 のみであった。

3.4 まとめ

調査結果の特殊例として対象者 B が挙げられた。B の特徴をより詳しく知るために、前出の表 3, 表 4 の成績評価、筆順調査の結果をまとめ、それらを A—B—C 基準に当てはめた。表 5 は、漢字テスト、主教材テスト、筆順調査の結果を A—B—C 基準に当てはめたものである。A—B—C 基準とは、100 点満点の場合、100～80 点を A, 79～40 点を B, 39～0 点を C とし、30 点満点の場合、30～25 点を A, 24～10 点を B, 9～0 点を C とし、点数を簡潔化したものである。筆順調査の結果は、正答率 100% を 100 点とした。基準「A」の範囲は、それぞれのテストにおいて合格とされている基準である。ただし、この合格基準は再テストを行った基準とは別である。

表 5 成績と筆順調査の照らし合わせ

		成績 (平均)		筆順調査		A B C 基準
		漢字テスト	主教材テスト	正答率	字形数	
単一	A	28.9	91.4	94.4 %	0	A - A - A
	B	23.4	86.5	5.6 %	9	B - A - C
	C	22.8	79.8	66.7 %	0	B - B - B
	D	15.8	60.3	61.1 %	1	B - B - B
	E	15.0	64.3	38.9 %	2	B - B - C
	F	9.3	36.2	16.7 %	2	C - C - C
混合	G	24.9	90.8	55.5%	2	B - A - B
	H	24.9	76.8	55.5%	2	B - B - B
	I	24.4	91.1	72.2%	0	B - A - B
	J	24.4	78.8	55.5%	2	B - B - B

表 5 の A B C 基準を見ると、対象者 B の結果が特殊であることが分かる。通常、漢字テストと主教材テストの成績結果は、大体関連しあっていると考えても良いだろう。なぜなら、漢字指導は独自のテキストを使用しているが、主教材のレベルに即した指導が行われていたからである。よって、基準「A」と「B」、「B」と「C」が混じることはあるが、対象者 B のように「A」と「C」が混在するのは、特異であると言える。対象者 B は、テストの結果がどちらも良いのだが、筆順調査による正答率が全対象者の中で一番低く、また、不自然な字形数も一番多かった。正しい筆順を記憶せず、正しい字形の再生も行われていないのにテストの成績が良いというのは、他の対象者の結果と一致しない。同じ指導を受け、同じように学習しても、それぞれ習得の速度が違うのは当然のことだが、対象者 B だけ違う結果が出た。その原因はどこにあるのだろうか。おそらく、学習者がそれぞれ持っているビリーフが影響していると考えられる。B と他の対象者たちのビリーフの違い、また、漢字テスト、主教材テスト、筆順の正答率全てにおいて良い結果だった対象者とそうでない対象者の相違点を見るには、学習者のビリーフを知らなければならない。さらに、クラス分けが漢字学習や習得にどのように影響するのか、学習者のビリーフを知ることで明らかになるだろう。

以上から，筆順調査で出た結果を踏まえ，学習者たちのビリーフを知り，習得との関連性を調査する必要がある。

4 章 学習者のビリーフ調査と結果

4.1 アンケートの概要

4.1.1 調査の目的

筆順調査の結果と成績には、学習者の情意面も大きく影響していると考えられることから、漢字学習に関するビリーフ調査を行った。ビリーフは常に結果が一致するものではなく、学習環境や心理状況により変化するものである。板井(1997:64)は、Horwitz(1987a)が「学習者の beliefs は、認知スタイルや情意的な諸要因に比べて変化させることが容易である」と述べていることを受け、学習者のビリーフが可変的であるとすれば、日本語学習開始直後と開始後年数が経過している場合とでは学習者のビリーフに何らかの変化があるはずであると述べている。よって、調査は漢字学習前と学習後の計 2 回実施した。

この調査では、漢字学習前に持っていたビリーフが学習後にどのように変化したのか、また、その変化が漢字の正しい字形の再生率や成績とどのように関わるのか、さらに、成績上位者と下位者の持っているビリーフの差、クラス分けの影響を明らかにするために行った。

4.1.2 調査方法

漢字学習前と学習後の計 2 回、質問紙によるアンケート調査を行った。学習前後のビリーフを比較し変化を知るための調査であることから、アンケート用紙、項目は全く同じものを使用した。アンケートの対象者には「ビリーフの調査」であることは知らせず、「漢字学習に関するアンケート」であるとだけ伝えた。

4.1.3 実施日

アンケートは、初級テキスト授業内における漢字学習前に 1 回、終了後に 1 回、計 2 回行った。それぞれの実施年月日を、表 6 に示す。

表 6 アンケート実施年月日

	単一クラス	混合クラス
第 1 回	2013 年 11 月 5 日	2014 年 4 月 22 日
第 2 回	2014 年 5 月 7 日	2014 年 10 月 28 日

4.1.4 アンケート調査の内容

調査は、質問紙により実施した。ビリーフ調査と基本項目の2部からなる。ビリーフ調査は、Horwitz (1987) の BALLI を基に、ヴェントゥーラ (2007), Shimizu (1999), 高崎 (2006), 片桐 (2005), ブシマキナ (2013a, b) の研究から項目を選択し、さらに自分で加え作成した。回答は5段階評価方式を用い、「非常に思う」「少し思う」「どちらとも言えない」「あまり思わない」「全く思わない」とした。項目は全65項目であり、アンケートの説明、および質問項目はベトナム語母語話者にベトナム語に翻訳してもらったものを使用した³⁰。項目は以下の通り7領域に分類した。以下、表7～13の左端の番号は、その順に並べアンケート調査を行ったことを意味する。

- (1) 漢字学習の難易度に関するビリーフ (9項目)
- (2) 漢字学習適性に関するビリーフ (7項目)
- (3) 漢字学習の性質に関するビリーフ (15項目)
- (4) 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ (7項目)
- (5) 漢字の有効性に関するビリーフ (7項目)
- (6) 情意面に関するビリーフ (4項目)
- (7) 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ (16項目)

表7 漢字学習の難易度に関するビリーフ

54	漢字の習得は易しい。
1	漢字は簡単だ。
33	漢字の書きが難しい。
34	漢字の読みが難しい。
35	漢字の意味の理解が難しい。
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。
37	漢字の使い分けが難しい。

表8 漢字学習適性に関するビリーフ

21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。
----	----------------------

20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。
5	漢字は記憶力が必要だ。
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。
44	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。

表 9 漢字学習の性質に関するビリーフ

27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。
24	漢字学習は時間がかかる。
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。
58	漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い。
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。
48	すべての漢字が書ける必要はない。
49	すべての漢字が読める必要はない。
39	画数の多い漢字は覚えにくい。
31	漢字学習には筆順が必要である。
32	漢字に部首があることを知っている。

表 10 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ

14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから、漢字を勉強している。
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。
13	日本語のウェブ・ページが読めるようになりたいから、漢字を勉強したい。
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。
8	漢字の読み書きが上手になりたい。
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。

表 11 漢字の有効性に関するビリーフ

2	漢字を勉強することは大切だ。
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。

表 12 情意面に関するビリーフ

3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。

表 13 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ

26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。
55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。
23	漢字の教科書がないと学習ができない。
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。
22	漢字をきれいに書かなければならない。
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。
65	努力すれば、漢字学習に成功する。
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。

上記とは別に、基本項目として以下の項目もアンケートに加えている。

- (1) 年齢，名前，性別（男性，女性）
- (2) 先生と一緒に日本語を勉強してどのぐらいですか。
- (3) 日本語を勉強する前に，漢字を勉強したことがありますか。
- (4) 家族の中に，日本語を勉強したことがある人がいますか。
- (5) あなたは外国語を勉強したことがありますか。
- (6) 日本語のどの能力を上達させたいですか。（上達させたい順に番号：会話，聴解，発音，文字作文，漢字，読解，語彙）
- (7) ひらがなに○をつけてください。
- (8) カタカナに○をつけてください。
- (9) 漢字に○をつけてください。
- (10) 知っている漢字を書いてください。（5つ）
- (11) 【自由回答】漢字をどう思いますか。

(1) ～ (5) は，これまでの日本語学習歴，日本語との関わりを知るため，(6) は，学習者が日本語学習に対し，どのような点を意識しているのかを知るために設定した。(7) ～ (9) は，日本語内の文字の認識度を調べるための項目である。ひらがな，カタカナ，漢字の基本的な特徴を理解しているのかどうかを明らかにするため，この項目を加えた。(10) は，すぐに思い浮かぶ漢字を書かせた。(11) は，漢字に対する意識を知るために設定した。

4.1.5 対象者

筆順調査と同じ学習者を対象に実施した。(pp.23-25 参照)

4.2 調査結果

回答は，「1 非常に思う」「2 少し思う」「3 どちらとも言えない」「4 あまり思わない」「5 全く思わない」の中で，最も同意できる程度を選択させた。回答データの分析は，1 ～ 5 の順序を反転させ，「非常に思う」は「5」，「全く思わない」は「1」として行った。数値が大きければ賛成の度合いが高く，数値が低ければ度合いが低いことを意味する。

まず，各クラスの結果からまとめた。単一クラス，混合クラスの結果は次の通りである³¹。

4.2.1 単一クラスのビリーフ調査の結果

調査の結果について、ビリーフのカテゴリーごとに単一クラスの漢字指導前の結果と指導後の結果を比較した。個人数値ではなく、クラス全体の数値を比較した。

(1) 漢字学習の難易度に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 14 に示す。

表 14 「漢字学習の難易度に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)		
		学習前	学習後	増減
54	漢字の習得は易しい。	2.17 (0.90)	2.83 (1.07)	+0.66
1	漢字は簡単だ。	1.67 (0.75)	1.50 (0.50)	-0.12
33	漢字の書きが難しい。	3.17 (1.21)	3.33 (1.37)	+0.16
34	漢字の読みが難しい。	3.50 (0.76)	2.83 (1.07)	-0.67
35	漢字の意味の理解が難しい。	3.00 (0.82)	2.17 (0.90)	-0.83
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。	4.50 (0.76)	3.00 (1.29)	-1.50
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	3.83 (0.90)	4.33 (0.75)	+0.50
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	2.50 (1.38)	2.83 (1.21)	+0.33
37	漢字の使い分けが難しい。	4.17 (0.69)	3.83 (1.21)	-0.34

このカテゴリーの項目で差が認められたのは、36「漢字の読みより書きのほうが難しい」(学習前 4.50, 学習後 3.00)である。学習前は、読むことよりも書くことの方が難しいだろうと考えていたが、学習後にはそうでもない意識が変化している。しかしながら、33「漢字の書きが難しい」(学習前 3.17, 学習後 3.33)は数値が上がっており、さらに、34「漢字の読みが難しい」(学習前 3.50, 学習後 2.83)は減っている。38「漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい」(学習前 3.83, 学習後 4.33)の数値が増加していることから、とにかく書きも読みも両方難しいと感じていることが分かった。54「漢字の習得は易しい」(学習前 2.17, 学習後 2.83)の数値が上がっているのは、想像より漢字は難しくなかったということであろう。

(2) 漢字学習適性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 15 に示す。

表 15 「漢字学習適性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	2.67 (1.37)	2.17 (1.34)	-0.50
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	2.83 (1.34)	1.83 (1.07)	-1.00
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	3.67 (1.60)	4.33 (0.75)	+0.66
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	2.50 (1.12)	1.50 (0.50)	-1.00
5	漢字は記憶力が必要だ。	4.33 (1.11)	4.17 (1.07)	-0.16
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	1.33 (0.75)	1.83 (0.69)	+0.50
44	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	2.67 (1.25)	2.50 (0.50)	-0.12

このカテゴリーの項目で注目すべき点は、51「漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい」（学習前 3.67, 学習後 4.33）の数値が学習後の方が上がり、反対に 18「私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ」（学習前 2.50, 学習後 1.50）の数値が下がっていることである。自分が非漢字系であり漢字系の学習者とは違っていると認識し、また、自分の母国であるベトナム出身の学習者は漢字習得に手こずっていることを自他共に感じていることが分かった。単一クラスは、クラス内に漢字系日本語学習者はいないのだが、学習者同士、授業以外での交流がある。インターネット上での SNS を使った文字表記による交流、携帯電話のインスタントメッセージによる交流が盛んに行われている。上記のような結果が出たのは、授業活動以外でも漢字系日本語学習者と自分を比べる場面があるということである。そして、その際に漢字系日本語学習者の方が非漢字系日本語学習者である自分よりも漢字習得がしやすいと感じたことが分かる。

(3) 漢字学習の性質に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 16 に示す。

表 16 「漢字学習の性質に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4.00 (0.58)	4.50 (0.50)	+0.50
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	2.33 (1.11)	2.50 (1.61)	+0.17
24	漢字学習は時間がかかる。	2.50 (1.50)	2.83 (1.57)	+0.33
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	4.00 (0.82)	4.50 (0.76)	+0.50
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。	1.83 (0.69)	1.50 (0.76)	-0.33
58	漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い。	2.17 (1.07)	1.83 (1.07)	-0.34
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	4.67 (0.47)	4.67 (0.47)	0
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4.33 (0.75)	4.00 (0.82)	-0.33
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	4.67 (0.47)	4.50 (0.76)	-0.12
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4.17 (0.69)	4.00 (0.82)	-0.17
48	すべての漢字が書ける必要はない。	2.33 (1.37)	2.00 (1.00)	-0.33
49	すべての漢字が読める必要はない。	2.33 (1.11)	2.50 (1.12)	+0.17
39	画数の多い漢字は覚えにくい。	3.83 (0.90)	3.67 (0.94)	-0.16
31	漢字学習には筆順が必要である。	3.83 (1.07)	4.83 (0.37)	+1.00
32	漢字に部首があることを知っている。	3.83 (1.07)	4.67 (0.47)	+0.84

このカテゴリーで有益な結果が得られたのは、31「漢字学習には筆順が必要である」である。この項目は、平均値が増加しているのは当然注目すべき点ではあるが、標準偏差の結果の方が重要である。学習前は 1.07 でクラス内の学習者の意見が様々であったのが、学習後は 0.37 と、回答数値の幅が狭くなっている。詳細に言うと、6 名中 5 名が「5 非常に思う」と回答し、1 名が「少し思う」と回答した。全員の回答数値が上がっていることから、ほぼ学習者全員が漢字学習には筆順が必要であると認識したと言える。

また、32「漢字に部首があることを知っている」では、標準偏差 1.07 から 0.47 に上がり、平均値も増加していることから、半年の漢字指導で学習者への漢字基礎知識の指導も成功していると言える。

(4) 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 17 に示す。

表 17 「漢字学習の動機と期待に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4.17 (1.07)	3.67 (1.25)	-0.50
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	4.50 (1.12)	4.17 (0.90)	-0.33
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4.00 (1.15)	4.50 (0.50)	+0.50
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	3.67 (1.49)	4.50 (0.50)	+0.83
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4.83 (0.37)	4.00 (1.15)	-0.83
8	漢字の読み書きが上手になりたい。	4.83 (0.37)	5.00 (0.00)	+0.17
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4.83 (0.37)	4.50 (0.50)	-0.33

学習者の大半が日本での進学を目指して来日しているのだが、このカテゴリーの結果では、学習前より学習後のビリーフが下がっている。14「日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している」（学習前 4.17，学習後 3.67），16「日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する」（学習前 4.50，学習後 4.17），15「専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい」（学習前 4.83，学習後 4.00），12「日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している」（学習前 4.83，学習後 4.50）は、学習後の数値が下がっており、日本で半年生活しながら学習する中で、学習者自身が自分には何が必要で何が不必要なのかを判断し、目的に合わせた学習項目、または方法を設定しているのではないかと考えられる。

13「日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい」と 52「漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある」は、アルバイトが関係していると思われる。学習者たちは、アルバイトの求人情報を、紙面だけではなくオンライン上でも探している。

日本語のウェブ上の文章が読めなければ、募集情報が見つけれず、手続きもできない。よって、ウェブページが読めなければ良い仕事へのチャンスも得られないと考えているのではないかと思われる。

(5) 漢字の有効性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 18 に示す。

表 18 「漢字の有効性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
2	漢字を勉強することは大切だ。	4.80 (0.40)	5.00 (0.00)	+0.20
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	4.83 (0.37)	4.67 (0.47)	-0.16
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	4.67 (0.75)	4.83 (0.37)	+0.16
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。	2.33 (1.11)	2.83 (1.07)	+0.50
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。	3.67 (0.75)	3.67 (1.11)	0
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	4.50 (0.76)	4.17 (0.69)	-0.33
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	2.17 (1.07)	1.67 (0.75)	-0.50

2「漢字を勉強することは大切だ」の項目では、学習前から 4.80 と数値が高かったが、学習後は全員が「5 非常に思う」を選択した。17「日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない」（学習前 4.67, 学習後 4.83）も数値が上がっていることから、日本語習得には漢字学習も必要であることを学習者自身が認識していることが分かる。しかし、10「漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる」（学習前 4.83, 学習後 4.67）の数値は下がっている。日本語学習には漢字は必須だが、生活する上では漢字の必要性を感じていない。学習者たちが日常生活の中で、漢字力が原因で困った経験がないからだろう。一方で、53「漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される」（学習前 2.33, 学習後 2.83）の数値は上がっている。アルバイト先の工場には日本人もいるの

だが、ベトナム人だけが集められて仕事をしているようである。たとえ漢字の読み書きが仕事内容に関係なくとも、漢字が分かったほうが職場の同僚からの評価や、他人からの見られ方も変わることを意識していることが分かる。しかしながら、9「漢字の読み書きができるといい仕事に就ける」(学習前 4.50, 学習後 4.17)の数値は下がっていることから、漢字と仕事には関係性はないとも考えていることが分かる。

(6) 情意面に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 19 に示す。

表 19 「情意面に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)		
		学習前	学習後	増減
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	4.00 (1.15)	4.17 (1.46)	+0.17
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	4.33 (0.75)	4.33 (1.11)	0
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	2.17 (1.67)	2.17 (0.90)	0
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	1.83 (1.46)	2.00 (1.00)	+0.17

3「漢字の読み方を勉強するのが楽しい」の数値は、学習前 (4.00)、学習後 (4.17) 共に高いことから、漢字に対する抵抗はほぼ無いと言える。43「漢字の書き方を勉強するのが好きではない」の数値が若干上がってはいるが、1.83 から 2.00 への上昇なので、嫌悪感を抱いているとは言い難い。全体的に、漢字学習を楽しんでいるようである。

(7) 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 20 に示す。

表 20 「自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)		
		学習前	学習後	増減
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	4.67 (0.47)	5.00 (0.00)	+0.33

55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	4.33 (0.75)	4.50 (0.76)	+0.17
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3.17 (1.21)	3.17 (1.07)	0
23	漢字の教科書がないと学習ができない。	2.67 (1.25)	2.50 (0.96)	-0.17
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	3.17 (1.34)	2.83 (1.34)	-0.34
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	3.00 (1.00)	2.83 (1.34)	-0.17
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。	3.83 (0.90)	3.83 (0.69)	0
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	1.67 (0.47)	2.50 (1.26)	+0.83
22	漢字をきれいに書かなければならない。	3.67 (0.75)	3.17 (0.90)	-0.50
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4.33 (0.47)	4.33 (0.75)	0
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	3.17 (1.67)	2.67 (1.49)	-0.50
65	努力すれば、漢字学習に成功する。	4.50 (1.12)	5.00 (0.00)	+0.50
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	3.67 (1.25)	4.17 (0.69)	+0.50
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	4.83 (0.37)	4.17 (1.07)	-0.66
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	2.83 (1.34)	3.00 (1.41)	+0.17
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。	4.83 (0.37)	4.17 (1.46)	-0.66

26「授業以外でも漢字の自習が必要だ」、65「努力すれば、漢字学習に成功する」は、学習後は全員が「5 非常に思う」を選択した。漢字習得への積極的な意識が見られる。60「最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている」は変化がなく、55「自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である」は数値が増加していた。これは、漢字学習を学習者の自習に頼る点が大きかったことが原因であると考えられる。授業内に漢字指導を組み込んでいたものの、時間が足りない時は、学習者個人の自習に任せていた。よって、学習者が教師に期待感を抱けなかったのだと予測される。62「たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う」の数値に変化がなかったことにも影響していると考えられる。しかしながら、61「漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある」（学習前 1.67, 学習後 2.50）では、数値は低いながらも増加している。

56「学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い」（学習前 3.17, 学習後 2.83）は数

値が下がっており、ピア・ラーニングが有効ではないという結果が出た。

22「漢字をきれいに書かなければならない」(学習前 3.67, 学習後 3.17) は数値が下がっている。これには、漢字の評価が影響していると考えられる。テストの採点結果を見て、きれいに書かなくても、多少の不自然さがあっても正解と評価されることに学習者が気づいたことが原因であろう。

40「漢字の書き順に注意を払わなければならない」(4.33) は、変化がなかった。

4.2.2 混合クラスのビリーフ調査の結果

調査の結果について、ビリーフのカテゴリーごとに混合クラスの漢字指導前の結果と指導後の結果を比較した。個人数値ではなく、クラス全体の数値を比較した。

(1) 漢字学習の難易度に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 21 に示す。

表 21 「漢字学習の難易度に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)		
		学習前	学習後	増減
54	漢字の習得は易しい。	3.00 (0.00)	3.50 (0.87)	+0.50
1	漢字は簡単だ。	1.75 (0.83)	1.75 (0.43)	0
33	漢字の書きが難しい。	4.50 (0.50)	2.50 (1.50)	-2.00
34	漢字の読みが難しい。	4.25 (0.83)	4.50 (0.50)	+0.25
35	漢字の意味の理解が難しい。	3.25 (0.83)	2.25 (0.43)	-1.00
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。	3.25 (0.83)	2.50 (0.50)	-0.75
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	3.75 (1.09)	3.25 (0.43)	-0.50
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	2.00 (0.00)	4.00 (0.82)	+2.00
37	漢字の使い分けが難しい。	3.25 (0.83)	3.25 (0.43)	0

1「漢字は簡単だ」(学習前後 1.75)とは思っていないが、54「漢字の習得は易しい」(学習前 3.00, 学習後 3.50)の項目は数値が上がっている。38「漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい」(学習前 3.75, 学習後 3.25)は学習後の数値が下がっている

ので、漢字がそれほど難しいものではないと考えていることが分かった。また、漢字の書き、読み、意味の理解の中では、一番「読み」を難しいと思っていることが分かった。34「漢字の読みが難しい」(学習前 4.25, 学習後 4.50) の数値が上がり、33「漢字の書きが難しい」(学習前 4.50, 学習後 2.50) 35「漢字の意味の理解が難しい」(学習前 3.25, 学習後 2.25) は下がっている。特に、33「漢字の書きが難しい」は数値が大きく減少している。漢字の書きについて厳しく指導していないことが、ここに影響している。

45「漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている」は、学習前 2.00 から学習後 4.00 に大幅に増加している。学習が進むにつれ中国人学習者たちは文章を理解する際、漢字に頼っている点が見られたことから、非漢字系学習者たちもその姿を見て、このような結果が出たのだと考えられる。

(2) 漢字学習適性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 22 に示す。

表 22 「漢字学習適性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)		
		学習前	学習後	増減
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	2.75 (0.43)	2.00 (0.71)	-0.75
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	2.75 (0.43)	1.75 (0.83)	-1.00
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	4.50 (0.87)	4.00 (1.00)	-0.50
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	3.00 (0.71)	2.00 (0.71)	-1.00
5	漢字は記憶力が必要だ。	4.00 (1.22)	4.00 (1.22)	0
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	2.50 (0.50)	2.00 (0.71)	-0.50
44	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	2.75 (0.43)	3.00 (0.00)	+0.25

51「漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい」(学習前 4.50, 学習後 4.00) は、数値が下がっている。多くの場合、漢字系の人のほうが習得しやすいと考えるはずである。しかし、ここでは違う結果が出た。これには、ある中国人学習者が影響していると考えられる。この学習者は漢字系だが漢字が苦手で、2 つある初級クラスのうち、調査対象者たちより下のレベルのクラスで学んでいる。よって、対象者たちは、漢字系であるか

ら漢字力があるとは限らないことを、この学習者を見て感じたのだろう。しかしながら、18「私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ」（学習前 3.00，学習後 2.00）の数値は下がっていることから、漢字系学習者と自身の習得の得手不得手は関係ないと分かっているようである。

(3) 漢字学習の性質に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 23 に示す。

表 23 「漢字学習の性質に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	3.00 (1.58)	4.75 (0.43)	+1.75
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	3.50 (1.12)	3.75 (0.43)	+0.25
24	漢字学習は時間がかかる。	2.75 (1.30)	2.25 (1.64)	-0.50
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	5.00 (0.00)	4.50 (0.50)	-0.50
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。	3.25 (1.09)	2.25 (0.83)	-1.00
58	漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い。	3.50 (1.12)	4.00 (0.71)	+0.50
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	4.75 (0.43)	5.00 (0.00)	+0.25
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4.50 (0.50)	4.25 (0.83)	-0.25
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	4.75 (0.43)	4.75 (0.43)	0
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4.00 (1.41)	4.75 (0.43)	+0.75
48	すべての漢字が書ける必要はない。	1.75 (0.43)	2.25 (0.43)	+0.50
49	すべての漢字が読める必要はない。	1.75 (0.43)	2.25 (0.43)	+0.50
39	画数の多い漢字は覚えにくい。	3.50 (1.50)	4.00 (1.00)	+0.50
31	漢字学習には筆順が必要である。	5.00 (0.00)	4.75 (0.43)	-0.25
32	漢字に部首があることを知っている。	4.50 (0.87)	5.00 (0.00)	+0.50

このカテゴリーでも、書くことよりも読むことの方が大切であると結果が出た。27「漢

字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである」(学習前 3.00, 学習後 4.75)
 48「全ての漢字が書ける必要はない」(学習前 1.75, 学習後 2.25) 49「すべての漢字が読める必要はない」(学習前 1.75, 学習後 2.25) は共に増加していた。授業内で漢字を使うことを強制しなかったことや、定期テストの評価が影響していると考えられる。

25「漢字には反復練習が欠かせない」(学習前 4.75, 学習後 5.00) ことが分かっているのに、7「努力すれば、誰でも漢字が得意になれる」(学習前 4.50, 学習後 4.25) の数値は若干減少し、さらに、24「漢字学習には時間がかかる」(学習前 2.75, 学習後 2.25) と思わなくなっている。63「漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい」(学習前 5.00, 学習後 4.50) の数値も下がり、59「教師がいないと、漢字の学習はできない」(学習前 3.25, 学習後 2.25) も下がっているのに、58「漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い」(学習前 3.50, 学習後 4.00) の数値は上がっており、矛盾している。授業に否定的な意見であることから、漢字授業に対し、なんらかのフラストレーションがたまっているのではないかと考えられる。

ここで注視したいのは、31「漢字学習には筆順が必要である」という項目である。学習前は全員が「5 非常に思う」を選択していたのに、学習後には 4.75 に減少している。筆順指導を受けた後に、筆順の重要度が低くなっている学習者がいた。これは、漢字の書く過程ではなく、結果重視である評価基準が影響していると考えられる。

(4) 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 24 に示す。

表 24 「漢字学習の動機と期待に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)		
		学習前	学習後	増減
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4.75 (0.43)	5.00 (0.00)	+0.25
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)	0
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4.50 (0.50)	4.50 (0.50)	0

52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	4.00 (1.22)	4.25 (0.43)	+0.25
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)	0
8	漢字の読み書きが上手になりたい。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)	0
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4.50 (0.50)	4.50 (0.50)	0

このカテゴリーで変化があったのは、14「日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している」（学習前 4.75, 学習後 5.00）と、52「漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある」（学習前 4.00, 学習後 4.25）であった。どちらも、数値が上がっている。漢字学習の目的が、学習前より明確になっている。

このカテゴリーの項目は、全体的に数値が高かったことから、漢字学習への期待感が見られた。

(5) 漢字の有効性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 25 に示す。

表 25 「漢字の有効性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
2	漢字を勉強することは大切だ。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)	0
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	5.00 (0.00)	4.50 (0.50)	-0.50
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)	0
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。	3.00 (0.82)	3.25 (1.09)	+0.25
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。	3.75 (0.83)	3.75 (0.83)	0
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	5.00 (0.00)	4.00 (1.22)	-1.00
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	1.33 (0.47)	1.25 (0.43)	-0.08

学習前後変わらず，漢字学習の必要性は感じていた。しかし，10「漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる」では，学習前は全員が「5 非常に思う」を選択していたにも関わらず，学習後は 4.50 に数値が減少している。日常生活では漢字に困る場面がなかったことが原因だろう。

9「漢字の読み書きができるといい仕事に就ける」も，学習前は全員が「5 非常に思う」を選択していたが，学習後は 4.00 に減少している。この結果にはアルバイトが関わっていると考えられる。

(6) 情意面に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて，平均値，標準偏差を表 26 に示す。

表 26 「情意面に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	4.00 (0.71)	4.50 (0.50)	+0.50
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	4.00 (0.71)	4.75 (0.43)	+0.75
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	1.75 (0.43)	1.75 (0.43)	0
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	1.75 (0.43)	1.75 (0.43)	0

3「漢字の読み方を勉強するのが楽しい」（学習前 4.00，学習後 4.50），4「漢字の書き方を勉強するのが楽しい」（学習前 4.00，学習後 4.75）の数値は学習前もすでに高かったが，学習後さらに上昇していることから，漢字学習に好意的であることが分かる。42「漢字の読み方を勉強するのが好きではない」43「漢字の書き方を勉強するのが好きではない」は，学習前後に意識の変化は無かった。

(7) 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて，平均値，標準偏差を表 27 に示す。

表 27 「自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）		
		学習前	学習後	増減
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)	0
55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	4.00 (0.00)	4.25 (0.43)	+0.25
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3.50 (1.12)	4.00 (0.71)	+0.50
23	漢字の教科書がないと学習ができない。	4.25 (0.83)	4.00 (0.71)	-0.25
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	2.33 (0.47)	3.75 (1.09)	+1.42
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	4.25 (0.83)	4.25 (0.43)	0
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。	4.50 (0.50)	4.25 (0.43)	-0.25
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	1.75 (0.43)	2.75 (1.30)	+1.00
22	漢字をきれいに書かなければならない。	3.75 (1.09)	3.25 (0.83)	-0.50
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4.25 (1.30)	4.25 (0.83)	0
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	2.00 (0.71)	2.75 (0.43)	+0.75
65	努力すれば、漢字学習に成功する。	5.00 (0.00)	4.50 (0.50)	-0.50
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	3.75 (1.09)	3.25 (0.83)	-0.50
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	4.75 (0.43)	4.50 (0.50)	-0.25
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	2.75 (1.09)	2.50 (0.50)	-0.25
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。	4.50 (0.50)	4.75 (0.43)	+0.25

26「授業以外でも漢字の自習が必要だ」は、学習前後共、全員が「5 非常に思う」を選択している。漢字学習へのやる気が見られるのだが、一方で 65「努力すれば、漢字学習に成功する」の数値が下がっている。（学習前 5.00，学習後 4.50）学習前は全員一致で「5 非常に思う」を選択していた。自分なりに努力したつもりなのに、結果に反映されなかったのではないかと考えられる。

55「自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である」（学習前 4.00，学習後 4.25）の数値は上がっているが、60「最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている」（学習前 3.50，学習後 4.00）の数値も上がっている。自分のペースで学習したいと思いな

がらも、教師にも頼りたいという意識が見られる。しかし、62「たとえ自分のやり方とは違っても教員のアドバイスに従う」（学習前 4.50, 学習後 4.25）の数値は下がっていることから、教師に頼りたいと考えていても漢字学習の主導権は自分が握りたがっていることが分かる。56「学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い」（学習前 2.33, 学習後 3.75）は数値が上がっていた。ピアがあったということである。クラス内で教え合い学び合うことに利点を見つけたのだろう。

40「漢字の書き順に注意を払わなければならない」は数値同じであったが、標準偏差が 1.30 から 0.83 へ変化している。クラス全体の書き順への意識が少し高まったと言える。22「漢字をきれいに書かなければならない」（学習前 3.75, 学習後 3.25）は下がっている。定期テストの評価基準が影響していると考えられる。

4.2.3 単一クラスと混合クラスの漢字学習前のビリーフの比較

(1) 漢字学習の難易度に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 28 に示す。

表 28 「漢字学習の難易度に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
54	漢字の習得は易しい。	2.17 (0.90)	3.00 (0.00)
1	漢字は簡単だ。	1.67 (0.75)	1.75 (0.83)
33	漢字の書きが難しい。	3.17 (1.21)	4.50 (0.50)
34	漢字の読みが難しい。	3.50 (0.76)	4.25 (0.83)
35	漢字の意味の理解が難しい。	3.00 (0.82)	3.25 (0.83)
36	漢字の読みより書きのほうに難しい。	4.50 (0.76)	3.25 (0.83)
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	3.83 (0.90)	3.75 (1.09)
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	2.50 (1.38)	2.00 (0.00)
37	漢字の使い分けが難しい。	4.17 (0.69)	3.25 (0.83)

単一クラスの学習者より混合クラスの学習者のほうが 54「漢字の習得は易しい」（単一 2.17, 混合 3.00）、1「漢字は簡単だ」（単一 1.67, 混合 1.75）、33「漢字の書きが難しい」

(単一 3.17, 混合 4.50), 34「漢字の読みが難しい」(単一 3.50, 混合 4.25), 35「漢字の意味の理解が難しい」(単一 3.00, 混合 3.25)の項目において、平均値が高い。これは、漢字を「易しい」と感じると同時に「難しい」と感じているということである。混合クラスの学習者は、漢字系学習者の影響により単一クラスの学習者よりは漢字に親しみを持っているが、漢字系学習者と自分を比べ、やはり漢字は難しいものだと感じていることが原因だと考えられる。

36「漢字の読みより書きのほうに難しい」(単一 4.50, 混合 3.25)では、単一クラスの学習者のほうが平均値が高い。混合クラスには漢字系学習者がおり、漢字を「書く」という動作を頻繁に目にする機会があることから、同じクラスに漢字系学習者がいない単一クラス学習者のほうが平均値が高いと考えられる。

37「漢字の使い分けが難しい」(単一 4.17, 混合 2.00)の平均値は、単一クラスは 4.17で、混合クラスは 3.25であったことから、漢字に対して単一クラスの学習者に抵抗感があることがわかった。

一方、45「漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている」(単一 2.50, 混合 2.00)では、両者ともそれほど平均値が高くないことから、日本語学習と漢字学習には関連は無いと考えられていることが予測される。

(2) 漢字学習適性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 29 に示す。

表 29 「漢字学習適性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)	
		単一クラス	混合クラス
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	2.67 (1.37)	2.75 (0.43)
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	2.83 (1.34)	2.75 (0.43)
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	3.67 (1.60)	4.50 (0.87)
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	2.50 (1.12)	3.00 (0.71)
5	漢字は記憶力が必要だ。	4.33 (1.11)	4.00 (1.22)
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	1.33 (0.75)	2.50 (0.50)
44	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	2.67 (1.25)	2.75 (0.43)

差が見られたのは、51「漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい」（単一 3.67, 混合 4.50）である。混合クラスの学習者は、同じクラスの漢字系学習者と自分を比較することが原因で出た差だと考えられる。単一クラスの結果も 3.67 と、決して低くはないが、単一クラスの学習者は身近に自分と比べる相手はいないが、自分たちより漢字系学習者のほうが、漢字が得意であろうという潜在意識があることが考えられる。

19「会話が得意な人は漢字も得意だ」（単一 1.33, 混合 2.50）の項目でも、差が見られた。混合クラスには、会話がよくできる中国人学習者 2 名がいることが影響しているのではないかと考えられる。

(3) 漢字学習の性質に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 30 に示す。

表 30 「漢字学習の性質に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4.00 (0.58)	3.00 (1.58)
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	2.33 (1.11)	3.50 (1.12)
24	漢字学習は時間がかかる。	2.50 (1.50)	2.75 (1.30)
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	4.00 (0.82)	5.00 (0.00)
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。	1.83 (0.69)	3.25 (1.09)
58	漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い。	2.17 (1.07)	3.50 (1.12)
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	4.67 (0.47)	4.75 (0.43)
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4.33 (0.75)	4.50 (0.50)
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	4.67 (0.47)	4.75 (0.43)
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4.17 (0.69)	4.00 (1.41)
48	すべての漢字が書ける必要はない。	2.33 (1.37)	1.75 (0.43)
49	すべての漢字が読める必要はない。	2.33 (1.11)	1.75 (0.43)
39	画数の多い漢字は覚えにくい。	3.83 (0.90)	3.50 (1.50)

31	漢字学習には筆順が必要である。	3.83 (1.07)	5.00 (0.00)
32	漢字に部首があることを知っている。	3.83 (1.07)	4.50 (0.87)

31「漢字学習には筆順が必要である」（単一 3.83, 混合 5.00）では、混合クラスのほうが、平均値が高かった。混合クラスでは、教師以外にも漢字系学習者が漢字を書く姿を目にすることから、漢字に規則性があることを自然に認識したのではないかと考えられる。

59「教師がいないと、漢字の学習はできない」（単一 1.83, 混合 3.25）は、両クラス共、平均値は高くなかった。漢字学習は他科目よりも個人の努力が必要不可欠であり、学習者自身も教師に頼るより、自身の努力が大きく関わることを認識していることがわかる。

48「すべての漢字が書ける必要はない」（単一 2.33, 混合 1.75）、49「すべての漢字が読める必要はない」（単一 2.33, 混合 1.75）では、両クラス共、平均値が低かった。

(4) 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 31 に示す。

表 31 「漢字学習の動機と期待に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4.17 (1.07)	4.75 (0.43)
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	4.50 (1.12)	5.00 (0.00)
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4.00 (1.15)	4.50 (0.50)
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	3.67 (1.49)	4.00 (1.22)
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4.83 (0.37)	5.00 (0.00)
8	漢字の読み書きが上手になりたい。	4.83 (0.37)	5.00 (0.00)
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4.83 (0.37)	4.50 (0.50)

この結果は、全ての平均値が高かった。単一クラス、混合クラス共、漢字習得に意欲的であることがわかった。52「漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある」（単一 3.67, 混合 4.00）では単一クラスの平均値が他より少し低かった。現在の目標が、就職ではなく進学であることが影響していると考えられる。

(5) 漢字の有効性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 32 に示す。

表 32 「漢字の有効性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
2	漢字を勉強することは大切だ。	4.80 (0.40)	4.75 (0.43)
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	4.83 (0.37)	5.00 (0.00)
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	4.67 (0.75)	5.00 (0.00)
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。	2.33 (1.11)	3.00 (0.82)
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。	3.67 (0.75)	3.75 (0.83)
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	4.50 (0.76)	5.00 (0.00)
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	2.17 (1.07)	1.33 (0.47)

このカテゴリーでは、全体的に平均値が高かったことから、両クラス共、漢字学習の必要性を感じていることがわかった。また、進学のためだけに学習するのではなく、日本生活に適応するには漢字が必要だと感じていることもわかった。

41「現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない」（単一 2.17, 混合 1.33）の平均値は両クラス低かった。これは、パソコンを使用するに当たっても、漢字学習は必要だと意識しているということが予測される。

(6) 情意面に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 33 に示す。

表 33 「情意面に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	4.00 (1.15)	4.00 (0.71)
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	4.33 (0.75)	4.00 (0.71)
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	2.17 (1.67)	1.75 (0.43)
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	1.83 (1.46)	1.75 (0.43)

3「漢字の読み方を勉強するのが楽しい」（単一 4.00，混合 4.00），4「漢字の書き方を勉強するのが楽しい」（単一 4.33，混合 4.00）では，両クラス平均値が高かった。これから始まる漢字学習への期待感が読み取れる。42「漢字の読み方を勉強するのが好きではない」（単一 2.17，混合 1.75）と 43「漢字の書き方を勉強するのが好きではない」（単一 1.83，混合 1.75）は，回答の信頼性を見るために設けた。回答に統一性が見られることから，この回答は信頼性が高いと言える。

(7) 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 34 に示す。

表 34 「自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	4.67 (0.47)	5.00 (0.00)
55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	4.33 (0.75)	4.00 (0.00)
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3.17 (1.21)	3.50 (1.12)
23	漢字の教科書がないと学習ができない。	2.67 (1.25)	4.25 (0.83)
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	3.17 (1.34)	2.33 (0.47)

64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	3.00 (1.00)	4.25 (0.83)
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。	3.83 (0.90)	4.50 (0.50)
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	1.67 (0.47)	1.75 (0.43)
22	漢字をきれいに書かなければならない。	3.67 (0.75)	3.75 (1.09)
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4.33 (0.47)	4.25 (1.30)
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	3.17 (1.67)	2.00 (0.71)
65	努力すれば、漢字学習に成功する。	4.50 (1.12)	5.00 (0.00)
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	3.67 (1.25)	3.75 (1.09)
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	4.83 (0.37)	4.75 (0.43)
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	2.83 (1.34)	2.75 (1.09)
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。	4.83 (0.37)	4.50 (0.50)

23「漢字の教科書がないと学習ができない」（単一 2.67, 混合 4.25）で、大きな差が見られた。混合クラスでは、漢字の自然習得は難しく、学習をサポートする教科書の必要性を感じていることがわかる。また、56「学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い」（単一 3.17, 混合 2.33）では、混合クラスの平均値のほうが単一クラスの平均値より低かった。まわりに漢字系学習者がいるが、ピア・ラーニングの必要性を感じていない。これらは、55「自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である」（単一 4.33, 混合 4.00）の結果からも読み取ることができる。両クラス共、平均値が高かったことから、漢字学習はまわりの学習者は関係なく、協働学習ではなく個人学習であると認識していることがわかった。

4.2.4 単一クラスと混合クラスの漢字学習後のビリーフの比較

(1) 漢字学習の難易度に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 35 に示す。

表 35 「漢字学習の難易度に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
54	漢字の習得は易しい。	2.83 (1.07)	3.50 (0.87)
1	漢字は簡単だ。	1.50 (0.50)	1.75 (0.43)
33	漢字の書きが難しい。	3.33 (1.37)	2.50 (1.50)
34	漢字の読みが難しい。	2.83 (1.07)	4.50 (0.50)
35	漢字の意味の理解が難しい。	2.17 (0.90)	2.25 (0.43)
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。	3.00 (1.29)	2.50 (0.50)
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	4.33 (0.75)	3.25 (0.43)
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	2.83 (1.21)	4.00 (0.82)
37	漢字の使い分けが難しい。	3.83 (1.21)	3.25 (0.43)

単一クラスのほうが、漢字を難しいと感じていることが分かった。混合クラスは、45「漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている」（単一 2.83, 混合 4.00）と強く意識し、特に 34「漢字の読みが難しい」（単一 2.83, 混合 4.50）と感じているが、54「漢字の習得は易しい」（単一 2.83, 混合 3.50）という意識もあることが分かった。この結果により、単一クラスの学習者たちよりも、混合クラスの学習者たちのほうが、漢字学習にしっかりと向き合っているようである。

(2) 漢字学習適性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 36 に示す。

表 36 「漢字学習適性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	2.17 (1.34)	2.00 (0.71)
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	1.83 (1.07)	1.75 (0.83)
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	4.33 (0.75)	4.00 (1.00)
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	1.50 (0.50)	2.00 (0.71)

5	漢字は記憶力が必要だ。	4.17 (1.07)	4.00 (1.22)
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	1.83 (0.69)	2.00 (0.71)
44	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	2.50 (0.50)	3.00 (0.00)

このカテゴリーでは、両クラスにそれほど差が見られなかった。51「漢字は、非漢字系より漢字系の人の方が習得しやすい」(単一 4.33, 混合 4.00) は、単一クラスの方が、数値が高く出た。これは、混合クラスの学習者は、毎日漢字系学習者と一緒に学習する中で、漢字系学習者たちも漢字習得のために努力している姿を目にすることで、漢字系だからと言って簡単には習得できないことを知っているからではないかと考えられる。

(3) 漢字学習の性質に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 37 に示す。

表 37 「漢字学習の性質に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値 (標準偏差)	
		単一クラス	混合クラス
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4.50 (0.50)	4.75 (0.43)
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	2.50 (1.61)	3.75 (0.43)
24	漢字学習は時間がかかる。	2.83 (1.57)	2.25 (1.64)
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	4.50 (0.76)	4.50 (0.50)
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。	1.50 (0.76)	2.25 (0.83)
58	漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い。	1.83 (1.07)	4.00 (0.71)
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	4.67 (0.47)	5.00 (0.00)
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4.00 (0.82)	4.25 (0.83)
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	4.50 (0.76)	4.75 (0.43)
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4.00 (0.82)	4.75 (0.43)
48	すべての漢字が書ける必要はない。	2.00 (1.00)	2.25 (0.43)
49	すべての漢字が読める必要はない。	2.50 (1.12)	2.25 (0.43)

39	画数の多い漢字は覚えにくい。	3.67 (0.94)	4.00 (1.00)
31	漢字学習には筆順が必要である。	4.83 (0.37)	4.75 (0.43)
32	漢字に部首があることを知っている。	4.67 (0.47)	5.00 (0.00)

このカテゴリーで差が見られたのは、58「漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番よい」（単一 1.83, 混合 4.00）である。両者とも 59「教師がいないと、漢字の学習はできない」（単一 1.50, 混合 2.25）の数値は高くない。しかし、混合クラスでは漢字指導は日本語母語話者に頼った方がいいと強く感じていることが分かった。47「漢字が上手にならないと日本語が上達しない」（単一 2.50, 混合 3.75）は、混合クラスの方が、日本語習得には漢字が必要であることを認識していることが分かった。

(4) 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 38 に示す。

表 38 「漢字学習の動機と期待に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。	3.67 (1.25)	5.00 (0.00)
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	4.17 (0.90)	5.00 (0.00)
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4.50 (0.50)	4.50 (0.50)
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	4.50 (0.50)	4.25 (0.43)
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4.00 (1.15)	5.00 (0.00)
8	漢字の読み書きが上手になりたい。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4.50 (0.50)	4.50 (0.50)

このカテゴリーでは、単一クラスより混合クラスの方が全体的に数値が高く、漢字学習

に対して確実な動機と強い期待感を持って臨んだことが分かった。単一クラスも数値が高いのだが、それよりもさらに混合クラスの方が高かった。

(5) 漢字の有効性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 39 に示す。

表 39 「漢字の有効性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
2	漢字を勉強することは大切だ。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	4.67 (0.47)	4.50 (0.50)
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	4.83 (0.37)	5.00 (0.00)
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。	2.83 (1.07)	3.25 (1.09)
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。	3.67 (1.11)	3.75 (0.83)
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	4.17 (0.69)	4.00 (1.22)
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	1.67 (0.75)	1.25 (0.43)

このカテゴリーでは、両クラスに大きな差は見られなかった。両クラス共、2「漢字を勉強することは大切だ」（単一 5.00，混合 5.00）と強く感じていることが分かった。

(6) 情意面に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 40 に示す。

表 40 「情意面に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	4.17 (1.46)	4.50 (0.50)
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	4.33 (1.11)	4.75 (0.43)
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	2.17 (0.90)	1.75 (0.43)
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	2.00 (1.00)	1.75 (0.43)

このカテゴリーでは、両クラス共通して、漢字学習を楽しんでいたことが分かったが、混合クラスの方がより好意的に捉えていることが分かった。また、両クラス共、3「漢字の読み方を勉強するのが楽しい」（単一 4.17, 混合 4.50）より、4「漢字の書き方を勉強するのが楽しい」（単一 4.33, 混合 4.75）の方が、数値が高かった。よって、読み方よりも書き方の学習の方が楽しかったことが分かった。

(7) 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、平均値、標準偏差を表 41 に示す。

表 41 「自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ」

項目 番号	内容	平均値（標準偏差）	
		単一クラス	混合クラス
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	5.00 (0.00)	5.00 (0.00)
55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	4.50 (0.76)	4.25 (0.43)
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3.17 (1.07)	4.00 (0.71)
23	漢字の教科書がないと学習ができない。	2.50 (0.96)	4.00 (0.71)
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	2.83 (1.34)	3.75 (1.09)
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	2.83 (1.34)	4.25 (0.43)
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。	3.83 (0.69)	4.25 (0.43)
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	2.50 (1.26)	2.75 (1.30)

22	漢字をきれいに書かなければならない。	3.17 (0.90)	3.25 (0.83)
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4.33 (0.75)	4.25 (0.83)
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	2.67 (1.49)	2.75 (0.43)
65	努力すれば、漢字学習に成功する。	5.00 (0.00)	4.50 (0.50)
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	4.17 (0.69)	3.25 (0.83)
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	4.17 (1.07)	4.50 (0.50)
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	3.00 (1.41)	2.50 (0.50)
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。	4.17 (1.46)	4.75 (0.43)

混合クラスは単一クラスより、漢字学習法を教師やテキストに頼り、また、学習者同士で互いに学習法を話し合ったほうが良いと感じていた。64「漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い」（単一 2.83, 混合 4.25）では、混合クラスは、漢字系、非漢字系を理由に違う活動をすることに否定的であった。同じクラスにいる漢字系日本語学習者を意識しているということだろう。65「努力すれば、漢字学習に成功する」（単一 5.00, 混合 4.50）は、単一クラスは全員一致で「5 非常に思う」という結果であったが、混合クラスは少し数値が下がっている。これも、漢字系日本語学習者を意識したことが原因であると考えられる。11「漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ」（単一 3.00, 混合 2.50）は、混合クラスは読むだけでなく、書くことの大切さも感じていることが分かった。

4.3 考察

4.3.1 単一クラスの調査結果の特徴

単一クラスで実施したビリーフ調査の結果の特徴として、以下が挙げられる。まず、日本語学習における漢字の重要性を全員がよく分かっており、漢字習得への積極的な意識が見られた。基本的に漢字学習を楽しんでいるようだが、一方で、半年間の漢字学習で、やはり漢字は難しいと再認識していることも分かった。次に、正しい字形の再生に対する意識については、漢字学習には筆順が必要であることをクラス全員が重要視し、効率の良い漢字学習法などの手がかりを模索していたのに、正しい字形の再生に対する意識は低かった。そして、学習者自身が自分の環境に合わせて、漢字学習の中で何が必要で何が不必要かを判断している傾向が見られた。それには日常生活が大きく影響しているようであった。

また、単一クラスであったとしても、教室外で漢字系日本語学習者の漢字習得について観察し、意識していることが分かった。単一クラス内でのピア・ラーニングは見られなかった。

4.3.2 混合クラスの調査結果の特徴

混合クラスで実施したビリーフ調査の結果の特徴として、以下が挙げられる。まず、日本語学習における漢字の重要性を、学習前、学習後共に、全員がよく分かっていた。漢字の習得が日本語学習全体に影響すると感じていた。また、漢字を難しいと感じているが、学習後は予想よりは難しいものではなかったと意識が変化していることから、漢字学習を楽しんでいたことが分かる。次に、筆順に対して意識が少し高まっていることから、筆順指導を組み込んだ指導が有効的であったと言えるのだが、正しい字形の再生に対する意識が低く、正しい字形の再生には筆順は関係ないと学習後に意識が変化していた。これは、書くことよりも読むことが大切だと感じている結果と相互性が見られる。そして、学習の主導権を自分で握りたいと考えており、それには、日常生活が大きく影響していると考えられる。また、漢字の授業に対し、なんらかの不満を抱いていた。学習者なりに努力しているが、結果が伴っていないことなどが原因だと考えられる。混合クラス内では、ピア・ラーニングが見られた。互いに学び合うことが確認されたのだが、非漢字系日本語学習者は、漢字系、非漢字系は、漢字習得に関係無いと感じていることが分かった。

4.3.3 単一クラスと混合クラスの調査結果の比較

両クラスのビリーフ調査の結果を比較し、相違点を探り、下記にまとめた。

●学習前

- ①単一クラスのほうが、漢字の読みより書きのほうが難しいと感じており、漢字に対する抵抗感があった。
- ②混合クラスのほうが、漢字を難しいと感じていた。
- ③混合クラスのほうが、漢字は非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすいと感じていた。
- ④混合クラスのほうが、漢字学習には筆順が必要であると認識していた。
- ⑤混合クラスは、漢字習得の為に学習をサポートする教科書の必要性を感じていた。学習

者同士で助け合う必要性は感じていなかった。

●学習後

- ①単一クラスのほうが、漢字を難しいと感じていた。
- ②単一クラスのほうが、漢字は非漢字系より漢字系のほうが習得しやすいと感じていた。
- ③混合クラスのほうが、教師やテキストを必要とし、また、日本語母語話者によるサポートも必要だとしていた。学習者同士で学習法について話し合ったほうが良いと感じていた。
- ④混合クラスのほうが、日本語習得には漢字が必要であることを認識しており、漢字学習に対して明確な動機と強い期待感を持って臨んでいた。
- ⑤混合クラスのほうが、漢字学習を楽しんでいた。
- ⑥混合クラスは、漢字系、非漢字系を理由に、違う活動をすることに否定的であった。
- ⑦混合クラスのほうが、漢字習得について不安を抱いているようであった。
- ⑧混合クラスは、読みだけでなく、書くことの大切さも感じていた。

以上の結果から、学習前と学習後の相違点に着目した。まず、「漢字を難しい」と感じているかどうかでは、学習前は混合クラスのほうが難しいと感じていたのに対し、学習後は、単一クラスのほうが難しいと感じるようになっていた。また、「漢字は非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい」の項目でも同じように、学習前は混合クラスのほうが強く感じていたのに対し、学習後は単一クラスのほうが感じるように変化した。この結果は、ピア・ラーニングが影響していると考えられる。混合クラスは、学習前は学習者同士で助け合うことに消極的であったが、学習後は学習者同士で学習法について話し合うことに肯定的であった。さらに、漢字系と非漢字系を区別することには否定的でもあった。同じクラス内に漢字系がいることが、非漢字系日本語学習者のモチベーションを刺激し、漢字学習に対する明確な動機と、強い期待を抱かせる一つの要因となっていた。これは混合クラスが漢字学習において、有効的であるという結果につながる。しかしながら、否定的な結果も出た。漢字習得に期待感が大きいはずなのに、努力しても漢字学習に成功しないこともあると感じていたのである。全員が「努力すれば漢字学習に成功する」と信じている単一クラスとは違った。これは、クラスが「混合」なのが原因であると考えられる。非漢字系日本語学習者が漢字系日本語学習者と同じように努力しても、やはり習得には差が出るだ

ろう。仕方がないことではあるが、漢字系と非漢字系を区別することに否定的な非漢字系の学習者にとって、努力しても漢字系日本語学習者に届かないのは、将来の漢字習得について不安を抱かせる要因となったのだろう。一方で、混合クラスのほうが漢字学習を楽しんでいたという結果も出たことから、不安を感じながらも、根本的には漢字学習に好意的であったと言える。

4.4 まとめ

本調査から、仮説 4「混合クラスの方が、漢字の正しい字形の記憶率が高く、ピア・ラーニングなどの観点から非漢字系日本語学習者の漢字習得に効果的である」のピア・ラーニングが及ぼす漢字習得への有効性は、今後の追跡調査が必要ではあるが、現時点では実証できたと言っても良いだろう。

5 章 筆順調査とビリーフの関係

5.1 考察対象者

5.1.1 成績上位者と下位者

筆順調査の結果、一番テスト成績がよく、筆順調査の正答率も高かったのは、対象者 A であった。A は、2014 年 7 月に実施された日本語能力試験 N3 に合格した。10 月には広島市内の某私立大学工学部の入学試験に合格し、2015 年 4 月入学予定である。全てにおいて良い結果が出ていることから、漢字学習、日本語学習に対して好意的なビリーフを持っていると考えられる。

一方、テスト成績も筆順調査の正答率も低かったのは、対象者 F であった。F は、2014 年 7 月実施の日本語能力試験は、まだそのレベルに達していないと自己判断し、受験しなかった。12 月に N3 を受け、現在結果が出るのを待っている。大学進学を目標としているが、日本語学校から大学受験許可が下りず³²、内部進学が決定している³³。A と F は、入学時は来日前のベトナムでの日本語学習環境が類似し、来日後も同じクラスに在籍し、同じ教科書を使用して同じ進度で学んでいたことから、似た学習背景を持っていた。また、大学進学という同じ目標を掲げていたが、現在、成績や大学進学等において差が大きく開いている。

A は漢字習得だけでなく、日本語習得においても成功していると言える。反対に F は、成功したとは言い難い。学習前から学習に対する意識が違ったことが原因であると予測される。学習中の意識の変化だけでなく、そもそも学習を始める前の意識の違い、スタート地点が違うことが、その後の学習に影響を与えていると考えられる。ここでは、A と F のビリーフ、主に学習前の意識の違いを比較することで、習得の差を探りたい。

5.1.2 ビリーフ調査結果

(1) 漢字学習の難易度に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 42 に示す。

表 42 「漢字学習の難易度に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	F (前→後)
54	漢字の習得は易しい。	3 → 4	2 → 2
1	漢字は簡単だ。	2 → 2	3 → 2
33	漢字の書きが難しい。	3 → 1	1 → 2
34	漢字の読みが難しい。	4 → 1	3 → 3
35	漢字の意味の理解が難しい。	4 → 2	2 → 2
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。	5 → 4	5 → 1
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	5 → 5	3 → 5
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	3 → 1	3 → 2
37	漢字の使い分けが難しい。	5 → 5	4 → 2

33「漢字の書きが難しい」、35「漢字の意味の理解が難しい」、38「漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい」の学習前の数値を見ると、Aは漢字学習を「難しい」と感じていることが分かった。一方、Fは全然そう感じていなかった。本来であれば、Fは漢字を「難しい」と感じるはずであるが、全くそうではなかった。Fの回答の理由として、Fが漢字をよく知らなかったのではないかと考えられる。これは、Fの意識の問題なのか、または、知識の問題なのか不明である。ともあれ、AとFは、意識や知識において、出発点に違いがあることが考えられる。

また、35「漢字の意味の理解が難しい」の学習後の数値は、AとF共に「2」と回答しているが、この「4 少し思う」という数値においても、AとFそれぞれの回答に質の違いがあると考えられる。38「漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい」は、Aは学習前後一貫して「5 非常に思う」と回答していたが、Fは学習前の「3 どちらとも言えない」から学習後は「5 非常に思う」へと変化していた。Aは最初から難しさを知っていたが、Fは学習してからやっと現実を理解したと思われる。漢字に対して関心度が高まり、本当の難しさを知ったのかは定かではない。

36「漢字の読みより書きのほうが難しい」は、学習後、Aは「4 少し思う」と回答し、Fは「1 全く思わない」と回答した。ここでも、Aの「4」と、Fの「1」には質の違いがあると考えられる。もしFの「1」の質をAと同等に捉えるならば、Fの成績は良い結果

が出ているはずである。通常、「簡単だ」と感じたならば、成績は上がるはずだ。しかしながら、実際はそうではない。A と F の習得の差の一つの要因が、ここにあると考えられる。

(2) 漢字学習適性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 43 に示す。

表 43 「漢字学習適性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	F (前→後)
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	1 → 2	3 → 2
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	2 → 1	2 → 2
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	5 → 5	2 → 3
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	2 → 1	2 → 2
5	漢字は記憶力が必要だ。	2 → 4	4 → 2
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	1 → 2	1 → 2
44	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	1 → 3	2 → 2

このカテゴリーからは、学習前に漢字は「得意ではない」と思っている方が、学習後に伸びていることが分かった。51「漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい」、18「私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ」で、A は、自身を含む非漢字系の学習者は漢字が得意ではないと回答している。一方、F は、51「漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい」で「2 あまり思わない」と回答している。

また、5「漢字は記憶力が必要だ」で A は、「2 あまり思わない」から「4 少し思う」へ変化しているが、F は逆に変化している。漢字学習は反復練習と記憶が必須であるが、F は記憶力は必要ないと思っている。良い成績であれば、このような回答もあり得るが、成績下位者の F の回答としては矛盾している。この回答は、F の成績が低かった要因の一つであると考えられる。

(3) 漢字学習の性質に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 44 に示す。

表 44 「漢字学習の性質に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	F (前→後)
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4 → 5	3 → 4
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	1 → 1	2 → 1
24	漢字学習は時間がかかる。	2 → 1	1 → 1
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	3 → 5	5 → 5
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。	2 → 1	3 → 1
58	漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い。	2 → 2	2 → 1
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	5 → 5	5 → 5
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4 → 5	3 → 3
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	5 → 4	5 → 5
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4 → 4	4 → 5
48	すべての漢字が書ける必要はない。	5 → 4	3 → 1
49	すべての漢字が読める必要はない。	4 → 4	3 → 4
39	画数の多い漢字は覚えにくい。	3 → 2	3 → 4
31	漢字学習には筆順が必要である。	4 → 5	3 → 5
32	漢字に部首があることを知っている。	4 → 5	4 → 5

48「すべての漢字が書ける必要はない」、49「すべての漢字が読める必要はない」の学習前の F の回答を見ると、「3 どちらとも言えない」を選択している。漢字習得をどの程度まですればいいのか、はっきり自覚していなかったようだ。学習後を見ると、48「すべての漢字が書ける必要はない」は「1 全く思わない」と回答し、すべての漢字を書く必要があると、漢字習得への思いを強くしていた。漢字の筆記に対する意識は強く変化しているのに、それが結果へ結びついていない。

24「漢字学習は時間がかかる」は、学習後、A と F 共に「1 全く思わない」を選択している。A は、漢字テストの成績も良いし、授業中の様子からも漢字に興味を持ち、自分なりの学習方法で毎日努力する姿が見られたが、F はそうではなかった。しかしながら、この項目での意見は一致している。ここでも、回答の質に差があることが考えられる。F は漢字を理解し、一定レベルを習得しているとは言い難いが、本人はそれを自覚していない

ことが分かる。

7「努力すれば、誰でも漢字が得意になれる」では、学習前に A は「4 少し思う」と回答し、学習後は「5 非常に思う」へと変化していた。努力が結果へ繋がることを認識したことが分かる。一方、F は学習前後共、「3 どちらとも言えない」を選択している。学習前は努力次第で得意になれるのか不安な点があったと考えられるが、学習後は本人が努力したと考えた上での回答なのか、それとも、努力していないので分からないのかは定かではない。

39「画数の多い漢字は覚えにくい」は、A は数値が下がったが、F は上がっていた。A は画数に関わらず、独自の記憶法が確立されているのだろう。

(4) 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 45 に示す。

表 45 「漢字学習の動機と期待に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	F (前→後)
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4 → 2	2 → 4
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	5 → 5	5 → 3
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	3 → 5	5 → 4
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	3 → 4	3 → 5
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4 → 3	5 → 5
8	漢字の読み書きが上手になりたい。	5 → 5	4 → 5
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4 → 4	5 → 5

動機の点にだけ注目すると、むしろ F の方が漢字学習に対する意識が強いことが分かった。A は入学当初から大学進学を目標としていたので、16「日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する」の数値は一貫して高い。しかし、F の数値は下がっている。F も A と同じく、大学進学を目指しているはずなのに、大学進学に対する意識だけは半年で変化している。

(5) 漢字の有効性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 46 に示す。

表 46 「漢字の有効性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	F (前→後)
2	漢字を勉強することは大切だ。	5 → 5	5 → 5
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	5 → 5	5 → 5
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	3 → 5	5 → 5
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。	4 → 4	3 → 4
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。	3 → 5	4 → 5
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	3 → 4	5 → 5
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	3 → 2	2 → 1

このカテゴリーでは、A と F のビリーフに特に差は見られず、全体的にビリーフは高めであった。漢字の重要性に関する項目は両者とも数値が上がっていた。漢字の有効性に関するビリーフは、漢字習得には影響していないことが分かった。

(6) 情意面に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 47 に示す。

表 47 「情意面に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	F (前→後)
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	2 → 4	3 → 5
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	3 → 5	3 → 5
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	4 → 2	1 → 2

43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	2 → 1	1 → 2
----	----------------------	-------	-------

A も F も、漢字学習前は「楽しい」とは感じていなかったが、学習後は二人とも「楽しい」と感じるようになっていた。しかし、F は、学習前は「漢字の読み方、書き方を勉強するのが好きではない」という項目の数値が低く、漢字学習を好意的に捉えていたが、学習後は数値が上がっていた。毎日の学習を負担に感じていたのかもしれない。A は、学習前は漢字学習が好きではなかったが、学習後は好意的に変化していた。

(7) 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 48 に示す。

表 48 「自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	F (前→後)
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	5 → 5	5 → 5
55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	4 → 5	5 → 5
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3 → 3	5 → 2
23	漢字の教科書がないと学習ができない。	2 → 1	3 → 2
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	2 → 1	2 → 2
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	2 → 1	2 → 1
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。	4 → 4	4 → 4
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	2 → 1	2 → 2
22	漢字をきれいに書かなければならない。	4 → 4	3 → 2
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4 → 4	5 → 5
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	5 → 2	1 → 1
65	努力すれば、漢字学習に成功する。	5 → 5	5 → 5
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	4 → 5	5 → 4
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	5 → 5	5 → 4
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	5 → 5	1 → 2
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。	5 → 4	5 → 5

ここでは、まず、50「間違えそうなら、漢字を使わない方がいい」と11「漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ」に着目した。学習前、Aはどちらも「5非常に思う」と回答し、Fは「1全く思わない」と回答した。AよりFの方が、漢字を積極的に使うべきだと思っている。また、Aは、11「漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ」では、学習後の回答も「5非常に思う」であった。書くことよりも読むことの方が大切だと回答している。この要因は、日本語能力試験と日本留学試験が、マーク式であることだと考えられる。Aは、常に大学進学を視野に入れていた。両試験のことをFよりも把握していたことが、書くことよりも読むことを重要視した要因であろう。

50「間違えそうなら、漢字を使わない方がいい」は、学習後はAが「2あまり思わない」、Fが「1全く思わない」と回答している。しかし、この数値も質が違うと考えられる。Aは、漢字学習についてある程度知った上での回答であると予測できるが、Fの場合はまだあまり理解していないのではないかとと思われる。

22「漢字をきれいに書かなければならない」は、Aは学習前後共通して「4少し思う」を選択しているのに、Fは「3どちらとも言えない」から「2あまり思わない」へ変化していた。このFの意識の変化は、教師側に原因があると考えられる。評価する際に、きれいな字形でなくとも正解と評価したことで、学生もその基準を知り、きれいに書かなくても良いと認識したと考えられる。

5.2 考察対象者

5.2.1 筆順調査上位者と下位者

筆順調査結果の特殊例として対象者Bがあった。Bは、Fと似た境遇である。BもFと同様、大学進学が目標ではあるが、現時点では内部進学が決定しており、2014年12月の日本語能力試験N3を受験し、現在は結果を待っている状況である。Bは、テストの成績が良かったにも関わらず、筆順調査の筆順正答率、正しい字形の再生率が低かった。成績が良かったということは、Aとは似たビリーフを持っていると予測できる。Aに似たビリーフを持っていることが、良い成績へと繋がっていると考えられる。よって、筆順指導の有効性を実証するためには、AとBのビリーフの差を探る必要がある。Bにはどんな特徴があり、それがどのように漢字習得に関係しているのか。

ここでは、対象者A、Bのビリーフを取り出し、比較考察する。

5.2.2 ビリーフ調査結果

(1) 漢字学習の難易度に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 49 に示す。

表 49 「漢字学習の難易度に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	B (前→後)
54	漢字の習得は易しい。	3 → 4	1 → 4
1	漢字は簡単だ。	2 → 2	1 → 1
33	漢字の書きが難しい。	3 → 1	3 → 4
34	漢字の読みが難しい。	4 → 1	3 → 2
35	漢字の意味の理解が難しい。	4 → 2	3 → 2
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。	5 → 4	4 → 2
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	5 → 5	4 → 3
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	3 → 1	5 → 4
37	漢字の使い分けが難しい。	5 → 5	4 → 5

学習前のビリーフを見ると、A と B はどちらも漢字を難しいと感じていた。B は、漢字は難しいと感じながらも、33「漢字の書きが難しい」、34「漢字の読みが難しい」、35「漢字の意味の理解が難しい」の項目で、いずれも「3 どちらとも言えない」と回答しており、A より学習に関して、事前知識がなかったのではないと思われる。学習後は、34「漢字の読みが難しい」、35「漢字の意味の理解が難しい」は「2 あまり思わない」へ変化しているが、33「漢字の書きが難しい」だけ「4 少し思う」と回答していることから読み取れる。

45「漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている」は、学習前から B だけが強く意識していたことが分かった。A は漢字の読み書きと日本語学習を結び付けてはいなかったが、B は学習前から双方の関係を意識し、学習後もその意識は高いままであった。ここに A と B の意識の違いが見られた。

(2) 漢字学習適性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 50 に示す。

表 50 「漢字学習適性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	B (前→後)
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	1 → 2	3 → 1
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	2 → 1	3 → 1
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	5 → 5	1 → 4
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	2 → 1	1 → 1
5	漢字は記憶力が必要だ。	2 → 4	5 → 4
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	1 → 2	1 → 1
44	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	1 → 3	5 → 2

このカテゴリーは、A と B の回答に大きな差が見られた。まず、51「漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい」では、A は「5 非常に思う」と回答し、B は「1 全く思わない」と回答した。B は、漢字系と非漢字系は漢字習得に関係ないと思っていたのである。なぜそう思ったのか。これは、B の筆順の正答率の低さにつながると考えられる。漢字系日本語学習者は、ほぼ全員が決められた筆順通りに漢字を書く。非漢字系日本語学習者は、漢字の字形だけでなく、その一字ごとに定められた筆順も記憶しなければならない。単純に考えて、すでに漢字を認識している漢字系の学習者の方が習得しやすいものだが、B はそう思っていない。それは、漢字の筆順を重要だとは考えず、字形のみ正しく再生できれば良いと考えていたからだと思われる。5「漢字は記憶力が必要だ」の項目で、「5 非常に思う」と回答していたことから、筆順ではなく、字形の記憶を重要視していたことが窺える。これが B の筆順の正答率の低さの原因だと考えられる。

(3) 漢字学習の性質に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 51 に示す。

表 51 「漢字学習の性質に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	B (前→後)
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4 → 5	4 → 4
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	1 → 1	3 → 5
24	漢字学習は時間がかかる。	2 → 1	4 → 4
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	3 → 5	3 → 3
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。	2 → 1	1 → 1
58	漢字を習うときは、日本語母語話者に習うのが一番良い。	2 → 2	1 → 1
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	5 → 5	4 → 4
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4 → 5	5 → 5
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	5 → 4	4 → 3
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4 → 4	3 → 3
48	すべての漢字が書ける必要はない。	5 → 4	1 → 2
49	すべての漢字が読める必要はない。	4 → 4	1 → 2
39	画数の多い漢字は覚えにくい。	3 → 2	4 → 4
31	漢字学習には筆順が必要である。	4 → 5	2 → 4
32	漢字に部首があることを知っている。	4 → 5	2 → 4

学習前のビリーフを比べると、48「すべての漢字が書ける必要はない」、49「すべての漢字が読める必要はない」が、AとBの意識が全く違っている。Bは、すべての漢字を書き、読む必要があると考え、漢字に対する意識の高さが見られる。しかし、一方では漢字に対する意識の低さも見られる。31「漢字学習には筆順が必要である」、32「漢字に部首があることを知っている」では、いずれも「2 あまり思わない／あまり知らない」と回答し、漢字学習前の事前知識の少なさが、Aとの差として出た。また、24「漢字学習は時間がかかる」、39「画数の多い漢字は覚えにくい」では、学習前後一貫して「4 少し思う」と回答しており、漢字学習に対する自信の無さも見られた。

31「漢字学習には筆順が必要である」の項目では、学習後にBは「4 少し思う」を選択している。筆順の必要性を感じているのに、筆順調査での正答率は低く、矛盾している。

59「教師がいないと、漢字の学習はできない」では、一貫して「1 全く思わない」を選

択し、25「漢字学習には反復練習が欠かせない」、7「努力すれば、誰でも漢字が得意になれる」の数値は高いことから、Bには独自の学習法があることが予測される。

(4) 漢字学習の動機と期待に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 52 に示す。

表 52 「漢字学習の動機と期待に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	B (前→後)
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4 → 2	4 → 4
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	5 → 5	2 → 3
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	3 → 5	2 → 4
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	3 → 4	1 → 4
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4 → 3	5 → 4
8	漢字の読み書きが上手になりたい。	5 → 5	5 → 5
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4 → 4	5 → 4

A と B には、日本語能力試験と漢字学習に対する意識の違いが明確に表れていた。A は、学習前から日本語能力試験と漢字学習のつながりを意識していたが、B は日本語能力試験には漢字学習があまり必要ではないと感じていた。これは、学習後も同様であった。B は、進学を希望していたことから、日本語能力試験受験が必須であることは認識している。しかしながら、日本語能力試験のためには漢字学習は重要ではないと感じていた。日本語能力試験に出題される漢字問題は、筆記ではなく、4 択のマーク式である。B は漢字を書くことに関して意識の高さを見せていたことから、日本語能力試験のマーク式のための漢字学習は、B が考える漢字学習とは全く別物であると意識しているのかもしれない。

52「漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある」は、学習前後で大きな意識の変化が見られた。日常生活においては、漢字学習の必要性は感じていたようである。

(5) 漢字の有効性に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 53 に示す。

表 53 「漢字の有効性に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	B (前→後)
2	漢字を勉強することは大切だ。	5 → 5	5 → 5
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	5 → 5	5 → 4
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	3 → 5	5 → 5
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。	4 → 4	1 → 3
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。	3 → 5	3 → 3
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	3 → 4	5 → 4
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	3 → 2	4 → 1

このカテゴリーでも B は、漢字学習に対して期待感や意識の高さが見られるが、それと同時に、自信の無さも見られた。17「日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない」、9「漢字の読み書きができるといい仕事に就ける」の数値は高いが、53「漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される」は低かった。たとえ自信が無くとも、漢字学習に対する高い意識があれば、漢字習得には成功することが分かった。

(6) 情意面に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 54 に示す。

表 54 「情意面に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	B (前→後)
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	2 → 4	4 → 1
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	3 → 5	4 → 2
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	4 → 2	5 → 4
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	2 → 1	5 → 4

B は、漢字学習前は漢字の読み書きを勉強するのが楽しいと感じていた。A は楽しくないと感じていたの、Bの方が漢字に好意的であったことが分かる。しかし、B は、読み書きを勉強するのは好きではないと感じていた。楽しいと感じながらも、学習自体は好きではなかったようだ。ここで注目しなければならないのは、B は、漢字学習前は「楽しい」と感じていたのに、学習後は「楽しくない」へ意識が変化していることである。一方、A は、学習後は「楽しい」へと変化していた。ここに、A と B の習得の差の要因があると考えられる。F の場合と同様に、B は学習前のスタート地点が A とは違い、数値に質の差があったのかもしれない。

(7) 自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ

このカテゴリーのビリーフについて、表 55 に示す。

表 55 「自習学習と漢字学習の指導に関するビリーフ」

項目 番号	内容	A (前→後)	B (前→後)
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	5 → 5	4 → 5
55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	4 → 5	5 → 3
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3 → 3	1 → 4
23	漢字の教科書がないと学習ができない。	2 → 1	1 → 2
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	2 → 1	5 → 4
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	2 → 1	3 → 4
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。	4 → 4	2 → 3

61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	2 → 1	1 → 4
22	漢字をきれいに書かなければならない。	4 → 4	4 → 4
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4 → 4	4 → 3
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	5 → 2	1 → 1
65	努力すれば、漢字学習に成功する。	5 → 5	2 → 5
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	4 → 5	4 → 3
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	5 → 5	5 → 2
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	5 → 5	4 → 2
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。	5 → 4	5 → 1

このカテゴリーの B の結果は、A よりもむしろ F に近いものがあった。50「間違えそうなら、漢字を使わない方がいい」は、A は学習前「5 非常に思う」と回答していたが、B と F は共に「1 全く思わない」と回答している。さらに、これは、学習前後共通した意識である。両者とも、漢字への意識の高さが見られた。

56「学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い」では、「5 非常に思う」と回答していたことから、ピア・ラーニングへの期待が感じられた。61「漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある」では「1 全く思わない」と回答し、教師に頼るのではなく、学習者同士で学習しようという高い意識が見られたが、学習後は「4 少し思う」へと変化し、漢字学習における教師の必要性も感じたようである。この項目で A は、「1 全く思わない」と回答しており、他者に頼りたい B とは全く違う意識を持っていた。

65「努力すれば、漢字学習に成功する」は、B は「2 あまり思わない」と回答していた。漢字学習への自信の無さが、ここでも見られた。しかし、学習後は「5 非常に思う」へと変化したことから、それなりに自信がついたことが考えられる。自信がつき、テストの成績も良い結果が出たが、漢字の筆記については、字形の正答率が低かった。前述したように、B には独自の学習方法があることが、このカテゴリーにおいても予測される。

5.3 考察

5.3.1 成績上位者と下位者についての考察

対象者 A は、成績上位者である。F は、成績下位者である。A と F のビリーフを比較した結果、両者には学習前から意識の違いが見られた。A は成績が良かったことから、学習

前から一貫して漢字学習に好意的なビリーフを持ち、一方、Fは好意的でないビリーフを持っているのではないかと予想されたが、実際は逆であった。学習前は、むしろFの方が漢字学習に対する意識が強く、習得に大きな期待もしていた。漢字を簡単に捉え、筆記に対する意識も高く、漢字学習を好きだと感じていた。反対に、Aは漢字を難しいと思っており、得意ではないと回答していた。以上から、学習前に漢字を「難しい」、「得意ではない」と感じている方が、その後に伸びていることが分かった。学習前のこの差は、両者の出発点の違いが原因であると考えられる。Aは漢字学習の現実を知っていたからこそ難しさを感じ、それ相応の覚悟を持って学習に臨んだことが習得の成功につながった。しかし、Fはまだ現実を分かっていなかったもので、漢字学習に対する恐怖や嫌悪感が全くなく、覚悟もしていなかったことが、成績の低さの要因だと考えられる。Fは、最初の姿勢が間違っていたのである。実際に、Aは漢字学習の有効的な方法も理解していた。漢字学習には記憶力が必要であると回答し、また、独自の学習法も見つけているようであった。Fは、漢字学習には記憶力は必要ないと回答していたことから、学習初期の段階で漢字学習の有効的な方法を見つけられず、学習法が間違っていた可能性がある。筆順調査の正答率が16.7%と低かったことから分かる。漢字の有効的な学習法は、記憶学習でもなく、筆順を意識した筆記学習でもないと考えており、学習方法が分からなかったことに原因があると思われる。

AとFの結果を比較する中で、ビリーフ調査には、回答数値に質の差があることが分かった。AとFが同じように「難しい」と回答していても、難しさにレベルの差がある。この質の差は、AとFの場合、大きく違っていると考えられる。Fが「簡単だ」と思っていた場合、教師はそのまま受け取るのではなく、学習者の現状とレベルを踏まえた上での指導が必要である。

この調査の結果で明らかになったのは、Fは現状を把握できていないことが問題だったということである。学習前の漢字への意識の高さ、好意的な姿勢はとても良いのだが、自分のレベルを自覚できていなかったのも、その後の学習にも悪影響を及ぼしていた。学習前に、ほんの少しでも漢字学習の難しさを伝えることは、決して悪いことではなく、むしろAの結果を見ると、その後の漢字学習への強い決意、覚悟をすることへ繋がるようである。教師が学習前にしっかりと学習者自身とコミュニケーションをとり、現状レベルを伝えることで、その後の学習法の提案、道筋の提示をしてあげることが、習得の成功へとつながると考えられる。しかし、あまりに厳しく現状を把握させると、せっかく漢字に好意

的である学習者もやる気が失せてしまうと思われるので、注意が必要である。

5.3.2 筆順調査上位者と下位者についての考察

B のビリーフは、A に近いもの、また、F に近いものがあった。B は成績が良かったので、通常であれば A のビリーフに近くなければならない。F のビリーフに近かったものとして、漢字への意識の高さが見られた。A は、自分の目的のための漢字学習法を見つけていたが、B は目的のためではなく、日本語習得全般のための学習法を意識していたようである。日本語能力試験のマーク式回答法に則した学習法を推奨していた A とは違い、漢字を書くことに関して意識の高さが見られたことから言える。書く過程よりも、「字形」という結果を重視し、漢字学習には記憶力が必要だと感じていた。また、B は漢字系と非漢字系の違いを意識していなかったことから、F と同様、自分の現状把握の欠如が見られた。さらに、F ほどではないが、漢字学習前の事前知識の少なさが、その後の学習に影響していた。

B の特徴としてあげられるのは、とにかく自信の無さが見られたことである。成績が良ければ自信へとつながるはずだが、B の場合は一貫して自信の無さが見られた。学習前も、漢字学習を好きではないと感じており、学習後も決して「好き」へとは変化しなかった。漢字への嫌悪感が大きかった。これが、自信の無さへと繋がっていると考えられる。自信がなくても漢字習得に対しては高い意識が見られたことが、成績が良かった要因だろう。

B は、漢字の字形のみ記憶し、再生することが漢字学習だと思っていたが、ただ記憶することに限界を感じ、負担になっていたので、嫌悪感が増大したのではないだろうか。筆順を意識すれば、もう少し違った記憶法、学習法が見つけれられていたかもしれない。B は、全く筆順を意識していなかったわけでもない。ビリーフ調査の結果では、筆順の必要性を感じていた。しかしながら、筆順調査の結果は 5.6% と一番低かった。ここに、B の漢字学習に対する迷いが見られる。B は、漢字が日本語学習の障害になっていると強く感じており、漢字への強い嫌悪感が見られた。初級レベルでは漢字の数にも限りがあり、字形の記憶法だけで良い結果を出すことができるかもしれないが、今後レベルが上がり、漢字の数が増えるにしたがって、字形の記憶法だけでは漢字学習に行き詰まるのではないかと予測される。F のように、筆順の正答率が低く、記憶法も重要視していない学習者は、漢字の成績も悪かった。今後、B の記憶法に限界が訪れ、F と同様、記憶法を放棄してしまった場合、B の成績は今より下がることが予測される。有効的な漢字学習法として筆順を取

り入れることが、記憶に役立ち、習得へと繋がるのである。

よって、Bのように漢字習得に対する意識は高いが、自信が持てない学習者には、教師が学習前に、目的に即した明確な学習法を提示することが必要である。独自の学習法がある場合は、それを否定することは更なる自信の喪失へ繋がるので、学習者の主張を尊重しながらも、教師としての立場からアドバイスすることが重要である。そして、Bの調査結果から明らかになったのは、漢字学習において字形の記憶法だけでは、学習にストレスを感じてしまうということである。記憶を助ける手段の一つである筆順を取り入れることは、必ず漢字学習に効果的であると、本研究の筆順調査の結果からも言える。もしBが筆順を考慮した学習をしていたならば、筆順の正答率は上がり、不自然な字形数も減っていたはずである。ただ、字形を記憶させるのではなく、筆順指導を取り入れることが、非漢字系日本語学習者の漢字習得に有効的であると言える。

5.4 まとめ

対象者 A, B, F のビリーフの結果を比較することで、漢字習得における筆順の重要性と、教師がどのように対応すればいいのか見えてきた。いずれにしても、初級学習者に大きな影響を与えるのは、教師であることが分かった。学習者が持っているビリーフはそれぞれ違うが、学習前に少しでも習得成功へと導くために学習者の意識の変化や学習法の提示をすることが重要である。

では、教師は漢字指導に関してどのように考えているのだろうか。教師のビリーフを知る必要がある。

6 章 教師のビリーフ調査と結果

6.1 アンケートの概要

6.1.1 調査の目的

学習者のビリーフ調査の結果から、教師の役割が見えてきた。では、教師は学習者のビリーフを理解し、指導を行っているのだろうか。両者のビリーフに差があれば、有効的な漢字指導はできない。よって、学習者に行ったビリーフ項目を教師用に修正し、アンケート用紙を作成し、調査した。学習者のビリーフ調査の結果と照らし合わせるために実施した。

6.1.2 調査方法

学習者のビリーフ調査項目を教師用に変えて実施した。非漢字系日本語学習者に対する漢字指導についてのアンケートであることを伝えた上で行った。

6.1.3 実施日

2014 年 9 月 26 日から 2014 年 11 月 7 日の間で行った。対象者に非常勤講師が含まれていたことから、同一日に実施できなかった。実施日が 1 か月半に渡っているのは、一名、9 月末日で退職が決まっていたので、他の対象者よりも早くアンケート調査を行ったためである。

6.1.4 アンケート調査の内容

調査は、質問紙により実施した³⁴。ストラテジーに関する項目が 8 項目、ビリーフに関する項目が 40 項目からなる。ストラテジー項目の回答は、5 段階評価方式を用い、「いつもする」「よくする」「どちらとも言えない」「あまりしない」「全然しない」とした。ビリーフ項目の回答も 5 段階評価方式を用い、「非常に思う」「少し思う」「どちらとも言えない」「あまり思わない」「全く思わない」とした。

詳しい項目内容は、以下の通りである。

表 56 漢字指導に関するストラテジー

1	学習者が漢字の字形が正しく書けるように気をつけて教える。
2	教師自身の体験から漢字学習方法を学習者に教える。
3	漢字を何回も書くように勧める。
4	漢字の部首について、説明する。
5	漢字の筆順について、説明する。
6	授業以外の自習を勧める。
7	学習者自身に漢字学習方法や進度を決めさせる。
8	学習者同士で学習方法を相談させる。

表 57 漢字指導に関するビリーフ

1	漢字を勉強することは大切だ。
2	漢字は記憶力が必要だ。
3	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。
4	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。
5	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。
6	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。
7	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。
8	漢字学習と出身国は、関係がある。(得意、不得意がある)
9	会話が得意な人は漢字も得意だ。
10	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。
11	漢字はきれいに書かなければならない。
12	漢字は教科書がないと学習ができない。
13	漢字学習は時間がかかる。
14	漢字学習には反復練習が欠かせない。
15	授業以外でも漢字の自習が必要だ。
16	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。
17	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。
18	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。
19	漢字学習には筆順が必要である。

20	漢字学習には部首の理解が必要である。
21	学習者は漢字の書き順に注意を払わなければならない。
22	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する
23	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。
24	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。
25	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。
26	すべての漢字が書ける必要はない。
27	すべての漢字が読める必要はない。
28	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。
29	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。
30	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。
31	学習者自身で学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。
32	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。
33	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。
34	漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。
35	教師がいないと、漢字の学習はできない。
36	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。
37	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。
38	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。
39	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。
40	努力すれば、漢字学習に成功する。

上記とは別に、基本項目として、年齢、性別、日本語教授経験年数を加えた。学習者と関わるには、それまでの経験が大きく影響することから、経験年数を書いてもらった。

6.1.5 対象者

初級クラスの漢字指導に関わった日本語教師 5 名を対象に実施した。5 名の詳細は表 58 の通りである。経験年数の順に並べた。

表 58 漢字指導に関するアンケートの対象者

	a	b	c	d	e
経験年数	10 年	8 年	3 年	1.5 年	1 年
年齢	44 歳	41 歳	37 歳	43 歳	27 歳
性別	女	女	女	女	女
海外教授歴	無	有	有	無	無

6.2 調査結果

回答は、5 段階評価の中で、最も同意できる程度を選択してもらった。回答データの分析は、学習者のビリーフ調査と同様、1～5 の順序を反転させ行った。数値が大きければ賛成の度合いが高く、数値が低ければ度合いが低いことを意味する。

この調査は、学習者のビリーフとの関連性を探るためのものであることから、ここでは全ての項目の結果を提示し考察するのではなく、学習者ビリーフの結果として出た「筆順」、「記憶」、「意識」に関する項目のみ取り出し、考察することとする。全項目の結果は、巻末に添付した³⁵。

6.2.1 漢字学習法について

まず、漢字学習法について、学習者のビリーフと照らし合わせる。学習者 B は、漢字の筆順の重要性を感じながらも、字形の記憶法を用いて学習していた。一方、F は、筆順を用いた方法でなく、記憶法でもなく、学習方法が定まっていなかった。では、この二人を指導した教師は、筆順や記憶法についてどのように考え、指導していたのだろうか。表 59 に教師の漢字指導ストラテジー、表 60 に教師の漢字指導ビリーフの調査結果をまとめた。

表 59 教師の漢字指導ストラテジー

項目 番号	内容	a	b	c	d	e
1	学習者が漢字の字形が正しく書けるように気をつけて教える。	5	5	5	5	4
3	漢字を何回も書くように勧める。	4	5	5	5	4

4	漢字の部首について，説明する。	2	2	2	5	2
5	漢字の筆順について，説明する。	4	3	5	5	2
7	学習者自身に漢字学習方法や進度を決めさせる。	1	2	1	2	1

漢字の筆順を取り入れ指導している教師は，漢字の字形の正しい再生について数値が高かった。e は，筆順指導に消極的なので，字形の正しい再生について，他の教師より意識が低い。学習者 A と B は独自の学習法があったが，教師アンケートの結果を見ると，全員が学習者自身に学習方法や進度は決めさせないと回答していた。教師と学習者の間に意識の差が見られる。

表 60 教師の漢字指導ビリーフ

項目 番号	内容	a	b	c	d	e
2	漢字は記憶力が必要だ。	4	5	4	5	5
11	漢字はきれいに書かなければならない。	4	4	3	5	4
19	漢字学習には筆順が必要である。	4	4	3	5	3
21	学習者は漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4	3	2	5	3
26	すべての漢字が書ける必要はない。	5	5	5	5	4
27	すべての漢字が読める必要はない。	5	4	2	5	4
28	間違えそうなら，漢字を使わない方がいい。	4	3	4	1	3

学習者 A と B は，漢字は記憶力が必要だと意識していたが，教師も全員同じように考えていた。19「漢字学習には筆順が必要である」の回答では，「5 非常に思う」と回答したのは 5 名中 1 名だけであった。教師は全員，漢字は記憶力が必要だと回答していたが，筆順が必要であるとは考えていなかった。この結果は，学習者 B の漢字は筆順より記憶法だという考えと一致する。また，21「学習者は漢字の書き順に注意を払わなければならない」では，教師 c は「2 あまり思わない」と回答した。教師 c は，19「漢字学習には筆順が必要である」で「3 どちらとも言えない」と回答していることから，漢字指導において，筆順指導および，筆順による正しい字形の再生は重要視していないということである。11「漢字はきれいに書かなければならない」で「3 どちらとも言えない」と回答していることか

らも分かる。さらに、26「すべての漢字が書ける必要はない」では「5 非常に思う」と回答しているが、27「すべての漢字が読める必要はない」では「2 あまり思わない」と回答している。以上から、教師 c は、漢字の筆記よりも読みを重視していることが分かる。他の教師は、26「すべての漢字が書ける必要はない」、27「すべての漢字が読める必要はない」の両項目とも数値が高く、漢字指導に対する意識が学習者ほど高くないことが分かった。28「間違えそうなら、漢字を使わない方がいい」の項目でも、教師 a と c は「4 少し思う」と回答しており、学習者が目指す漢字の習得レベルと、教師が考える習得レベルに差があることが考えられる。

6.2.2 漢字学習の意識について

漢字学習前、学習者 A は漢字を難しいと感じ、さらに、自分は得意ではないと苦手意識を持っていた。学習者 B は、漢字習得に対する意識は高かったが、自信が持てずにいた。学習者 F は、漢字学習に対する意識が高く好意的であったが、自分の現状が把握できていなかったことから漢字習得に失敗していた。教師はどのような意識を持って漢字指導を行っていたのか、意識に関する項目を表 61 にまとめた。

表 61 教師の漢字指導についてのビリーフ

項目 番号	内容	a	b	c	d	e
7	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	5	3	5	5	5
8	漢字学習と出身国は、関係がある。(得意, 不得意がある)	5	4	5	5	5
25	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	1	2	3	4	4
29	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	5	5	3	5	5
31	学習者自身で学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	2	3	2	3	2
36	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3	3	2	2	4
37	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	4	3	2	3	3
40	努力すれば、漢字学習に成功する。	4	4	4	5	4

結果を見ると、学習者の漢字習得について、教師側の意識が学習者に比べて低いことが

分かった。日本語学習には漢字も必要だとは感じているが、漢字習得には出身国が関係しており、非漢字系日本語学習者は漢字系日本語学習者よりも習得スピードが劣っていると感じていた。学習者個人には関係なく、出身国によって漢字習得は左右されると思っているようである。また、学習者たちは漢字習得について高い意識を持っていたが、教師側は40「努力すれば、漢字学習に成功する」で「5非常に思う」と回答したのは、教師dだけであった。他の教師たちは、努力だけでは成功しないと多少なりとも思っているようである。

ここで注目すべき項目は、31「学習者自身で学習方法や進度を決めるのが一番効果的である」、36「最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている」である。学習者自身で進度を決めることには消極的な回答なのに、だからと言って教師が効果的な学習方法を提示するのかというと、そうではないらしい。教師は学習者を導く立場であるのに、教師自身に漢字指導の迷いが見られる。さらに、37「漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある」では、教師a以外は「3どちらとも言えない」、「2あまり思わない」と回答していた。これは、漢字学習は学習者の自習に任せることが多く、教師が時間をかけて指導にあたるのが難しいことが要因であると考えられる。さらに、漢字習得は教師の指導よりも学習者の努力による「記憶法」が一番有効的であると考えられていたことから、漢字習得に失敗しても教師側に全ての責任があるとは答えられなかったのだろう。ここでも、漢字指導にあたる教師の迷いが見られた。確立された漢字指導法がまだないことが、一番の原因である。

6.3 考察

6.3.1 指導法についての考察

学習者Aのように、目的がはっきりしており、独自の学習法で習得に成功している場合は教師の特別な助言は必要ないが、学習者Bのように独自の学習法で学習を続けると、行き詰まりそうだと予測される場合や、学習者Fのように全く学習法が定まっていない場合は、教師がその学習者に最も合う学習方法を提示する必要がある。しかしながら、教師側は、学習者ほど漢字習得に対する意識が高くなく、さらに、指導法が確立されていないことから、漢字指導に自信が見られなかった。漢字学習に対し不安を抱いている学習者がいても、教師が指導法に懐疑的であれば、学習者の意欲向上に逆効果である。学習者Fのようにやる気はあるが学習法が定まっていない場合、効果的な学習法を教師が指導しなければ

ば、その学習者が習得に成功することは無い。教師側が学習者のために十分なサポートをしていかなければならない。

本研究により、漢字習得と筆順指導には確実な関連性は見られなかったが、筆順指導と正しい字形の再生には関連性が見られた。教師が漢字指導法に迷いがあるのならば、初めから漢字習得だけにこだわるのではなく、まずは正しい字形の書字、再生を中心とした指導法を提案したい。日本人が小学校で筆順指導を受けながら漢字のきれいな字形の再生を学んだように、日本語学習者に対しても筆順の指導、漢字の正しい知識を指導することが日本語教師の役割であると考え。 「記憶」を目指した指導法ではなく、「きれいな字形の再生」を目指した指導法を取り入れる。きれいに正しく漢字を書字することが、いずれ「記憶」を手助けする一要因になるだろう。

6.3.2 学習サポートについての考察

調査対象校が行っている漢字学習におけるサポートは、初級授業内での筆順を取り入れた漢字指導、確認テストの実施とフィードバックである。全てがクラス活動で行われている。クラス人数が多いとクラス内での個人指導は難しいのだが、学習に失敗していると思われる学習者への指導は必要不可欠である。教師が、学習者自身に漢字学習方法や進度を決めさせないと回答していたように、習得に成功する良い指導をしようという意識がある。では、どのようなサポートが必要なのだろうか。

確認テストによって、成績下位者はすぐに見つけることができる。教師は、下位者は記憶法に失敗しているから成績が悪いのだと決めつけず、学習者とコミュニケーションを取り、どのような学習法を用いているのか、その学習法は学習者に合っているのかを確認テストのフィードバックで指導すれば、その後の学習に活かすことができるだろう。

学習者Bの場合、テストの成績は良いことから、結果だけでは見つけることはできない。独自の学習法が漢字習得に有効であり、成績にも全く問題がなければ良い。しかし、Bは正しい字形の再生に問題があった。筆順調査で不自然な字形数が圧倒的に多かったことから、Bの良い成績は採点の許容に助けられた点が大きいと考えられ、字形のみに着目すると正しく漢字を習得しているとは言い難い。まずは教師側の許容の程度を再検討する必要があるだろう。特別な許容を無くせば、Bの漢字テストの成績は下がり、B自身が漢字学習法を考え直すきっかけにもなる。正しい筆順はきれいな字形の再生につながり、テスト結果も良くなることをBに気付かせなければならない。そして、Bが正しく書字するには、

筆順を再度指導することが重要となる。

6.4 まとめ

以上から言えるのは、筆順指導の必要性である。教師によって筆順指導の重要度は違っていたが、正しい字形の再生には全ての教師が高い意識を持っていた。正しい字形の再生のための指導法は、筆順指導であると言える。他に確立された指導法はなく、学習者の現状を見ると、やはり筆順を取り入れた指導法は重要なものだと考えられる。また、教師は漢字を何回も書くことを重要視していた。学習者が自分勝手に漢字を書くことなく、筆順などの正しい知識を持った上での書字が、習得に大きく役立つと考えられる。

7章 終わりに

7.1 研究のまとめ

本論では、初級レベルにおける漢字の筆順指導の有効性を中心に、非漢字系日本語学習者の漢字習得に関する考察を行ってきた。その結果、筆順指導は正しい字形の再生に役立つことが実証された。さらに、筆順が漢字習得にも役立つことが予測される結果が得られた。また、漢字系と非漢字系の日本語学習者を同じクラス内に置くことで、ピア・ラーニングが見られ、相乗効果により漢字学習や習得に効果的であることが分かった。情意面に関しては、漢字に対して好意的であるかどうかは習得には関係ないことが分かった

本研究の仮説は以下の通りである。

【仮説 1】漢字指導において筆順指導を行った場合、漢字の習得促進に役立つ。

【仮説 2】正しい筆順は、きれいな字形の再生につながる。

【仮説 3】漢字に対して好意的である学習者は漢字の習得レベルも高い。

【仮説 4】混合クラスの方が、漢字の正しい字形の記憶率が高く、ピア・ラーニングなどの観点から非漢字系日本語学習者の漢字習得に効果的である。

仮説 1～4 のうち、実証されたのは 1, 2, 4 であった。仮説 3 は実証されなかった。

7.2 今後に向けて

漢字習得は、非漢字系日本語学習者にとって大きな課題であり、また、日本語学習を続けるにあたって避けては通れないものである。学習者と教師へのアンケート調査で得られた結果のように、いかに効果的な学習法を用いるのかが漢字習得には重要であり、それには筆順を考慮した学習が有効的であると言える。漢字習得とは、ただ字形を再生すればいいのではなく、正しい字形、きれいな字形の再生ができることを言う。成績さえ良ければ良い、形が不自然でも正解と評価されれば良いという考えは「習得」ではない。漢字学習は「記憶だ」という声を聞くが、その記憶を助ける方法として筆順の重要性を述べたい。

本論は、日本語学校内での習得のみを焦点としたが、日本語学校に在学する留学生の多くは日本の大学進学を目指して学習している。よって、本来であれば日本語学習者の「習得」には、大学が関わっていると言える。日本語学校レベルで漢字の習得度を設定するの

ではなく、大学レベルで設定しなければならない。大学による評価は、学部や教授によって違うだろう。日本語学習者の目指す習得が、どのレベルであれば大学に認められるのかということを経後の課題としたい。

注

- ¹ 平成 20 年 7 月 29 日，文部科学省より発表された。
- ² 大学の情報発信強化，渡日前入学許可の推進，各種手続きの渡日前決定促進，大学の在籍管理徹底と入国審査等の簡素化など。
- ³ 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）から平成 26 年 3 月に発表された。この調査は，日本国内の大学（大学院を含む），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）および日本国内の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設における外国人留学生の在籍状況（平成 25 年 5 月 1 日現在）を元に行っている。
- ⁴ ブシマキナ（2013）の実施したアンケート調査で，漢字圏出身の学習者が「漢字圏の学生（特に中国人）は日本語の漢字を簡単だと思いがちだが，私は漢字圏の学生にとっても漢字は難しいと思う。なぜなら，日本語の漢字の意味と中国語の漢字の意味とは間違えやすいので，それらの漢字の暗記が必要です。」と回答している。
- ⁵ 「…漢字のように複雑な画の組み合わせになると，そのつどお手本を見てかかってに書いたのでは，覚えることができない。漢字というのは，目で見ても覚えるよりも，手で書いて覚えるほうが効果的であり，それも一定の筆順に従って書くほうが覚えやすい。筆順というのは，漢字を覚えやすくするために強制するのであり，そのほうが学習者にとっても好都合なのである。」
「それぞれの文字の同一の構成成分は，一定の順序によって書かれるように整理されていることが，学習指導上効果的であり，能率的でもある。」
「…筆順の選定に当たっては，全体の形を整えやすくする面が考慮の対象となっている。」
「…漢字というのは，慣れてくると多少とも続け書きをするものである。このような続け書きが行書化であるが，当然のこととして，筆順に従って続けて書いていく。そのとき，筆順が異なると，でき上がった形も異なってしまう，読みにくくなるのである。…筆順というのは，覚えるため，整えるためだけでなく，崩れ方を一定にするためにも，絶対に必要なものである。」
- ⁶ 「筆順というのは，字全体の形が正しくしかもよく整った形に無理なく書くことができるようにと，長い間にわたって考案され，伝えられてきたものであるから，その方法にそって文字を書けば，最も効率的であり，また効果的であるということができる。

いいかえれば、筆順は最も形の整った美しい字を書くことのできるいちばんよい方法なのである。」

- 7 海保（1987：51）は、漢字の「字形」の特徴について、「部首のような字形の基本要素形を用意することによって、字、形の変動性を適度の幅におさえ、識別性が下がらない工夫がされている」と述べている。このような漢字の字形上の特徴を漢字パターンと呼び、人間が行う処理を漢字パターン認識、その能力を漢字パターン認識能力と呼ぶ。
- 8 学習漢字の定着が主目的ではなく、漢字の「字形」に対する見方や漢字の覚え方を指導するのが目的の指導法である。「日本語読み書きⅠ」を使用し、書く漢字の導入、練習、読む漢字の導入と練習、読解、読解文に含まれる文法項目を使用し簡単な文を作らせるなどの練習に加え、漢字の「字形」に対する記憶方法を「視覚型」（漢字を分解・組み立てたり、絵や図形化して視覚的に記憶させる）と、「聴覚型」（漢字の構成要素や語順などを物語や歌などの音声的な符号に置き換えさせ、連想法で記憶させる）に分け、指導を行った。
- 9 構成要素とは、部首に限らず、1つの漢字を形成する部分（パーツ）全般を指す。
- 10 「何」の右の3、4画目の部分を続けて書いた場合など。
- 11 ビリーフ（belife）とは、学習信念のことである。
- 12 文部省作成 昭和33年
- 13 文法テストでは、間違えそうなら漢字ではなく平仮名で解答するよう、テスト前に教師から学習者へ伝えられている。
- 14 学習目的によってクラス分けをしている日本語学校もある。国立大学進学クラス、私立大学進学クラス、ビジネス日本語クラスなどである。
- 15 メインテキストを使用した授業を指す。
- 16 東南アジアなどの中国文化の中で育った華人も漢字系に含む。
- 17 台湾、香港、マカオなどで使用されている字体を繁体字と呼び、中華人民共和国の文字改革によって制定された、字体を簡略化した漢字を簡体字と呼ぶ。
- 18 ハングル優越主義などがある。
- 19 17世紀にフランス人のイエズス会宣教師、アレクサンドル・ドゥ・ロードがベトナムでのカトリック教会布教の為に発明した。フランス植民地時代に改良され、1945年独立時に正式に紅葉文字となった。

- 20 但し、日本留学試験には記述試験が含まれる。
- 21 だいたいの目安。広島大学は最低 280 点以上、広島経済大学は 250 点以上取得で公募制推薦入試資格が得られる。(2014 年度)
- 22 現在、文部科学省ではそれぞれの基準で評価することを問題視しており、横断的なシステムである「GPA」の導入をしているところである。
- 23 成績のランクは全部で 5 段階で、優 (85-100 点)、良 (75-84 点)、中 (64-74 点)、及格 (60-63 点)、不及格 (60 点以下) としている。成績上位者は「優」を取った学習者の内、成績のいい者から順に 4 人を、成績下位者は「中」を取った学習者の内、成績のよくない者から順に 4 人を選んでいる。
- 24 伊古田は「ビリーフ」ではなく「ビリーフス」を使用している。
- 25 添付資料 1 を参照。
- 26 対象者は、来日前にベトナム国内で同じ日本語学校に在籍していたり、同じ仲介会社を経由して来日したことから、来日前の日本語学習環境が類似していると判断した。
- 27 2014 年 4 月現在では、英語、ローマ字 (英語)、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、ベトナム語、イタリア語、タイ語、インドネシア語の 12 種類が発行されている。
- 28 テキストの「はじめに」に記載。
- 29 全テストの結果は資料 2, 3 を参照。
- 30 添付資料 4, 5 を参照。
- 31 ビリーフ調査結果一覧は、添付資料 6, 7, 8, 9 を参照。
- 32 大学受験は基本的には本人判断に任せているが、レベルの問題で学校が受験を許可しない場合もある。
- 33 ヒューマンウェルフェア広島専門学校には、日本語学科の他に、介護福祉学科、IT システム学科がある。日本語学科を修了し、大学ではなく、IT システム学科へ内部進学する留学生もいる。
- 34 添付資料 10 を参照。
- 35 添付資料 11 を参照。

参考文献

- 秋山英治（2012）「国語教育・日本語教育における筆順指導の実態及び意識に関する研究」『漢字・日本語教育研究』第 1 号，公益財団法人日本漢字能力検定協会，pp.4-99
- 秋山英治（2013）「日本語教育における筆順指導の現状と課題」『愛媛大学法文学部論集，人文学科編』第 35 号，愛媛大学法文学部，pp.69-91
- 阿部新（2009）「スペイン・マドリードの大学における日本語学習者の言語学習ビリーフ」『名古屋外国語大学外国語学部紀要』第 37 号，名古屋外国語大学，pp.25-62
- 阿部新（2010）「言語学習ビリーフの多変量解析－調査項目のクラスター分析と数量化 III 類」『名古屋外国語大学外国語学部紀要』第 39 号，名古屋外国語大学，pp.71-90
- 安藤一秋・山下直子・山崎敏範（2002）「書き方を練習する日本語 CAL システム」『信学技報』，社団法人電子情報通信学会，pp.115-120
- 池田心（2010）「非漢字系日本語学習者の漢字学習初期段階における字形認識と習得」『文化外国語専門学校紀要』第 23 号，文化外国語専門学校，pp.39-65
- 池田庸子（2004）「非漢字系学習者のための漢字に関する基礎知識－漢字習得と動機付けの観点から－」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第 14 号，関西外国語大学，pp.19-30
- 池原明子（2014）「非漢字圏初級学習者への「漢字」指導－協働学習による初級非漢字圏学習者の学習成果」『JASS オーストラリア日本研究学会オンライン』，pp.1-15
- 伊古田絵里（2004）「成績上位者は学習開始直後にどのようなビリーフスをもっているか：モンゴル日本語専攻大学生の事例研究」『日本語教育方法研究会誌』第 11 号（2），日本語教育方法研究会，pp.38-39
- 板井美佐（1997）「言語学習についての中国人学習者の BELIEFS－上海復旦大学アンケート調査より」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』第 12 号，筑波大学留学生センター，pp.63-88
- ヴェントゥーラ フランチェスカ（2007）「フィリピン人日本語学習者と教師の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用－漢字教育の改善のために－」『日本言語文化研究会論集』第 3 号，日本言語文化研究会，pp.141-168
- 岡崎正道（1993）「日本語教育における漢字指導のあり方」『Artes liberales』第 52 号，岩手大学，pp.11-28

- 奥村智紀（1999）「表語性に重点をおかない漢字指導－入門機における実践を中心に－」『長崎大学留学生センター』紀要 7，長崎大学，pp.45-62
- 海保博之（1990）「外国人の漢字学習の認知心理学的諸問題：問題の整理と漢字指導法への展開」『日本語学』11月号，明治書院，pp.65-72
- 片桐準二（2005）「フィリピンにおける日本語学習者の言語学習 Beliefs－フィリピン大学日本語受講生調査から－」『国際交流基金日本語教育紀要』第1号，国際交流基金，pp.85-101
- 加納千恵子（1994）「漢字教育のためのシラバス案」『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』第9号，筑波大学，pp.41-50
- 川瀬生郎（1988）「日本語教育における漢字」『講座漢字 12 漢字教育』，明治書院，pp.273-296
- 川森めぐみ（2000）「漢字の筆順指導についての一考察」『日本語・日本文化』第26号，大阪大学，pp.49-59
- 古積拓見・中川正樹・蔡文杰・稲谷壮一郎（2014）「漢字を正しくきれいに書くことを学ぶための学習システム」『情報処理学会研究報告．コンピュータと教育研究会報告』，一般社団法人情報処理学会，pp.1-7
- 駒井利江（1993）「知覚運動過程を重視した漢字書字指導方略のための調査研究」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』第5号，早稲田大学，pp.1-26
- 西郷英樹（2007）「学習者の情意領域を意識した活動－学習者の想像力を生かす－」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第17号，関西外国語大学，pp.29-48
- 齋藤ひろみ（1996）「日本語学習者と教師のビリーフス－自律的学習にかかわるビリーフスの調査を通して－」『言語文化と日本語教育』，お茶の水女子大学日本言語文化学会，pp.58-69
- 酒井順子（1995）「『漢字早おぼえカード』を使った初級漢字の指導例」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』第21号，東京外国語大学，pp.73-96
- 清水百合（1998）「漢字学習のあり方に関する学習者の問題意識調査」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』第10号，筑波大学留学生センター，pp.29-39
- 須田実（1988）「日本語教育における漢字」『講座漢字 12 漢字教育』，明治書院，pp.65-85
- 高木裕子（1993）「非漢字系日本語学習者に対する漢字指導－パターン認識能力を活かした漢字指導とその問題点－」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』第3号，関西外国語大学，pp.57-76

- 高木裕子（1994）「漢字の構成素を中心にした非漢字系日本語学習者の漢字パターン認識能力における質的分析」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第4号，関西外国語大学留学生別科，pp.67-92
- 高木裕子（1995a）「非漢字系日本語学習者における漢字パターン認識能力と漢字習得に関する研究」『世界の日本語教育 日本語教育論集』5，独立行政法人国際交流基金，pp.125-138
- 高木裕子（1995b）「初めて漢字学習を行う非漢字系日本語学習者のための漢字指導」，川口義一・加納千恵子・酒井順子編著『日本語教師のための漢字指導アイデアブック』，創拓社，pp.197-240
- 高崎三千代（2006）「フィリピン・マニラ首都圏の大学における日本語学習者のビリーフ－歴史的・社会的背景の視点からの考察－」『国際交流基金日本語教育紀要』第2号，国際交流基金，pp.65-80
- 武部良明（1985）「入門課程の漢字指導－非漢字系学習者の場合－」『講座日本語教育』第21号，早稲田大学語学教育研究所，pp.89-104
- 武部良明（1989a）「日本語教育と漢字」『日本語学 特集漢字』6月号，明治書院，pp.88-90
- 龍岡亮二・吉村ミツ（1996）「外国人・小学生を対象にした漢字教育支援システムの開発」『電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学』第96号，一般社団法人電子情報通信学会，pp.103-110
- 玉村文郎（1993）「日本語における漢字－その特徴と教育－」『日本語教育』80号，pp.1-14
- 田村泰男（1996）「日本語上級学習者が用いる漢字の筆順に関する一考察」『広島大学留学生センター紀要』第6号，広島大学留学生センター，pp.15-26
- 豊田悦子（1995）「漢字学習に対する学習者の意識」『日本語教育』第85号，日本語教育学会，pp.101-113
- 成田高弘（1998）「日本語学習動機と成績との関係－タイの大学生の場合－」『世界の日本語教育. 日本語教育論集』第8号，独立行政法人国際交流基金，pp.1-11
- 西田直敏（1963）「外国人に対する漢字教育」『日本語教育』2号，pp.27-45
- 西山友恵（2006）「漢字クラスにおけるピア・ティーチング」『WEB版日本語教育実践研究フォーラム報告』，pp.1-9
- 濱田美和・高島智美・市島祐起子（2006）「短時間学習を意識した初級日本語教材の開発とその効果－初級漢字教科書『留学生のための毎日の KANJI』」『富山大学留学生センター紀要』，第5号，富山大学留学生センター，pp.17-25

- 林朝子（2010）「毛筆を生かした漢字指導の試み：“読みやすい”漢字書字に向けて」『三重大学教育学部附属教育実践総合センター紀要』第30号，三重大学教育学部附属教育実践総合センター，pp.31-37
- 林奈実（2010）「日本語教育における中級学習者向け漢字教材の分析」『東京外国語大学日本研究教育年報』第15号，東京外国語大学日本課程，pp.97-109
- 藤田真一・林俊成・成田誠之助（2001）「外国人対象のペン入力漢字書き取り指導システムの試作」『日本教育工学雑誌』第25号（2），日本教育工学会，pp.129-138
- ブシマキナ アナスタシア（2013a）「ロシア人日本語学習者の漢字学習についてのビリーフ：ロシアの高等教育機関にて日本語を学んでいる学生に対するアンケート調査を元に」『人間社会環境研究』第26号，金沢大学大学院人間社会環境研究科，pp.205-218
- ブシマキナ アナスタシア（2013b）「JSL 日本語学習者の漢字学習に対する意識：JSL 日本語額取捨へのアンケート調査を通じて」『金沢大学留学生センター紀要』第16号，金沢大学留学生センター，pp.45-61
- 堀口純子（1978）「テレビによる漢字の筆順テスト」『日本語教育』第34号，日本語教育学会，pp.67-72
- 松本雅美（2013）「日本語学習入門期における非漢字圏の外国人のための新しい漢字導入法の効果の検証研究」『漢字・日本語教育研究』第3号，公益財団法人日本漢字能力検定協会，pp.98-136
- 三輪譲二（2008）「iPhone 向きの連合漢字学習システムの開発」『日本教育工学会第24回全国大会』1a-A207-06，pp.231-232
- 三輪譲二（2010）「手書き漢字認識システムを用いた自律型漢字学習支援」『ICJLE2010 世界日本語教育大会 台湾』pp.1-4
- 柳田しのぶ（2011）「非漢字圏日本語学習者における漢字学習への意識：フランスの大学生を対象に」『JSL 漢字学習研究会誌』第3号，JSL 漢字学習研究会，pp.8-13
- 横山直子（2010）「ベトナム人日本語学習者の日本語学習ビリーフ - ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学の場合」『WEB 公開国際会議日本語ワークショップ』，ハノイ国家大学外国語大学
- 吉村弓子（1989）「漢字の指導」『講座日本語と日本語教育』第13号，明治書院，pp.219-237
- 若井誠二・岩澤和宏（2004）「ハンガリー人日本語学習者のビリーフス」『日本語国際センター紀要』第14号，国際交流基金日本語国際センター，pp.123-140

- 和田衣世（2007）「スリランカの大学生の言語学習ビリーフから日本語教育の改善を考える」
『国際交流基金日本語教育紀要』第3号，独立行政法人国際交流基金，pp.13-28
- Erdene Yadamsulen Bato・李相穆・杉浦謙介・佐藤滋（2006）「非漢字圏日本語学習者のための漢字学習支援システムの構築と評価」『言語処理学会第10回年次大会発表論文集』，言語処理学会，pp.216-219
- Fujimura, O. and R. Kagaya（1969）Structural Patterns of Chinese Characters, *Annual Bulletin* (Research Institute of Logopedics and Phoniatrics, University of Tokyo)
- Horwitz, E. K.（1987）“Surveying student’s Beliefs about language learning.” in Wenden, Anita & J. Rubin（eds）. *Learner Strategies in Language Learning*. London : Prentice-Hall, pp.119-129
- Lussy Novarida Ridwan（2011）「インドネシアの大学における初級日本語学習者の漢字意識調査」『JSL 漢字学習研究会誌』第3号，JSL 漢字学習研究会，pp.1-7
- Shimizu, H.（1999）*Language teachers’ attitudes towards teaching kanji in the Japanese language curriculum*. Doctoral Dissertation : University of Denver.

参考図書

- 江守賢治（2012）『漢字筆順ハンドブック - 正しくきれいな字を書くための 第三版』三省堂
- 川口義一・加納千恵子・酒井順子他編著（1995）『日本語教師のための漢字指導アイデアブック』，創拓社
- 川口義一・横溝紳一郎（2005）『成長する教師のための日本語教育ガイドブック（下）』，ひつじ書房
- 武部良明（1989b）『漢字の教え方』，アルク
- 舘岡洋子（2005）『ひとりで読むことからピア・リーディングへ 日本語学習者の読解過程と対話的協働学習』，東海大学出版会
- 西野章代（1995）『漢字指導アイデアブック』川口義一他編，創拓社，pp.164-172
- 日本漢字能力検定協会（1995）『新漢字必携 - 文部省認定 漢検 2 級コース - 』

資料 1 筆順調査用紙

筆順に関する調査

左の漢字を見ながら、右に書いて下さい。
筆順をビデオで撮影します。

年 月 日

No. _____

名前 _____

口		飛		手	
住		身		所	
市		学		回	
枚		院		不	
方		半		理	
何		魚		男	

資料 2 主教材試験の成績

使用テキスト：みんなの日本語 初級Ⅰ，Ⅱ

単一クラス

課	1～3	4～7	8～12	13～16	17～19	20～22	23～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	平均
満点	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
実施日	2013/10/31	2013/11/13	2013/11/27	2013/12/9	2013/12/18	2014/1/14	2014/1/22	2014/2/5	2014/2/19	2014/3/4	2014/3/17	2014/4/15	
A	96	95	98	91	93	91	86	91	92	88	88	88	91.4
B	97	82	88	87	91	93	79	86	92	80	84	79	86.5
C	93	61	65	60	84	90	73	75	90	88	90	89	79.8
D	90	60	52	42	58	43	54	44	59	74	74	73	60.3
E	85	79	83	76	75	81	56	30	46	55	57	48	64.3
F	48	25	26	24	40	22	26	18	45	54	52	54	36.2

混合クラス

課	1～3	4～7	8～12	13～16	17～19	20～22	23～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	平均
満点	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
実施日	2014/5/8	2014/5/21	2014/6/4	2014/6/11	2014/6/17	2014/6/23	2014/6/27	2013/7/10	2014/7/23	2014/9/2	2014/9/12	2014/10/3	
G	94	98	100	85	98	93	85	88	81	90	83	95	90.8
H	92	95	76	89	82	74	71	49	69	73	79	72	76.8
I	99	94	91	91	96	89	91	85	97	90	89	81	91.1
J	97	92	88	80	90	69	68	69	62	68	81	81	78.8

資料 3 漢字試験の成績

使用テキスト：1 日 15 分の漢字練習（上）

単一クラス

課, 頁	1～30	31～84	85～126	127～156	157～186	187～216	217～264	265～271 pp. 96-107	pp. 108-123	pp. 124-139	pp. 140-155	平均
満点	(30)		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	
実施日	2013/11/13	2013/11/27	2013/12/9	2013/12/18	2014/1/14	2014/1/22	2014/2/5	2014/2/19	2014/3/4	2014/3/17	2014/4/15	
A	30	記録なし	29	28	30	27	29	30	29	30	27	28.9
B	28		19	25	13	18	27	30	29	24	21	23.4
C	19		17	22	20	18	26	29	27	27	23	22.8
D	16		4	6	8	14	16	24	24	25	21	15.8
E	14		11	10	12	8	22	30	16	16	11	15.0
F	12		7	4	1	0	18	17	16	12	6	9.3

※2 回目の試験は実施されたが，結果が記録されていなかったことから，平均値に加えることができなかった。

混合クラス

課, 頁	1～54	55～108	109～126	127～138	139～156	157～174	175～210	211～240	241～276	pp. 95-118	pp. 119-	平均
満点	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(50)	(50)	
実施日	2014/5/21	2014/6/4	2014/6/11	2014/6/17	2014/6/23	2014/6/27	2013/7/10	2014/7/23	2014/9/2	2014/9/12	2014/10/3	
G	27	27	27	27	18	30	20	19	27	45	42	24.9
H	29	16	29	26	23	29	26	25	19	46	40	24.9
I	23	15	27	26	23	29	24	25	24	45	43	24.4
J	25	13	29	28	19	30	27	21	24	46	41	24.4

※50 点満点のテストの結果は，30 点満点に換算し，平均を出した。

資料 4 ビリーフアンケート用紙<ベトナム語版>

漢字学習に関するアンケート

年 月 日

No. _____

Đây là bảng điều tra liên quan về việc học chữ Hán.

Hãy trả lời thành thật. Mong nhận được sự giúp đỡ.

(1) Danh mục cơ bản

1. Tuổi : _____ Tên : _____ Giới tính : ☐ nam ☐ nữ
2. Bạn cùng thầy cô học được bao nhiêu năm rồi? : _____ năm _____ tháng
3. Trước khi học tiếng Nhật, bạn đã từng học chữ hán bao giờ chưa? : ☐ Yes ☐ No
4. Trong nhà của bạn, có người nào từng học đã từng học tiếng Nhật chưa? : ☐ Yes ☐ No
5. Bạn đã từng học ngoại ngữ bao giờ chưa? : ☐ Yes ☐ No (Yes → _____)
6. Bạn muốn nâng cao năng lực tiếng nhật như thế nào?

(Hãy khoanh lần lượt các mục mà bạn muốn nâng cao khả năng chẳng hạn như.)

_____ hội thoại _____ nghe _____ phát âm _____ viết văn
_____ chữ hán _____ đọc hiểu _____ từ vựng

7. Hãy khoanh tròn vào chữ Mềm.

ク 加 コ ス や 台 汐 す ヒ 弁 仁 み 刈

8. Hãy khoanh tròn vào chữ Cứng.

ク 加 コ ス や 台 汐 す ヒ 弁 仁 み 刈

9. Hãy khoanh tròn vào chữ Hán.

ク 加 コ ス や 台 汐 す ヒ 弁 仁 み 刈

10. Hãy viết chữ hán mà mình biết.

1	2	3	4	5

11. [Trả lời tự do] Bạn nghĩ chữ Hán thế nào? (Bảng tiếng Việt)

--

(2) Hãy khoanh tròn từ dưới đây nếu bạn cho là:

Đồng ý / Nghi như vậy / Chưa biết / Không nghi như vậy / Hoàn toàn không nghi như vậy						
		1	2	3	4	5
1	Chữ Hán đơn giản.					
2	Bạn có nghĩ việc học chữ Hán là quan trọng.					
3	Bạn có thấy khi học cách đọc chữ Hán thú vị không.					
4	Bạn có thấy khi học cách viết chữ Hán thú vị không.					
5	Bạn nghĩ học chữ Hán sẽ cần phải có trí nhớ.					
6	Có chữ Hán dễ nhớ có chữ Hán khó nhớ.					
7	Bạn có nghĩ nếu có nỗ lực thì ai cũng có thể giỏi chữ Hán.					
8	Bạn muốn viết và đọc chữ Hán giỏi không?					
9	Bạn có nghĩ khi viết và đọc được chữ Hán thì sẽ có được công việc tốt.					
10	Khi biết chữ Hán thì sẽ dễ sinh hoạt tại Nhật Bản.					
11	Nỗ lực đọc chữ Hán quan trọng hơn nỗ lực viết chữ Hán.					
12	Bạn muốn học chữ Hán để có thể đọc được các tấm bảng quảng cáo, thông báo bằng tiếng Nhật rất cần thiết trong cuộc sống sinh hoạt tại Nhật.					
13	Bạn muốn học chữ Hán để có thể đọc trang web bằng tiếng Nhật.					
14	Lý do bạn học chữ Hán có phải là muốn mình có thể đọc được sách, và báo bằng tiếng Nhật không?					
15	Bạn muốn học chữ Hán để có thể đọc được sách chuyên môn.					
16	Lý do bạn học chữ Hán có phải muốn đạt kết quả tốt trong kỳ thi năng lực tiếng Nhật không?					
17	Để nâng cao năng lực tiếng Nhật cần phải học chữ Hán.					

18	Bạn có nghĩ những sinh viên tới từ Việt Nam thì sẽ học giỏi chữ Hán.					
19	Bạn có nghĩ những người giỏi trong việc đối thoại thì cũng giỏi chữ Hán.					
20	Bạn có nghĩ những người giỏi trong việc học thì sẽ học giỏi chữ Hán.					
21	Bạn có nghĩ những người vẽ hình họa, tranh thì sẽ học giỏi chữ Hán.					
22	Bạn có nghĩ mình phải viết chữ Hán đẹp.					
23	Bạn có nghĩ nếu không có giáo trình chữ Hán thì sẽ không học được.					
24	Học chữ hán mất thời gian.					
25	Bạn có nghĩ việc học chữ Hán điều quan trọng nhất phải luyện tập đi luyện tập lại.					
26	Ngoài giờ học ra thì tự mình học chữ Hán là cần thiết đúng không?					
27	Bạn có nghĩ điều quan trọng nhất trong việc học chữ Hán đó là nhớ được cách đọc chữ Hán.					
28	Bạn có nghĩ việc học chữ Hán điều quan trọng nhất đó là nhớ được nghĩa của chữ Hán.					
29	Nếu hiểu được quy tắc, cách sử dụng chữ Hán thì sẽ dễ học hơn.					
30	Tiếng Nhật khi viết bằng chữ Hán sau đó tưởng tượng sẽ dễ hiểu hơn chữ mềm.					
31	Bạn có nghĩ điều cần thiết khi học chữ Hán phải viết đúng nét theo quy tắc.					
32	Bạn có biết chữ hán có bộ không?					
33	Cách viết chữ Hán thì khó.					
34	Cách đọc chữ Hán khó.					

35	Để hiểu được chữ Hán thì rất là khó.					
36	Việc viết chữ Hán thì khó hơn là đọc chữ Hán.					
37	Cách phân biệt và sử dụng chữ Hán thì khó.					
38	Ngoài việc đọc, viết, thì việc lý giải chữ Hán cũng rất khó.					
39	Khó nhớ chữ Hán mà có nhiều nét.					
40	Bạn có nghĩ cần chú ý thứ tự cách viết chữ Hán.					
41	Hiện nay mọi người thường sử dụng máy tính nhiều , nên không cần học nhiều chữ hán , bạn có nghĩ như vậy không.					
42	Bạn không thích học cách đọc chữ Hán.					
43	Bạn không thích học cách viết chữ Hán.					
44	Người từ 40 tuổi trở lên thì việc học chữ Hán sẽ khó khăn.					
45	Việc đọc và viết chữ Hán có trở ngại cho việc học tiếng Nhật.					
46	Việc học chữ Hán chủ yếu làm tăng thêm vốn từ bạn có nghĩ như vậy?					
47	Bạn có nghĩ không giỏi chữ Hán đồng nghĩa với việc tiếng Nhật không thể giỏi được.					
48	Không cần thiết là phải viết được hết chữ Hán.					
49	Không cần thiết là phải đọc được hết chữ Hán.					
50	Nếu như có vẻ chưa chắc chắn thì không nên viết chữ Hán bạn có nghĩ như vậy?					
51	Bạn có nghĩ đất nước mà sử dụng chữ Hán thì sẽ học chữ Hán dễ hơn so với đất nước mà không sử dụng chữ Hán.					
52	Bạn có nghĩ người giỏi chữ Hán sẽ có cơ hội tìm được công việc tốt.					
53	Bạn có nghĩ khi đọc và viết được chữ Hán thì sẽ được mọi người xung quanh, nhà trường, nơi làm việc tôn trọng mình ?					
54	Bạn nghĩ mình có thể học được chữ Hán một cách dễ dàng.					

55	Tự mình đặt ra phương pháp và tiến độ học chữ Hán là hiệu quả nhất.					
56	Cách học chữ Hán giỏi đó là hỏi các bạn trong lớp bạn có nghĩ như vậy không ?					
57	Khi học chữ Hán điều không thể thiếu đó là luyện tập và học lại nhiều lần bạn có nghĩ như vậy?					
58	Bạn có nghĩ khi học chữ Hán thì học người Nhật là tốt nhất.					
59	Bạn có nghĩ cứ không có giáo viên thì sẽ không học được chữ Hán.					
60	Phương pháp học chữ Hán có hiệu quả nhất thì thầy cô giáo là người hiểu rõ nhất bạn có biết điều đó không.					
61	Việc học chữ Hán không có tiến triển, nhưng bạn có nghĩ đó là trách nhiệm về cách giảng dạy của giáo viên.					
62	Ví dụ tuy cách học của mỗi người khác nhau nhưng nên nghe theo lời khuyên của giáo viên bạn có nghĩ như vậy không.					
63	Bạn có nghĩ khi học chữ Hán thì nên tham gia giờ học chữ Hán.					
64	Cách học chữ Hán giỏi đó là hỏi các bạn trong lớp bạn có nghĩ như vậy không ?					
65	Nếu cố gắng thì sẽ học thành công chữ Hán bạn có nghĩ như vậy?					

Chân thành cảm ơn

資料5 ビリーフアンケート用紙＜日本語版＞

漢字学習に関するアンケート

年 月 日

No. _____

(1) 基本項目

1. 年齢：_____ 名前：_____ 性別：□男性 □女性
2. 先生と一緒に日本語を勉強して何年経っていますか。：_____年_____か月
3. 日本語を勉強する前に、漢字を勉強したことがありますか。：□ある □ない
4. 家族の中に、日本語を勉強したことがある人がいますか。：□いる □いない
5. あなたは外国語を勉強したことがありますか。：□ある □ない（ある→_____）
6. 日本語のどの能力を上達させたいですか。（上達させたい順に番号をつけてください）

_____会話 _____聴解 _____発音 _____文字作文
_____漢字 _____読解 _____語彙

7. ひらがなに○をつけてください。

ク 加 コ ス や 台 汐 す ヒ 弁 仁 み 刈

8. カタカナに○をつけてください。

ク 加 コ ス や 台 汐 す ヒ 弁 仁 み 刈

9. 漢字に○をつけてください。

ク 加 コ ス や 台 汐 す ヒ 弁 仁 み 刈

10. 知っている漢字を書いてください。

1	2	3	4	5

11. 【自由回答】漢字をどう思いますか。

--

(2) 一番当てはまるものに○をつけてください。

		非常に思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない
		1	2	3	4	5
1	漢字は簡単だ。					
2	漢字を勉強することは大切だ。					
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。					
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。					
5	漢字は記憶力が必要だ。					
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。					
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。					
8	漢字の読み書きが上手になりたい。					
9	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。					
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。					
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。					
12	日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。					
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。					
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。					
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。					
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。					
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。					
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。					
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。					

20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。					
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。					
22	漢字をきれいに書かなければならない。					
23	漢字の教科書がないと学習ができない。					
24	漢字学習は時間がかかる。					
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。					
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。					
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。					
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。					
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。					
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。					
31	漢字学習には筆順が必要である。					
32	漢字に部首があることを知っている。					
33	漢字の書きが難しい。					
34	漢字の読みが難しい。					
35	漢字の意味の理解が難しい。					
36	漢字の読みより書きのほうに難しい。					
37	漢字の使い分けが難しい。					
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。					
39	画数の多い漢字は覚えにくい。					
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。					
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。					
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。					
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。					
44	40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。					

45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。					
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。					
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。					
48	すべての漢字が書ける必要はない。					
49	すべての漢字が読める必要はない。					
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。					
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人の方が習得しやすい。					
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。					
53	漢字の読み書きができると、職場や学校などの周りの人に尊敬される。					
54	漢字の習得は易しい。					
55	自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。					
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。					
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。					
58	漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。					
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。					
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。					
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。					
62	たとえ自分のやり方とは違っていても教員のアドバイスに従う。					
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。					
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。					
65	努力すれば、漢字学習に成功する。					

ありがとうございました

資料 6 単ークラスのピリープ調査結果

漢字学習の難易度に関するピリープ	2013/11/5							2014/5/7									
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	
	54	漢字の習得は易い。	3	1	3	1	3	2	2.17	0.90	4	4	3	1	3	2	2.83
1	漢字は簡単だ。	2	1	1	2	1	3	1.67	0.75	2	1	1	1	2	2	1.50	0.50
33	漢字の書きが難しい。	3	3	3	5	4	1	3.17	1.21	1	4	4	5	4	2	3.33	1.37
34	漢字の読みが難しい。	4	3	3	3	5	3	3.50	0.76	1	2	4	3	4	3	2.83	1.07
35	漢字の意味の理解が難しい。	4	3	3	4	2	2	3.00	0.82	2	2	4	1	2	2	2.17	0.90
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。	5	4	3	5	5	5	4.50	0.76	4	2	3	5	3	1	3.00	1.29
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	5	4	3	5	3	3	3.83	0.90	5	3	4	5	4	5	4.33	0.75
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	3	5	2	1	1	3	2.50	1.38	1	4	2	4	4	2	2.83	1.21
37	漢字の使い分けが難しい。	5	4	3	4	5	4	4.17	0.69	5	5	3	D	3	2	3.60	1.73

漢字学習適性に関するピリープ	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差		
	21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	1	3	3	1	5	3	2.67	1.37
	20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	2	3	4	1	5	2	2.83	1.34
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	5	1	5	5	4	2	3.67	1.60	
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	2	1	4	2	4	2	2.50	1.12	
5	漢字は記憶力が必要だ。	2	5	5	5	5	4	4.33	1.11	
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	1	1	3	1	1	1	1.33	0.75	
44	40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	1	5	2	3	3	2	2.67	1.25	

漢字学習の性質に関するピリープ	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差		
	27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4	4	4	4	5	3	4.00	0.58
	47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	1	3	3	1	4	2	2.33	1.11
24	漢字学習は時間がかかる。	2	4	2	5	1	1	2.50	1.50	
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	3	3	4	5	4	5	4.00	0.82	
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。	2	1	2	1	2	3	1.83	0.69	
58	漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。	2	1	3	1	4	2	2.17	1.07	
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	5	4	4	5	5	5	4.67	0.47	
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4	5	4	5	5	3	4.33	0.75	
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	5	4	4	5	5	5	4.67	0.47	
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4	3	5	4	5	4	4.17	0.69	
48	すべての漢字が書ける必要はない。	5	1	2	1	2	3	2.33	1.37	
49	すべての漢字が読める必要はない。	4	1	3	1	2	3	2.33	1.11	
39	画数の多い漢字は覚えにくい。	3	4	3	5	5	3	3.83	0.90	
31	漢字学習には筆順が必要である。	4	2	4	5	5	3	3.83	1.07	
32	漢字に部首があることを知っている。	4	2	3	5	5	4	3.83	1.07	

漢字学習の動機と期待に関するピリープ																	
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差		A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差
14	日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。	4	4	5	5	5	2	4.17	1.07	2	4	5	2	5	4	3.67	1.25
16	日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。	5	2	5	5	5	5	4.50	1.12	5	3	5	5	4	3	4.17	0.90
13	日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	3	2	4	5	5	5	4.00	1.15	5	4	5	5	4	4	4.50	0.50
52	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	3	1	5	5	5	3	3.67	1.49	4	4	5	5	4	5	4.50	0.50
15	専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。	4	5	5	5	5	5	4.83	0.37	3	4	5	2	5	5	4.00	1.15
8	漢字の読み書きが上手になりたい。	5	5	5	5	5	4	4.83	0.37	5	5	5	5	5	5	5.00	0.00
12	日本での日常生活の中で必要なのは本語の看板やお知らせが読めるようにするためにから漢字を勉強している。	4	5	5	5	5	5	4.83	0.37	4	4	5	5	4	5	4.50	0.50
漢字の有効性に関するピリープ																	
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差		A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差
2	漢字を勉強することは大切だ。	5	5	4	5	5	5	4.80	0.40	5	5	5	5	5	5	5.00	0.00
10	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	5	5	4	5	5	5	4.83	0.37	5	4	5	4	5	5	4.67	0.47
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	3	5	5	5	5	5	4.67	0.75	5	5	5	5	4	5	4.83	0.37
53	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。	4	1	3	1	2	3	2.33	1.11	4	3	3	1	2	4	2.83	1.07
30	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。	3	3	4	5	3	4	3.67	0.75	5	3	4	2	3	5	3.67	1.11
9	漢字の読み書きができるという仕事に就ける。	3	5	4	5	5	5	4.50	0.76	4	4	5	3	4	5	4.17	0.69
41	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	3	4	2	1	1	2	2.17	1.07	2	1	3	1	2	1	1.67	0.75
情意面に関するピリープ																	
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差		A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差
3	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	2	4	5	5	5	3	4.00	1.15	4	1	5	5	5	5	4.17	1.46
4	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	4	4	5	5	5	3	4.33	0.75	5	2	5	5	4	5	4.33	1.11
42	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	4	5	1	1	1	1	2.17	1.67	2	4	2	1	2	2	2.17	0.90
43	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	2	5	1	1	1	1	1.83	1.46	1	4	2	1	2	2	2.00	1.00
自習学習と漢字学習の指導に関するピリープ																	
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差		A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差
26	授業以外でも漢字の自習が必要だ。	5	4	4	5	5	5	4.67	0.47	5	5	5	5	5	5	5.00	0.00
55	自分で漢字学習方法や進捗を決めるのが一番効果的である。	4	5	3	5	4	5	4.33	0.75	5	3	5	5	4	5	4.50	0.76
60	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3	1	3	3	4	5	3.17	1.21	3	4	2	3	5	2	3.17	1.07
23	漢字の教科書がないと学習ができない。	2	1	3	2	5	3	2.67	1.25	1	2	3	3	4	2	2.50	0.96
56	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	2	5	2	5	3	2	3.17	1.34	1	4	2	5	3	2	2.83	1.34
64	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	2	3	3	5	3	2	3.00	1.00	1	4	3	4	4	1	2.83	1.34
62	たとえ自分のやり方とは違っても教員のアドバイスに従う。	4	2	4	5	4	4	3.83	0.90	4	3	3	5	4	4	3.83	0.69
61	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	2	1	2	1	2	2	1.67	0.47	1	4	3	1	4	2	2.50	1.26
22	漢字をきれいに書かなければならない。	4	4	3	3	5	3	3.67	0.75	4	4	3	2	4	2	3.17	0.90
40	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4	4	4	5	4	5	4.33	0.47	4	3	5	5	4	5	4.33	0.75
50	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	5	1	3	5	4	1	3.17	1.67	2	1	3	5	4	1	2.67	1.49
65	努力すれば、漢字学習に成功する。	5	2	5	5	5	5	4.50	1.12	5	5	5	5	5	5	5.00	0.00
46	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	4	4	4	1	4	5	3.67	1.25	5	3	4	5	4	4	4.17	0.69
57	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	5	5	4	5	5	5	4.83	0.37	5	2	5	5	4	4	4.17	1.07
11	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	5	4	3	2	2	1	2.83	1.34	5	2	2	5	2	2	3.00	1.41
6	覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。	5	5	4	5	5	5	4.83	0.37	4	1	5	5	5	5	4.17	1.46

資料 7 混合クラスのピリープ調査結果

漢字学習の難易度に関するピリール		2014/4/22					2014/10/28							
		G	H	I	J	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差	
54	漢字の習得は易しい。		3	3	3	3.00	0.00	3	3	5	3	3.50	0.87	
1	漢字は簡単だ。		1	2	1	3	1.75	0.83	2	2	1	2	1.75	0.43
33	漢字の書きが難しい。		5	4	4	5	4.50	0.50	2	2	1	5	2.50	1.50
34	漢字の読みが難しい。		5	4	3	5	4.25	0.83	4	4	5	5	4.50	0.50
35	漢字の意味の理解が難しい。		4	3	4	2	3.25	0.83	2	2	3	2	2.25	0.43
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。		4	4	3	2	3.25	0.83	3	2	3	2	2.50	0.50
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。		4	4	5	2	3.75	1.09	3	4	3	3	3.25	0.43
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。		2	2		2	2.00	0.00		4	3	5	4.00	0.82
37	漢字の使い分けが難しい。		4	4	3	2	3.25	0.83	3	4	3	3	3.25	0.43

漢字学習適性に関するピリール		2014/4/22					2014/10/28							
		G	H	I	J	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差	
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。		3	3	3	2	2.75	0.43	3	2	1	2	2.00	0.71
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。		3	3	3	2	2.75	0.43	3	2	1	1	1.75	0.83
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。		3	5	5	5	4.50	0.87	3	5	5	3	4.00	1.00
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。		3	3	4	2	3.00	0.71	2	3	1	2	2.00	0.71
5	漢字は記憶力が必要だ。		5	4	5	2	4.00	1.22	4	5	5	2	4.00	1.22
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。		3	2	3	2	2.50	0.50	3	2	1	2	2.00	0.71
44	40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。		3	3	3	2	2.75	0.43	3		3	3	3.00	0.00

漢字学習の性質に関するピリール		2014/4/22					2014/10/28							
		G	H	I	J	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差	
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。		1	4	5	2	3.00	1.58	4	5	5	5	4.75	0.43
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。		3	4	5	2	3.50	1.12	4	4	3	4	3.75	0.43
24	漢字学習は時間がかかる。		2	2	5	2	2.75	1.30	2	1	5	1	2.25	1.64
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。		5	5	5	5	5.00	0.00	4	5	5	4	4.50	0.50
59	教師がいないと、漢字の学習はできない。		3	3	2	5	3.25	1.09	3	2	1	3	2.25	0.83
58	漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。		3	4	5	2	3.50	1.12	4	3	5	4	4.00	0.71
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。		4	5	5	5	4.75	0.43	5	5	5	5	5.00	0.00
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。		4	4	5	5	4.50	0.50	3	4	5	5	4.25	0.83
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。		4	5	5	5	4.75	0.43	4	5	5	5	4.75	0.43
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。			5	5	2	4.00	1.41	4	5	5	5	4.75	0.43
48	すべての漢字が書ける必要はない。		2	2	1	2	1.75	0.43	2	2	3	2	2.25	0.43
49	すべての漢字が読める必要はない。		2	2	1	2	1.75	0.43	2	2	3	2	2.25	0.43
39	画数の多い漢字は覚えにくい。		4	4	1	5	3.50	1.50	3	5	5	3	4.00	1.00
31	漢字学習には筆順が必要である。		5	5	5	5	5.00	0.00	4	5	5	5	4.75	0.43
32	漢字に部首があることを知っている。		5	3	5	5	4.50	0.87	5	5	5	5	5.00	0.00

漢字学習の動機と期待に関するポリーフ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
14 日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。							4	5	5	5	4.75	0.43
16 日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。							5	5	5	5	5.00	0.00
13 日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。							4	4	5	5	4.50	0.50
52 漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。							4	4	5	4	4.25	0.43
15 専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。							5	5	5	5	5.00	0.00
8 漢字の読み書きが上手になりたい。							5	5	5	5	5.00	0.00
12 日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。							4	4	5	5	4.50	0.50
漢字の有効性に関するポリーフ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
2 漢字を勉強することは大切だ。							4	5	5	5	4.67	0.47
10 漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。							5	5	5	5	5.00	0.00
17 日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。							5	5	5	5	5.00	0.00
53 漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。							3		4	2	3.00	0.82
30 漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。							4	3	3	5	3.75	0.83
9 漢字の読み書きができるという仕事に就ける。							5	5	5	5	5.00	0.00
41 現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。							1		1	2	1.33	0.47
情 意 面 に 関 す る ポ リ ー フ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
3 漢字の読み方を勉強するのが楽しい。							4	3	4	5	4.00	0.71
4 漢字の書き方を勉強するのが楽しい。							4	3	4	5	4.00	0.71
42 漢字の読み方を勉強するのが好きではない。							2	2	1	2	1.75	0.43
43 漢字の書き方を勉強するのが好きではない。							2	2	1	2	1.75	0.43
自 習 学 習 と 漢 字 学 習 の 指 導 に 関 す る ポ リ ー フ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
26 授業以外でも漢字の自習が必要だ。							5	5	5	5	5.00	0.00
55 自分で漢字学習方法や進捗を決めるのが一番効果的である。							4	4	4		4.00	0.00
60 最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。							3	4	2	5	3.50	1.12
23 漢字の教科書がないと学習ができない。							4	3	5	5	4.25	0.83
56 学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。							3		2	2	2.33	0.47
64 漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。							3	4	5	5	4.25	0.83
62 たとえ自分のやり方とは違っても教員のアドバイスを従う。							4	4	5	5	4.50	0.50
61 漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。							2	2	2	1	1.75	0.43
22 漢字をきれいに書かなければならない。							4	5	4	2	3.75	1.09
40 漢字の書き順に注意を払わなければならない。							5	2	5	5	4.25	1.30
50 間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。							3	2	1	2	2.00	0.71
65 努力すれば、漢字学習に成功する。							5	5	5	5	5.00	0.00
46 漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。							4	4	2	5	3.75	1.09
57 漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。							4	5	5	5	4.75	0.43
11 漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。							3	4	3	1	2.75	1.09
6 覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。							4	4	5	5	4.50	0.50
漢字学習の動機と期待に関するポリーフ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
14 日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。							5	5	5	5	5.00	0.00
16 日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。							5	5	5	5	5.00	0.00
13 日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。							4	4	5	5	4.50	0.50
52 漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。							4	4	5	4	4.25	0.43
15 専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。							5	5	5	5	5.00	0.00
8 漢字の読み書きが上手になりたい。							5	5	5	5	5.00	0.00
12 日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようになりたいから漢字を勉強している。							4	4	5	5	4.50	0.50
漢字の有効性に関するポリーフ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
2 漢字を勉強することは大切だ。							5	5	5	5	5.00	0.00
10 漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。							5	4	5	4	4.50	0.50
17 日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。							5	5	5	5	5.00	0.00
53 漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。							3	2	5	3	3.25	1.09
30 漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。							3	4	3	5	3.75	0.83
9 漢字の読み書きができるという仕事に就ける。							5	4	5	2	4.00	1.22
41 現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。							1	2	1	1	1.25	0.43
情 意 面 に 関 す る ポ リ ー フ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
3 漢字の読み方を勉強するのが楽しい。							4	4	5	5	4.50	0.50
4 漢字の書き方を勉強するのが楽しい。							5	4	5	5	4.75	0.43
42 漢字の読み方を勉強するのが好きではない。							2	2	1	2	1.75	0.43
43 漢字の書き方を勉強するのが好きではない。							2	2	1	2	1.75	0.43
自 習 学 習 と 漢 字 学 習 の 指 導 に 関 す る ポ リ ー フ							G	H	I	J	平均値	標準偏差
26 授業以外でも漢字の自習が必要だ。							5	5	5	5	5.00	0.00
55 自分で漢字学習方法や進捗を決めるのが一番効果的である。							4	4	5	4	4.25	0.43
60 最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。							4	3	5	4	4.00	0.71
23 漢字の教科書がないと学習ができない。							4	4	5	3	4.00	0.71
56 学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。							4	2	5	4	3.75	1.09
64 漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。							4	4	5	4	4.25	0.43
62 たとえ自分のやり方とは違っても教員のアドバイスを従う。							4	4	5	4	4.25	0.43
61 漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。							4	2	1	4	2.75	1.30
22 漢字をきれいに書かなければならない。							4	4	3	2	3.25	0.83
40 漢字の書き順に注意を払わなければならない。							4	5	5	3	4.25	0.83
50 間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。							3	2	3	3	2.75	0.43
65 努力すれば、漢字学習に成功する。							4	5	5	4	4.50	0.50
46 漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。							4	2	3	4	3.25	0.83
57 漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。							4	5	5	4	4.50	0.50
11 漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。							2	3	3	2	2.50	0.50
6 覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。							4	5	5	5	4.75	0.43

資料 8 学習前のビリーフ

漢字学習の難易度に関するビリーフ	単一クラス							混合クラス						
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差
54 漢字の習得は易しい。	3	1	3	1	3	2	2.17	0.90	3	3	3	3	3.00	0.00
1 漢字は簡単だ。	2	1	1	2	1	3	1.67	0.75	1	2	1	3	1.75	0.83
33 漢字の書きが難しい。	3	3	3	5	4	1	3.17	1.21	5	4	4	5	4.50	0.50
34 漢字の読みが難しい。	4	3	3	5	3	3	3.50	0.76	5	4	3	5	4.25	0.83
35 漢字の意味の理解が難しい。	4	3	3	4	2	2	3.00	0.82	4	3	4	2	3.25	0.83
36 漢字の読みより書きのほうが難しい。	5	4	3	5	5	5	4.50	0.76	4	4	3	2	3.25	0.83
38 漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	5	4	3	5	3	3	3.83	0.90	4	4	5	2	3.75	1.09
45 漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	3	5	2	1	1	3	2.50	1.38	2	2		2	2.00	0.00
37 漢字の使い分けが難しい。	5	4	3	4	5	4	4.17	0.69	4	4	3	2	3.25	0.83
漢字学習適性に関するビリーフ	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差
21 絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	1	3	3	1	5	3	2.67	1.37	3	3	3	2	2.75	0.43
20 学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	2	3	4	1	5	2	2.83	1.34	3	3	3	2	2.75	0.43
51 漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	5	1	5	5	4	2	3.67	1.60	3	5	5	5	4.50	0.87
18 私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	2	1	4	2	4	2	2.50	1.12	3	3	4	2	3.00	0.71
5 漢字は記憶力が必要だ。	2	5	5	5	5	4	4.33	1.11	5	4	5	2	4.00	1.22
19 会話が得意な人は漢字も得意だ。	1	1	3	1	1	1	1.33	0.75	3	2	3	2	2.50	0.50
44 40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	1	5	2	3	3	2	2.67	1.25	3	3	3	2	2.75	0.43
漢字学習の性質に関するビリーフ	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差
	A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	G	H	I	J	平均値	標準偏差
27 漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	4	4	4	4	5	3	4.00	0.58	1	4	5	2	3.00	1.58
47 漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	1	3	3	1	4	2	2.33	1.11	3	4	5	2	3.50	1.12
24 漢字学習は時間がかかる。	2	4	2	5	1	1	2.50	1.50	2	2	5	2	2.75	1.30
63 漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	3	3	4	5	4	5	4.00	0.82	5	5	5	5	5.00	0.00
59 教師がいないと、漢字の学習はできない。	2	1	2	1	2	3	1.83	0.69	3	3	2	5	3.25	1.09
58 漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。	2	1	3	1	4	2	2.17	1.07	3	4	5	2	3.50	1.12
25 漢字学習には反復練習が欠かせない。	5	4	4	5	5	5	4.67	0.47	4	5	5	5	4.75	0.43
7 努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	4	5	4	5	5	3	4.33	0.75	4	4	5	5	4.50	0.50
29 漢字の使い方の規則性が分かたら、習得しやすくなる。	5	4	4	5	5	5	4.67	0.47	4	5	5	5	4.75	0.43
28 漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4	3	5	4	5	4	4.17	0.69		5	5	2	4.00	1.41
48 すべての漢字が書ける必要はない。	5	1	2	1	2	3	2.33	1.37	2	2	1	2	1.75	0.43
49 すべての漢字が読める必要はない。	4	1	3	1	2	3	2.33	1.11	2	2	1	2	1.75	0.43
39 画数の多い漢字は覚えにくい。	3	4	3	5	5	3	3.83	0.90	4	4	1	5	3.50	1.50
31 漢字学習には筆順が必要である。	4	2	4	5	5	3	3.83	1.07	5	5	5	5	5.00	0.00
32 漢字に部首があることを知っている。	4	2	3	5	5	4	3.83	1.07	5	3	5	5	4.50	0.87

漢字学習の動機と期待に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
14 日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。										4	5	5	5	4.75	0.43
16 日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。										5	5	5	5	5.00	0.00
13 日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。										4	4	5	5	4.50	0.50
52 漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。										4	5	5	2	4.00	1.22
15 専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。										5	5	5	5	5.00	0.00
8 漢字の読み書きが上手になりたい。										5	5	5	5	5.00	0.00
12 日本での日常生活の中で必要な日本語の書き方や読み方が読めるようになりたいから漢字を勉強している。										4	4	5	5	4.50	0.50
漢字の有効性に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
2 漢字を勉強することは大切だ。										4	5	5	5	4.67	0.47
10 漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。										5	5	5	5	5.00	0.00
17 日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならぬ。										5	5	5	5	5.00	0.00
53 漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。										3		4	2	3.00	0.82
30 漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。										4	3	3	5	3.75	0.83
9 漢字の読み書きができるという仕事に就ける。										5	5	5	5	5.00	0.00
41 現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。										1		1	2	1.33	0.47
得意面に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
3 漢字の読み方を勉強するのが楽しい。										4	3	4	5	4.00	0.71
4 漢字の書き方を勉強するのが楽しい。										4	3	4	5	4.00	0.71
42 漢字の読み方を勉強するのが好きではない。										2	2	1	2	1.75	0.43
43 漢字の書き方を勉強するのが好きではない。										2	2	1	2	1.75	0.43
自習学習と漢字学習の指導に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
26 授業以外でも漢字の自習が必要だ。										5	5	5	5	5.00	0.00
55 自分で漢字学習方法や進捗を決めるのが一番効果的である。										4	4			4.00	0.00
60 最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。										3	4	2	5	3.50	1.12
23 漢字の教科書がないと学習ができない。										4	3	5	5	4.25	0.83
56 学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。										3		2	2	2.33	0.47
64 漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。										3	4	5	5	4.25	0.83
62 たとえ自分のやり方とは違っているけども教員のアドバイスに従う。										4	4	5	5	4.50	0.50
61 漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。										2	2	2	1	1.75	0.43
22 漢字をきれいに書かなければならない。										4	5	4	2	3.75	1.09
40 漢字の書き順に注意を払わなければならない。										5	2	5	5	4.25	1.30
50 間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。										3	2	1	2	2.00	0.71
65 努力すれば、漢字学習に成功する。										5	5	5	5	5.00	0.00
46 漢字を学習することは主に語彙を増やすことだ。										4	4	2	5	3.75	1.09
57 漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。										4	5	5	5	4.75	0.43
11 漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。										3	4	3	1	2.75	1.09
6 覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。										4	4	5	5	4.50	0.50

資料9 学習後のビリーフ

漢字学習の難易度に関するビリーフ															
単一クラス															
A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	混合クラス							
G	H	I	J	平均値	標準偏差										
54	漢字の習得は易しい。	4	4	3	1	3	2	2.83	1.07	3	3	5	3	3.50	0.87
1	漢字は簡単だ。	2	1	1	1	2	2	1.50	0.50	2	2	1	2	1.75	0.43
33	漢字の書きが難しい。	1	4	4	5	4	2	3.33	1.37	2	2	1	5	2.50	1.50
34	漢字の読みが難しい。	1	2	4	3	4	3	2.83	1.07	4	4	5	5	4.50	0.50
35	漢字の意味の理解が難しい。	2	2	4	1	2	2	2.17	0.90	2	2	3	2	2.25	0.43
36	漢字の読みより書きのほうが難しい。	4	2	3	5	3	1	3.00	1.29	3	2	3	2	2.50	0.50
38	漢字は、読みも、書きも、意味の理解もすべて難しい。	5	3	4	5	4	5	4.33	0.75	3	4	3	3	3.25	0.43
45	漢字の読み書きは日本語学習の障害になっている。	1	4	2	4	4	2	2.83	1.21		4	3	5	4.00	0.82
37	漢字の使い分けが難しい。	5	5	3	D	3	2	3.60	1.73	3	4	3	3	3.25	0.43

漢字学習適性に関するビリーフ															
A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	混合クラス							
G	H	I	J	平均値	標準偏差										
21	絵や図を描くのが上手な人は漢字が得意だ。	2	1	5	1	2	2	2.17	1.34	3	2	1	2	2.00	0.71
20	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	1	1	2	1	4	2	1.83	1.07	3	2	1	1	1.75	0.83
51	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	5	4	5	5	4	3	4.33	0.75	3	5	5	3	4.00	1.00
18	私の国から来た学生は漢字を学習するのが得意だ。	1	1	2	1	2	2	1.50	0.50	2	3	1	2	2.00	0.71
5	漢字は記憶力が必要だ。	4	4	5	5	5	2	4.17	1.07	4	5	5	2	4.00	1.22
19	会話が得意な人は漢字も得意だ。	2	1	2	1	3	2	1.83	0.69	3	2	1	2	2.00	0.71
44	40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	3	2	2	3	3	2	2.50	0.50	3		3	3	3.00	0.00

漢字学習の性質に関するビリーフ															
A	B	C	D	E	F	平均値	標準偏差	混合クラス							
G	H	I	J	平均値	標準偏差										
27	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	5	4	5	5	4	4	4.50	0.50	4	5	5	5	4.75	0.43
47	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	1	5	3	1	4	1	2.50	1.61	4	4	3	4	3.75	0.43
24	漢字学習は時間がかかる。	1	4	2	5	4	1	2.83	1.57	2	1	5	1	2.25	1.64
63	漢字学習は漢字の授業に出たほうがいい。	5	3	5	5	4	5	4.50	0.76	4	5	5	4	4.50	0.50
59	教師がいなくても、漢字の学習はできない。	1	1	2	1	3	1	1.50	0.76	3	2	1	3	2.25	0.83
58	漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。	2	1	2	1	4	1	1.83	1.07	4	3	5	4	4.00	0.71
25	漢字学習には反復練習が欠かせない。	5	4	5	5	4	5	4.67	0.47	5	5	5	5	5.00	0.00
7	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	5	5	4	3	4	3	4.00	0.82	3	4	5	5	4.25	0.83
29	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	4	3	5	5	5	5	4.50	0.76	4	5	5	5	4.75	0.43
28	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4	3	3	5	4	5	4.00	0.82	4	5	5	5	4.75	0.43
48	すべての漢字が書ける必要はない。	4	2	2	1	2	1	2.00	1.00	2	2	3	2	2.25	0.43
49	すべての漢字が読める必要はない。	4	2	2	1	2	4	2.50	1.12	2	2	3	2	2.25	0.43
39	画数の多い漢字は覚えにくい。	2	4	3	5	4	4	3.67	0.94	3	5	5	3	4.00	1.00
31	漢字学習には筆順が必要である。	5	4	5	5	5	5	4.83	0.37	4	5	5	5	4.75	0.43
32	漢字に部首があることを知っている。	5	4	4	5	5	5	4.67	0.47	5	5	5	5	5.00	0.00

漢字学習の動機と期待に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
14 日本語の新聞や本が読めるようになりたいから漢字を勉強している。										5	5	5	5	5.00	0.00
16 日本語の能力検定試験でいい成績を取るために、漢字を勉強する。										5	5	5	5	5.00	0.00
13 日本語のウェブページが読めるようになりたいから漢字を勉強したい。										4	4	5	5	4.50	0.50
52 漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。										4	4	5	4	4.25	0.43
15 専門書が読めるようになりたいから漢字を勉強したい。										5	5	5	5	5.00	0.00
8 漢字の読み書きが上手になりたい。										5	5	5	5	5.00	0.00
12 日本での日常生活の中で必要な日本語の看板やお知らせが読めるようにするために漢字を勉強している。										4	4	5	5	4.50	0.50
漢字の有効性に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
2 漢字を勉強することは大切だ。										5	5	5	5	5.00	0.00
10 漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。										5	4	5	4	4.50	0.50
17 日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならぬ。										5	5	5	5	5.00	0.00
53 漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。										3	2	5	3	3.25	1.09
30 漢字で書かれた単語の意味が想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。										3	4	3	5	3.75	0.83
9 漢字の読み書きができるという仕事に就ける。										5	4	5	2	4.00	1.22
41 現在、パソコンが広く使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。										1	2	1	1	1.25	0.43
情意に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
3 漢字の読み方を勉強するのが楽しい。										4	4	5	5	4.50	0.50
4 漢字の書き方を勉強するのが楽しい。										5	4	5	5	4.75	0.43
42 漢字の読み方を勉強するのが好きではない。										2	2	1	2	1.75	0.43
43 漢字の書き方を勉強するのが好きではない。										2	2	1	2	1.75	0.43
自習学習と漢字学習の指導に関するポリーフ										G	H	I	J	平均値	標準偏差
26 授業以外でも漢字の自習が必要だ。										5	5	5	5	5.00	0.00
55 自分で漢字学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。										4	4	5	4	4.25	0.43
60 最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。										4	3	5	4	4.00	0.71
23 漢字の教科書がないと学習ができない。										4	4	5	3	4.00	0.71
56 学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。										4	2	5	4	3.75	1.09
64 漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。										4	4	5	4	4.25	0.43
62 たとえ自分のやり方とは違っても教師のアドバイスを従う。										4	4	5	4	4.25	0.43
61 漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。										4	2	1	4	2.75	1.30
22 漢字をきれいに書かなければならない。										4	4	3	2	3.25	0.83
40 漢字の書き順に注意を払わなければならない。										4	5	5	3	4.25	0.83
50 間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。										3	2	3	3	2.75	0.43
65 努力すれば、漢字学習に成功する。										4	5	5	4	4.50	0.50
46 漢字を学習することは主に語彙を増やすことだ。										4	2	3	4	3.25	0.83
57 漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。										4	5	5	4	4.50	0.50
11 漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。										2	3	3	2	2.50	0.50
6 覚えやすい漢字と、覚えにくい漢字がある。										4	5	5	5	4.75	0.43

資料 10 漢字指導に関するアンケート用紙

漢字指導に関するアンケート

2014 年 月 日

No. _____

この調査は、初級レベルにおける非漢字系日本語学習者への漢字指導について教師の皆様の意見や考えを知
るために行うものです。他の目的に使用することはありません。ご協力、お願いいたします。

年齢： _____ 性別： ☐ 男性 ☐ 女性 日本語教授経験： _____ 年

(1) 非漢字系日本語学習者に漢字を教える時、どんなことをしますか。

一番当てはまるものに○をつけてください。

		いつもする	よくする	どちらとも言えない	あまりしない	全然しない
		1	2	3	4	5
1	学習者が漢字の字形が正しく書けるように気をつけて教える。					
2	教師自身の体験から漢字学習方法を学習者に教える。					
3	漢字を何回も書くように勧める。					
4	漢字の部首について、説明する。					
5	漢字の筆順について、説明する。					
6	授業以外の自習を勧める。					
7	学習者自身に漢字学習方法や進度を決めさせる。					
8	学習者同士で学習方法を相談させる。					

(2) 非漢字系日本語学習者への漢字指導についてどう思いますか。

一番当てはまるものに○をつけてください。

非常に思う		少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	全く思わない
1	2	3	4	5	
1	漢字を勉強することは大切だ。				
2	漢字は記憶力が必要だ。				
3	努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。				
4	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。				
5	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。				
6	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。				
7	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。				
8	漢字学習と出身国は、関係がある。(得意、不得意がある)				
9	会話が得意な人は漢字も得意だ。				
10	学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。				
11	漢字はきれいに書かなければならない。				
12	漢字は教科書がないと学習ができない。				
13	漢字学習は時間がかかる。				
14	漢字学習には反復練習が欠かせない。				
15	授業以外でも漢字の自習が必要だ。				
16	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。				
17	漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。				
18	漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。				
19	漢字学習には筆順が必要である。				
20	漢字学習には部首の理解が必要である。				
21	学習者は漢字の書き順に注意を払わなければならない。				
22	現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。				

23	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。					
24	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。					
25	漢字が上手にならないと日本語が上達しない。					
26	すべての漢字が書ける必要はない。					
27	すべての漢字が読める必要はない。					
28	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。					
29	漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。					
30	漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。					
31	学習者自身で学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。					
32	学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。					
33	漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。					
34	漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。					
35	教師がいないと、漢字の学習はできない。					
36	最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。					
37	漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。					
38	漢字学習は漢字の授業に出たほうが良い。					
39	漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。					
40	努力すれば、漢字学習に成功する。					

ありがとうございました

資料 11 漢字指導に関するアンケートの結果

漢字指導ストラテジー	a	b	c	d	e	平均値	標準偏差
1 学習者が漢字の字形が正しく書けるように気をつけ教える。	5	5	5	5	4	4.80	0.40
2 教師自身の体験から漢字学習方法を学習者に教える。	5	3	2	4	2	3.20	1.17
3 漢字を何回も書くように勧める。	4	4	5	5	4	4.40	0.49
4 漢字の部首について、説明する。	2	2	2	5	2	2.60	1.20
5 漢字の筆順について、説明する。	4	3	5	5	2	3.80	1.17
6 授業以外の自習を勧める。	3	5	1	2	4	3.00	1.41
7 学習者自身に漢字学習方法や進度を決めさせる。	1	2	1	2	1	1.40	0.49
8 学習者同士で学習方法を相談させる。	1	2	2	2	1	1.60	0.49

漢字指導ピリーフ	a	b	c	d	e	平均値	標準偏差
1 漢字を勉強することは大切だ。	5	4	5	5	5	4.80	0.40
2 漢字は記憶力が必要だ。	4	5	4	5	5	4.60	0.49
3 努力すれば、誰でも漢字が得意になれる。	2	3	5	5	4	3.80	1.17
4 漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	2	3	5	5	5	4.00	1.26
5 漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	5	5	4	5	5	4.80	0.40
6 漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	3	5	3	3	4	3.60	0.80
7 日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	5	3	5	5	5	4.60	0.80
8 漢字学習と出身国は、関係がある。(得意、不得意がある)	5	4	5	5	5	4.80	0.40
9 会話が得意な人は漢字も得意だ。	1	3	2	2	4	2.40	1.02
10 学習の工夫が得意な人は漢字が得意だ。	4	4	3	5	4	4.00	0.63
11 漢字はきれいに書かなければならない。	4	4	3	5	4	4.00	0.63
12 漢字は教科書がないと学習ができない。	4	3	3	2	3	3.00	0.63
13 漢字学習は時間がかかる。	5	5	4	5	5	4.80	0.40
14 漢字学習には反復練習が欠かせない。	5	5	5	5	5	5.00	0.00
15 授業以外でも漢字の自習が必要だ。	4	5	5	5	5	4.80	0.40
16 漢字の学習で最も重要なのは、漢字の読みを覚えることである。	3	5	5	3	3	3.80	0.98
17 漢字の学習で最も重要なのは、漢字の意味を覚えることである。	4	5	3	3	4	3.80	0.75
18 漢字の使い方の規則性が分かったら、習得しやすくなる。	5	5	5	5	4	4.80	0.40
19 漢字学習には筆順が必要である。	4	4	3	5	3	3.80	0.75
20 漢字学習には部首の理解が必要である。	3	3	4	5	3	3.60	0.80
21 学習者は漢字の書き順に注意を払わなければならない。	4	3	2	5	3	3.40	1.02
22 現在、パソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	1	3	2	1	2	1.80	0.75
23 40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	2	3	3	1	2	2.20	0.75
24 漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	4	5	3	4	3	3.80	0.75
25 漢字が上手にならないと日本語が上達しない。	1	2	3	4	4	2.80	1.17
26 すべての漢字が書ける必要はない。	5	5	5	5	4	4.80	0.40
27 すべての漢字が読める必要はない。	5	4	2	5	4	4.00	1.10
28 間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	4	3	4	1	3	3.00	1.10
29 漢字は、非漢字系より漢字系の人のほうが習得しやすい。	5	5	3	5	5	4.60	0.80
30 漢字が得意な人は良い仕事のチャンスがある。	2	3	3	4	5	3.40	1.02
31 学習者自身で学習方法や進度を決めるのが一番効果的である。	2	3	2	3	2	2.40	0.49
32 学習者同士で漢字の学習方法を相談すると良い。	2	2	2	3	2	2.20	0.40
33 漢字を勉強するとき、練習と復習は欠かせない。	5	5	5	5	4	4.80	0.40
34 漢字を習うときは、日本語母語者に習うのが一番良い。	4	4	4	5	3	4.00	0.63
35 教師がいないと、漢字の学習はできない。	3	3	2	1	2	2.20	0.75
36 最も効果的な漢字学習方法は教師がよく知っている。	3	3	2	2	2	2.40	0.49
37 漢字学習で進歩がないのは、教師の教え方に責任がある。	4	3	2	3	3	3.00	0.63
38 漢字学習は漢字の授業に出たほうが良い。	4	4	4	5	3	4.00	0.63
39 漢字授業では学習者が全員同じ活動をしたほうが良い。	2	3	3	3	3	2.80	0.40
40 努力すれば、漢字学習に成功する。	4	4	4	5	4	4.20	0.40